

第62図 桁列出土遺物(2)

第15表 桁列出土遺物観察表(2)(第62図)

番号	種別	器種	法量・筋土	遺構	備考	図版
1	鉄製品	鍔鉄	鍔 [9.8] 横 [8.2] 厚 0.5 重 122.5	杭列 1		97-1
2	銅製品	煙管	長 [2.0] 小口径 1.1 重 2.9	杭列 2	吸口か	98-1
3	鉄製品	鍔	鍔 [5.9] 横 [8.9] 厚 0.3 重 43.5	杭列 2		
4	瓦	転用瓦具	長 5.1 幅 7.0 厚 1.3 筋土 AIK	杭列 2	平瓦転用 刃ならし痕・擦痕あり	
5	瓦	軒平瓦か	長 [2.5] 幅 [12.5] 厚 2.0 筋土 AIK	杭列 2	暗灰色 瓦当模様不明瞭	88-1
6	硝子製品	筈	長 上 [6.5] 下 [5.0] 幅 0.9 厚 0.5 重 9.0	杭列 2	透明 中実 中心に縦の溝み	102-7
7	土製品	人形	幅 2.7 高 [4.4] 厚 2.0 重 16.6	杭列 8	杭列 8周辺の焼土範囲 京都系 透明釉・緑釉	

### (7) 木樋・竹樋

木樋は4条検出され、その全てが店子町屋範囲で検出された。竹樋は3条検出された。このうち1条は池状遺構の関連施設として後述する。規模等の基本情報は第16表、遺構図面は第63~66図にまとめた。

#### 第1号木樋(第63図)

C 6-A 1 グリッドで検出された。一部の検出に留まるため構造に不明な点が多いが、東西方向の樋に、南東へ延びる別の樋が接続していたと考えられる。いずれも凹状に板を組み、上部に蓋板を乗せる簡易な構造である。幅は18~26cm程度で小形である。樋全体の高低差(流水方向)は明確では無かった。遺物は少なく陶磁器は細片のみであった。上絵付け・金彩を施した近代の磁器皿

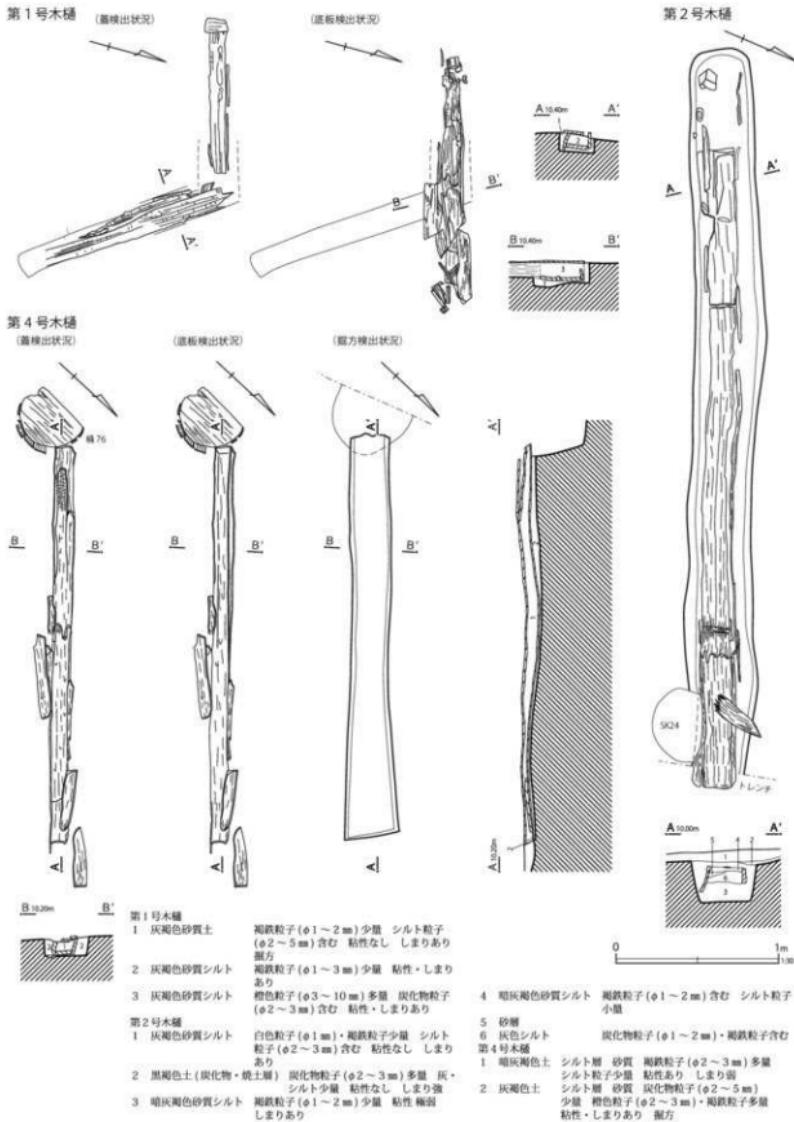
が1点出土しているが、他は近世の資料である。

#### 第2号木樋(第63図)

C 6-B 1・2 グリッドから検出された、東西方向に延びる木樋である。側壁の板材は比較的明瞭に確認できる。セクション図(第63図右下)では分かり難いが、水平な板材は底板と考えられる。蓋板と思われる板の残骸も僅かに検出されている。遺存部の底面は東側が僅かに高い。遺物が少なく詳細な時期を特定し難いが、第1号建物跡に壊されており(第7図基本土層③参照)、焼土層が上面に被っているのが確認されているので、19世紀初頭以前の木樋と思われる。

#### 第4号木樋(第63図)

C 6-A 2 グリッドに位置する。木樋本体が検出されるまで遺構の存在が認識できなかったた



第 63 図 木樁 (1)

め、掘方上部の様相は不明である。底面は北東から南西に向かって緩やかに低くなる。南西端では第76号埋設桶に接続する。桶は幅13cmと小形である。出土遺物は無く、時期は不明である。

#### 第7号木桶（第64図）

C 6-B 1グリッドから検出された東西方に延びる木桶で、西側は調査区外である。底板は確認されていないが、蓋状の板が検出されており木桶とした。ただし、細い杭が側板内側に打たれており、杭列・溝跡の類であった可能性も残る。

第67図1～7は出土した陶磁器である。磁器に蛇の目状高台の猪口（1）や卵殻手杯（3）がある。非掲載遺物にも瀬戸美濃系磁器の端反腕破片があり、19世紀前葉以降の廃絶である。重複し、本跡より新しい第29号埋設桶からは近代の磁子が出土している。また本跡より古い第66号土壌は19世紀初頭頃に帰属するため、本跡の構築は19世紀前～中葉と考えられる。

#### 第1号竹桶（第65図）

C 6-A 2・3グリッドから検出された竹桶である。東側調査区外から西方向に延び、途中でクランクして北方向に延びる。本陣敷地境に沿っているが、全体が店子町屋の範囲を通過する。総延長9.8mが検出されたが、北側は攪乱により壊される。この間、クランク部分等で角材をくりぬいた縦手が2か所検出された。縦手の孔の高さは、西側の縦手の方が僅かに3cm程低い。

第67図8～15は出土した陶磁器である。9の肥前系磁器湯呑形碗のように19世紀第2～3四

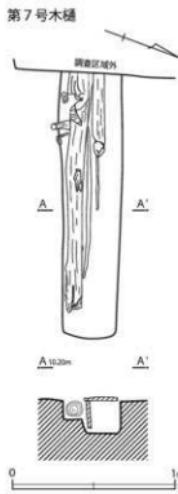
半期の遺物が多い。12は酸化コバルト染付の磁器急須であり、他に外面瑠璃釉単彩の磁器爛徳利や笠間系陶器甕も出土している。銅版転写染付の磁器爛徳利口縁部細片が1点出土しているが、混入と判断される。遺物から19世紀後半の早い段階に構築されたものと推定される。

#### 第2号竹桶（第66図）

C 6-C 4グリッドからE 3グリッドにかけて、調査区中央を北東～南西に貫く竹桶である。本陣敷地内から店子町屋の範囲まで検出された。遺存長約19mの間に縦手は2か所確認された。いずれも角材を削り貫いている。北東部では第88号埋設桶に合流する。南西部では第6号井戸跡の掘方と重複し遺構が確認できなくなるが、井戸側本体との関連は捉えられていない。流水方向については記録が不十分であるが、北東側に向かって高いようであり、井戸跡と併存する可能性は低い。

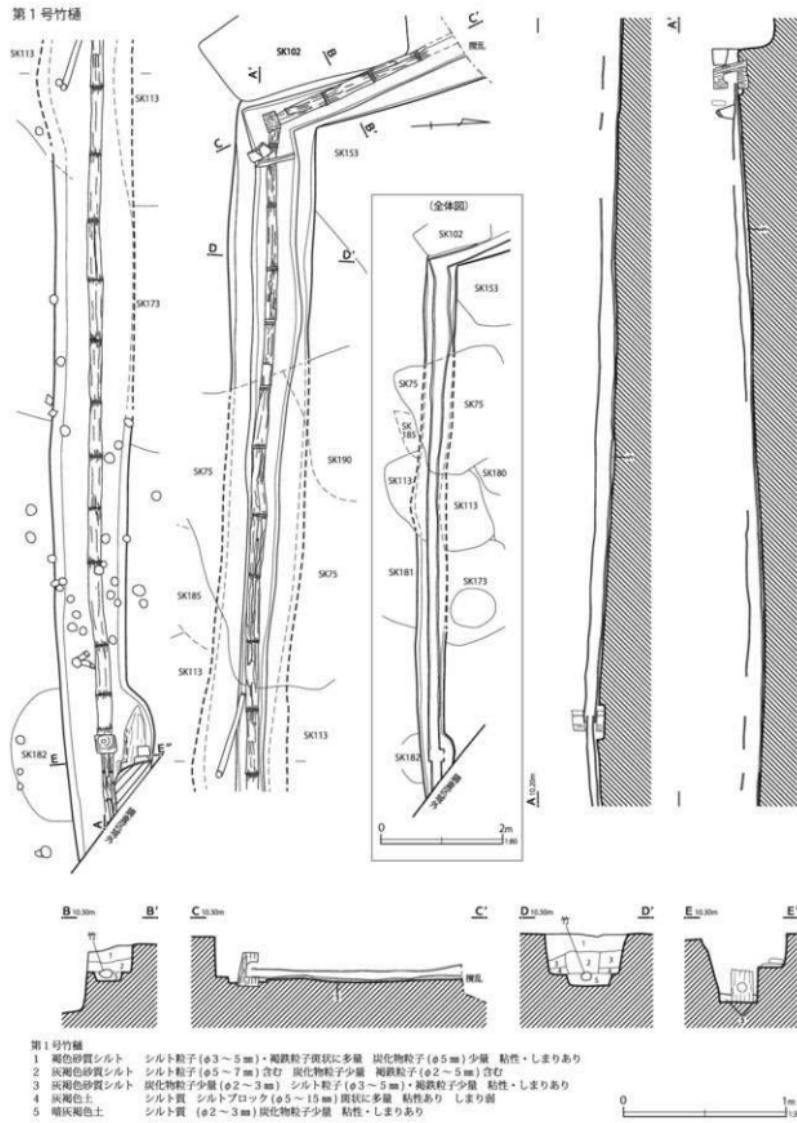
第16表 第一面木桶・竹桶一覧表 単位:m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方位	備考
木桶1	C6-A1/2	(1.24)	0.18	0.12	N-35°-W	内法幅0.14 深0.07 縦方長(1.42) 幅0.21 深0.11 鉄種不明鉄2出土
	B1/2	(1.58)	0.26	0.12	N-74°-E	内法深0.08 縦方深0.15
木桶2	C6-B1/2	4.40	0.23	0.25	N-67°-E	内法幅0.20 縦方長(4.46) 幅0.44 深0.25 SK1・SK24より古, SK145上り新
木桶4	C6-A2	2.70	0.13	0.11	N-47°-E	内法幅0.10 深0.70 縦方長2.45 幅0.33 深0.11 桶76重複
木桶7	O1-B1	1.62	-	0.17	N-70°-E	縦方長1.62 幅0.36 深0.20 桶29 上り古 SK66/106/107上り新
竹桶1	C6-A2/3	(9.80)	0.09	0.05	N-86°-W	縦方長(9.80) 幅0.56 深0.42 SK75/113/114/153/181/185/190より新
竹桶2	C6-C4・D4・E3/4	19.13	0.07	0.07	N-26°-E	縦方長19.13 幅0.38 深0.26 桶88接続 SK178/179より古
竹桶3	C6-C3	2.87	0.14	0.10	N-70°-E	縦方長さ4.60 幅0.39 深0.34 SK3・SK97/250より新 SG1間連施設



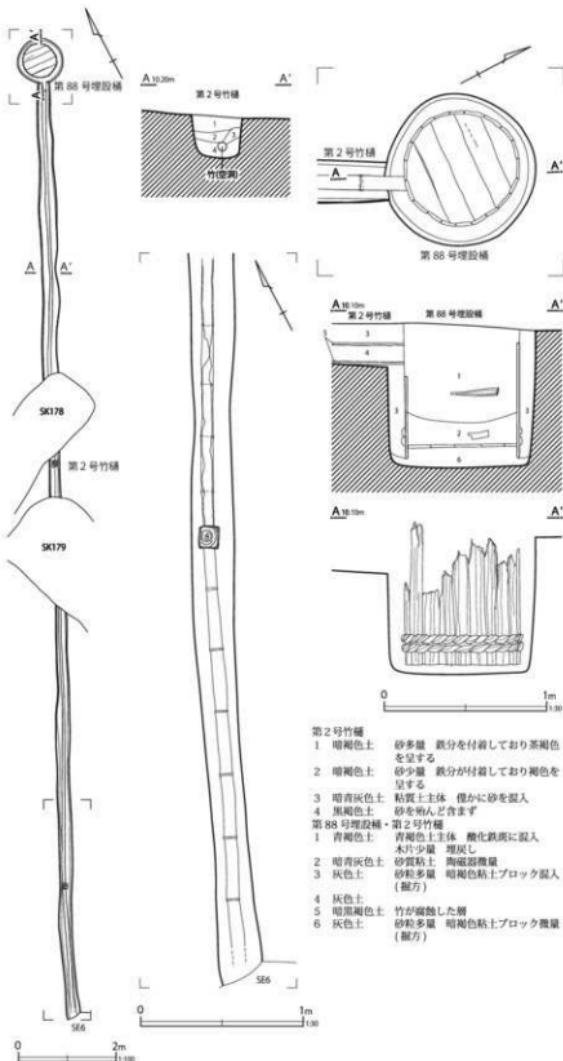
第64図 木桶(2)

第1号竹種



第65図 竹種 (1)

第2号竹桶・第88号埋設桶



第66図 竹桶（2）

出土遺物はほとんどなく、僅かに接続する第88号埋設桶から、口縁部に角溝文を染付する瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗が出土している。また、竹桶を壊している第179号土壙からは瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗や陶器青緑釉土瓶が出土しているので、竹桶は19世紀第2四半期頃に構築・使用された可能性が高い。

### 第3号竹桶（第69図）

C6-C3グリッドに所在し、本陣敷地内の池状遺構から西方の店子町屋範囲へと延びる。池状遺構関連施設として後述する。

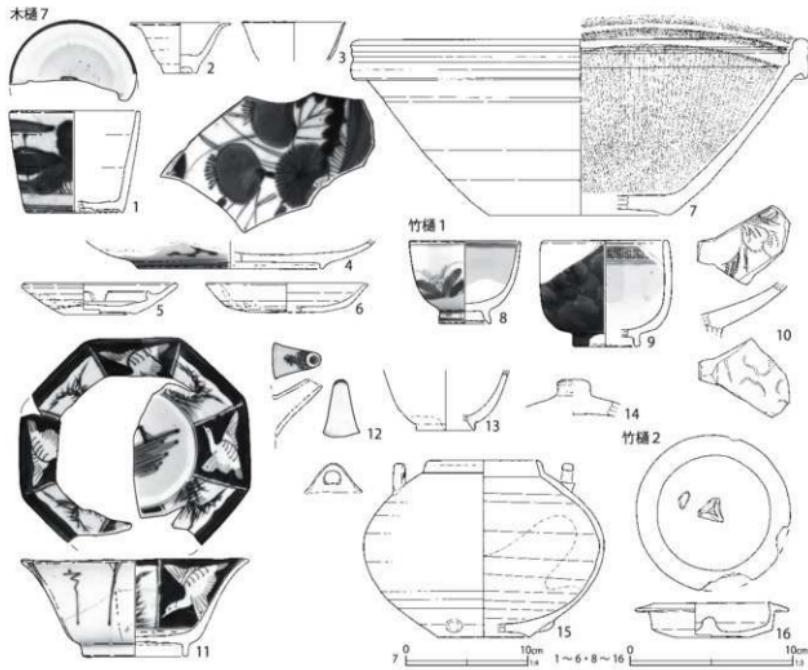
### （8）瓦桶

調査区西壁際より瓦桶の一部が検出された。

### 第1号瓦桶（第68図）

C6-D2グリッドの西壁際から検出されたもので、瓦桶6本が2m連なって検出された。掘方はほぼ砂層であり、より上部の整地層と一体化している（第6図基本土層①参照）。

第68図に瓦桶の実測図を示す。円筒状で内部にはゴザメ状痕跡が顕著に残る。遺物は、肥前系磁器湯呑形碗・皿の破片とともに碍子1点が出土した。19世紀後半以降に帰属する。

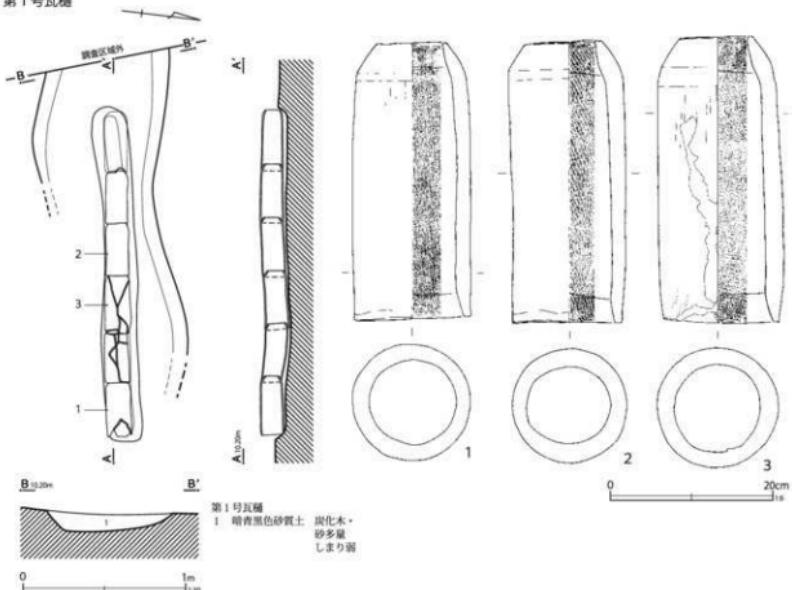


第67図 木桶・竹桶出土遺物

第17表 木桶・竹桶出土遺物観察表(第67図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	猪口	(7.8)	6.2	(5.8)	—	40	良好	灰白	木桶7	肥前系 施釉・染付 口紅 被熱	
2	磁器	坏	5.7	3.1	1.9	—	100	良好	白	木桶7	肥前系 施釉	
3	磁器	坏	(6.3)	[2.4]	—	—	15	良好	白	木桶7	瀬戸美濃系か 施釉 被熱	
4	磁器	皿	—	[1.8]	(11.2)	—	10	良好	白	木桶7	肥前系 施釉・染付	
5	陶器	灯明皿	(9.2)	1.9	4.4	K	70	良好	灰白	木桶7	瀬戸美濃系か 施釉 重焼痕 胎土鉄粒 子多量	
6	陶器	灯明皿	(9.8)	1.8	(3.6)	I	40	良好	褐灰	木桶7	志戸呂系 鉄釉 口縁部煤付着	
7	陶器	擂鉢	(36.0)	14.4	(15.0)	DEIKL	15	普通	赤	木桶7	珊瑚石系 内面擂目	
8	磁器	坏	(6.7)	5.1	3.1	—	40	良好	白	竹桶1	瀬戸美濃系 施釉・鉄絵	
9	磁器	碗	(7.6)	6.5	(3.9)	—	40	良好	灰白	竹桶1	肥前系 施釉 (外面鉄釉に緑釉散らし) 内面染付	27-7
10	磁器	鉢	—	[3.5]	—	—	5	良好	灰白	竹桶1	肥前系 施釉・色絵	
11	磁器	鉢	13.7	6.0	(6.2)	—	70	良好	白	竹桶1	肥前系 施釉・染付	
12	磁器	急須	—	[3.5]	—	—	5	良好	白	竹桶1	瀬戸美濃系 施釉 外面酸化コバルト染付	
13	陶器	碗	—	[3.7]	(3.6)	I	5	良好	灰白	竹桶1	大膳相馬系 緹白釉	27-8
14	陶器	蓋	—	[2.3]	—	EIK	90	良好	にぶい緋	竹桶1	松岡系 外面青鼠釉 (土瓶)	27-9
15	陶器	土瓶	(6.6)	10.8	(5.0)	IK	30	良好	灰白	竹桶1	外面青緋釉 注口欠失	
16	陶器	蓋	7.0	2.1	4.5	K	90	良好	灰白	竹桶2	上面灰緋釉 最大径 9.4 (土瓶)	

第1号瓦桶



第68図 瓦桶

第18表 瓦桶出土遺物観察表（第68図）

番号	種別	器種	長さ	長径	短径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	瓦桶	34.2	14.6	14.6	AIK	100	普通	灰白	瓦桶 1	外表面方向ナデ 内面ゴザメ	
2	土製品	瓦桶	35.1	14.6	14.2	ACIK	100	普通	灰白	瓦桶 1	外表面方向ナデ 内面ゴザメ	
3	土製品	瓦桶	35.5	15.0	15.0	ACIK	90	普通	灰白	瓦桶 1	外表面方向ナデ 内面ゴザメ	

### (9) 池状遺構と関連施設

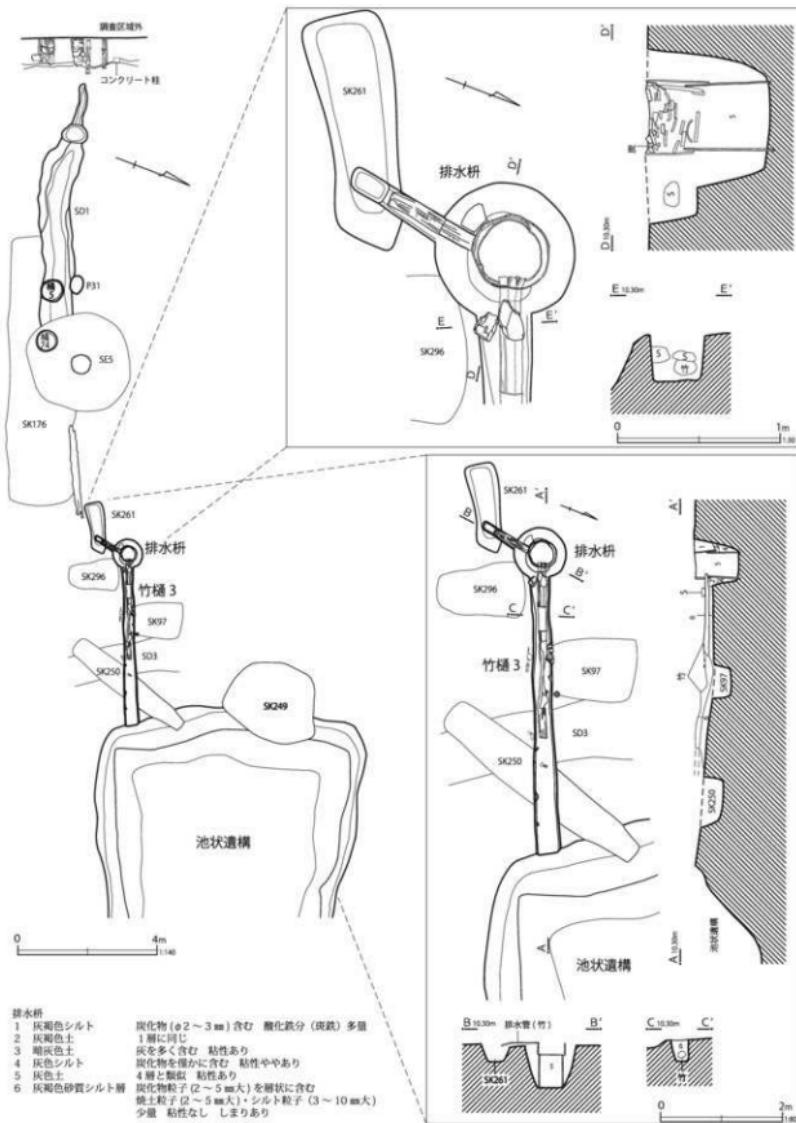
本陣敷地内から検出された池状遺構とその関連施設（第3号竹桶・排水沟）について以下に記述する。

#### 池状遺構（第69～71図）

C 6-B 4、C 3～4グリッドに位置し、長軸10.58m、短軸7.42m、深さ1.20mの長方形を呈する。土層堆積は複雑で、何度も改修が行われたと考えられる。最終段階では周囲に側壁の板を打ち、中心部に畔状の区画を設けていたらしい。なお、中心部底面付近に板で、60×40cm程の方形

に囲った区画が検出された。この部分や池側壁の板材には、ヤマに「匁」と「一」を組み合わせた焼き印が認められる（写真図版17-5）。

上面を広く覆う第1～3層は最終埋没の埋め戻し層で、明治末～大正期頃までの近代陶磁器が多量に含まれる。一方、西部からは19世紀第2～3四半期の遺物が多く出土しており、第8層に帰属すると考えられる。6・7層もこの段階の形成と推定される。東部からは、被熱した陶磁器類が多量に出土し、第39号土壙の陶磁器と多くが接合した。この接合関係については第31表の遺物



第69図 池状遺構と関連遺構

観察表（第39号土壌の陶磁器観察表）に示した。これらは9・12・13層に帰属すると推定される。被焼遺物については、より古い段階の遺構を壊した際に混在した可能性もあるが、出土量が多く、池の構築時期が19世紀前葉まで遡るものと想定しておきたい。

第72~79図が池から出土した遺物である。観察表「遺構」欄には、畦状の場所を境に東・西に分けて出土位置を示した。遺物の時期幅は広く、多種多様な遺物が出土している。第72~75図は陶磁器類で、文字資料や焼締ぎ資料を中心に示した。5は外面に漢字を陰刻する磁器坏で、内面には「永楽年製」と思われる染付銘の一部が残る。10は「本」墨書がある磁器皿である。11には、構築材の焼き印と同じ、ヤマに「匁」と「一」を組み合わせた墨書がある。第72図4と第76図19は明治末期の資料であるが、栗橋地区の歴史や当時の世相を表す歴史史料として掲載する。前者は「日英同盟」「祝 萬歳」と銅版転写染付された磁器碗で、1902（明治35）年の日英同盟締結を記念する。当時の社会情勢を示す資料である。後者は硝子製牛乳瓶で、エンボスで「特別上等 全乳」「搾取所 愛光舎/販賣所 門奈」銘がある。門奈は鉄道の大宮停車場角地に門奈佐七が構えた店名で、明治42年に出店、『大宮案内』（明治43年出版）には大宮停車場構内販売の記述に統

き「牛乳・新聞・雑誌・茶販売 門奈」とみえる。愛光舎は明治38年に角倉賀道が大宮に設けた牧畜場と考えられ、この牛乳瓶が鉄道で栗橋に運ばれた蓋然性が高い。これらの出土品から、19世紀第2四半期頃に構築された池が、幾度か改修された後、明治末~大正期頃に廃絶したものと考えられる。

第76図には玩具類や瓦・錢貨等を示した。10は大型の泥面子で、胎土は灰白色である。京都系であろうか。24は明治32年の硬貨で、遺構の最終廃絶時期を示す資料として掲載する。第77図には金属製品、第78図には石製品、第79図には木製品を示した。

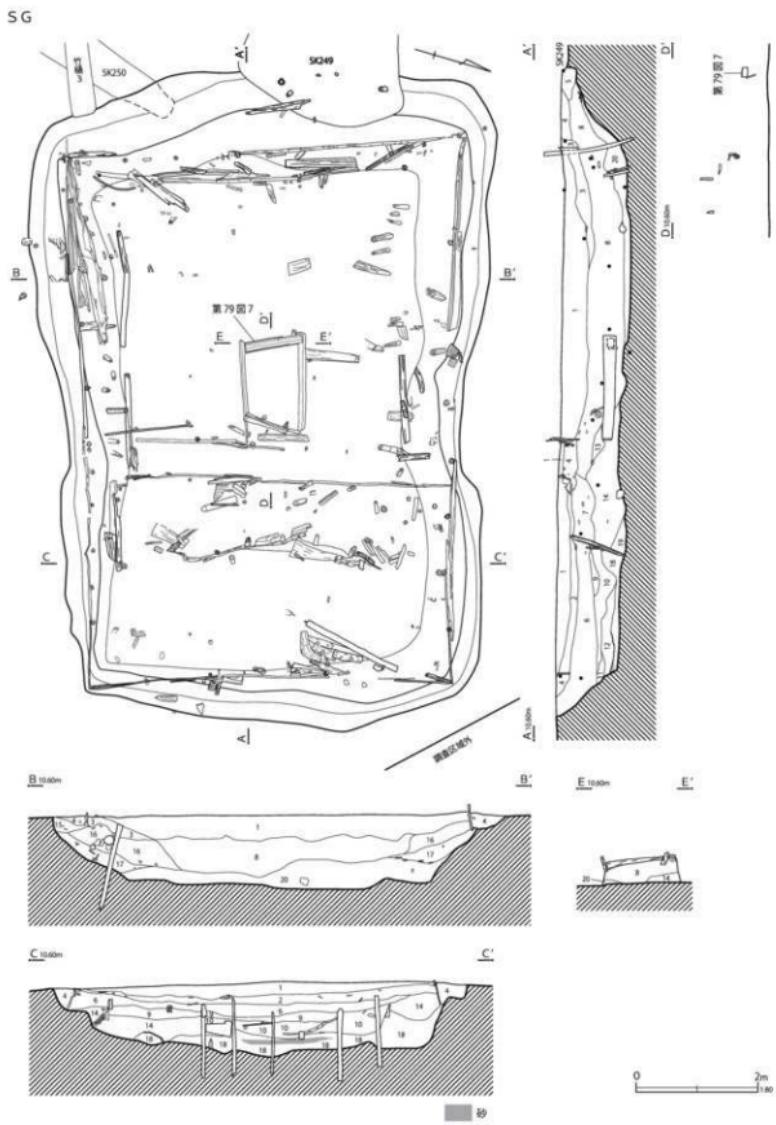
### 第3号竹樋・排水桿（第69図）

池状遺構の南西隅には第3号竹樋が取り付く。池状遺構との接続部は竹管が遺存せず、掘方のみの検出であり、詳細な構造は確認できなかつた。樋は西に4.6m延び、排水桿に接続する。排水桿は桶を二段積み上げた構造で、一見、井戸跡に類似するが、竹樋が池状遺構に向かって高くなっていること、調査時点で顯著な湧水がみられなかつたことから、池に付属する排水桿と判断した。竹管は上段の桶側面を貫通して排水桿に接続する。また、排水桿南壁には桶内の水を排水する別の竹管が設置されていた。隣接する第261号土壌はこの竹管を通して排水を受ける施設の一部と

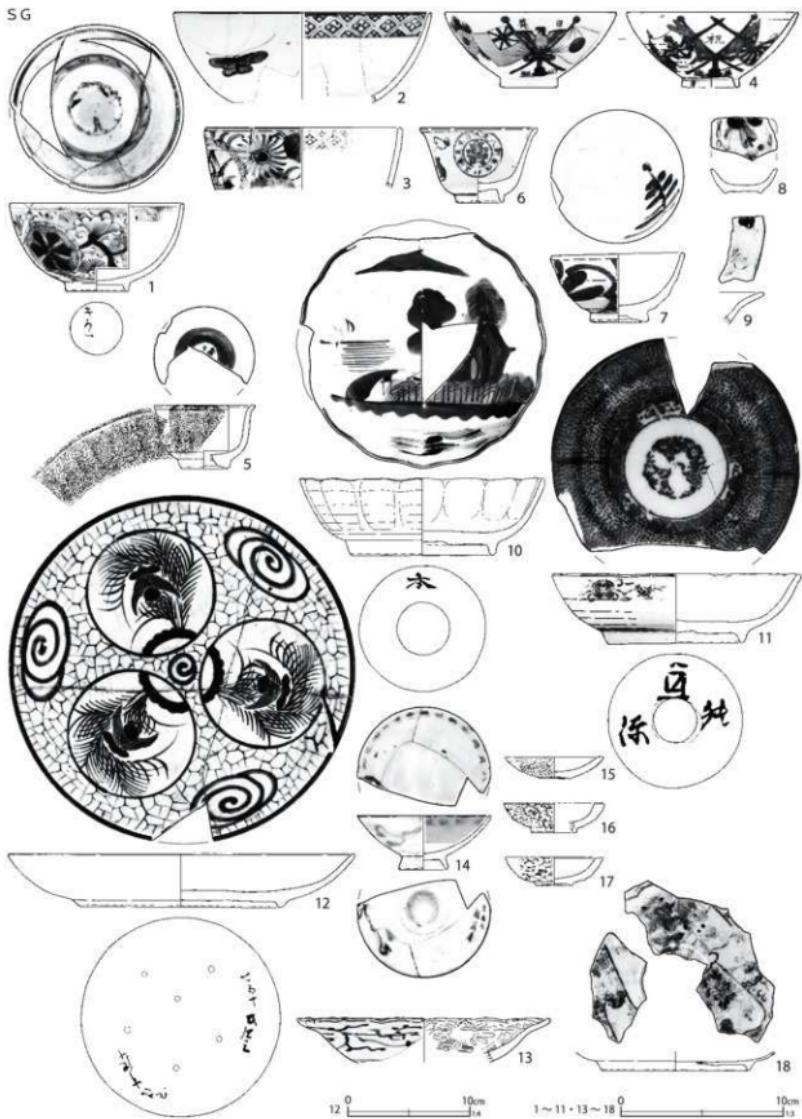
- 池状遺構  
1 明褐色砂質シルト（砂質土・シルト混合層）1~10cmの大シルトブロック斑状・塊多量・細鉄合土 砂多量・粘性あり・しまりあり  
2 黒褐色シルト質土 木質品（一部樹皮のため黒化）極多量・粘性なし  
3 灰褐色砂質土 砂質 1~2mmの大シルト粒子少層・砂1~12mmの大炭化物粒子・層間・砂や多量 粘性強 しまりあり  
4 灰褐色砂質シルト 2~3mmの大炭化物粒子・砂・粒子少量 1~5cmの大明褐色砂質シルトブロック斑状に多量 砂・細鉄合土 粘性弱 しまりあり  
5 明褐色砂質シルト 2~3mmの大炭化物粒子少層 1~4cmの大灰色シルトブロック斑状に多量 砂・細鉄少量 粘性弱 しまりあり  
6 暗灰褐色砂質シルト 2~5mmの大炭化物粒子少層 1cmの大灰色シルトブロック斑状に含む 暗灰色シルト主体 細鉄含む 粘性あり しまり弱  
7 灰褐色砂質シルト 2~5mmの大シルト粒子少層 砂含む 1~2cmの大シルトブロック少量  
8 暗褐色砂質シルト 黒色質土主体 1~5cmの大暗褐色シルトブロック斑状・細鉄多量 2~5mmの大炭化物粒子少層・細鉄含む 粘性・しまりあり  
9 暗灰褐色砂質シルト 5mmの大炭化物粒子少層 砂主体 1cmの大灰色シルト粒子含む 粘性・しまりあり

- 10 増褐色砂質シルト 2~5mmの大炭化物粒子少層 砂主体 1cmの大灰色シルト粒子含む 粘性・しまりあり  
11 明褐色質土 砂質土 1cm大のシルト粒子少層 粘性・しまりなし  
12 増褐色砂質シルト 5~7mmの大炭化物粒子少層 2~5cmの大灰色シルト・シルトブロック斑状 砂含む 粘性・しまりあり  
13 明褐色砂質シルト 2~3mmの大シルトブロック・細鉄・砂含む 粘性強めて弱 しまりあり  
14 増褐色砂質シルト 5~10mmの大炭化物粒子含む シルト主体 砂白シルトブロック (1~2cm) 少量  
15 増褐色砂質シルト 2~5mmの大炭化物粒子少層 シルト主体 粘性・しまりあり  
16 暗褐色砂質シルト 黒色質土主体 1~2cmの大シルトブロック斑状 2~3mmの大炭化物粒子少層 粘性極めて弱 しまり弱  
17 増褐色砂質シルト 5~5cmの大シルト粒子斑状に多量 1~2cmの大炭化物粒子・砂含む 粘性やや強い しまりあり  
18 明褐色砂質シルト 2~3mmの大シルト粒子少層 粘性・しまり弱  
19 明褐色砂質シルト 5~20mmの大シルトブロック斑状にやや多量 砂多量 砂含む 粘性あり しまり弱  
20 増褐色砂質シルト 2~5mmの大炭化物粒子少層 粘性あり しまり弱 (木質が腐食した跡線あり)

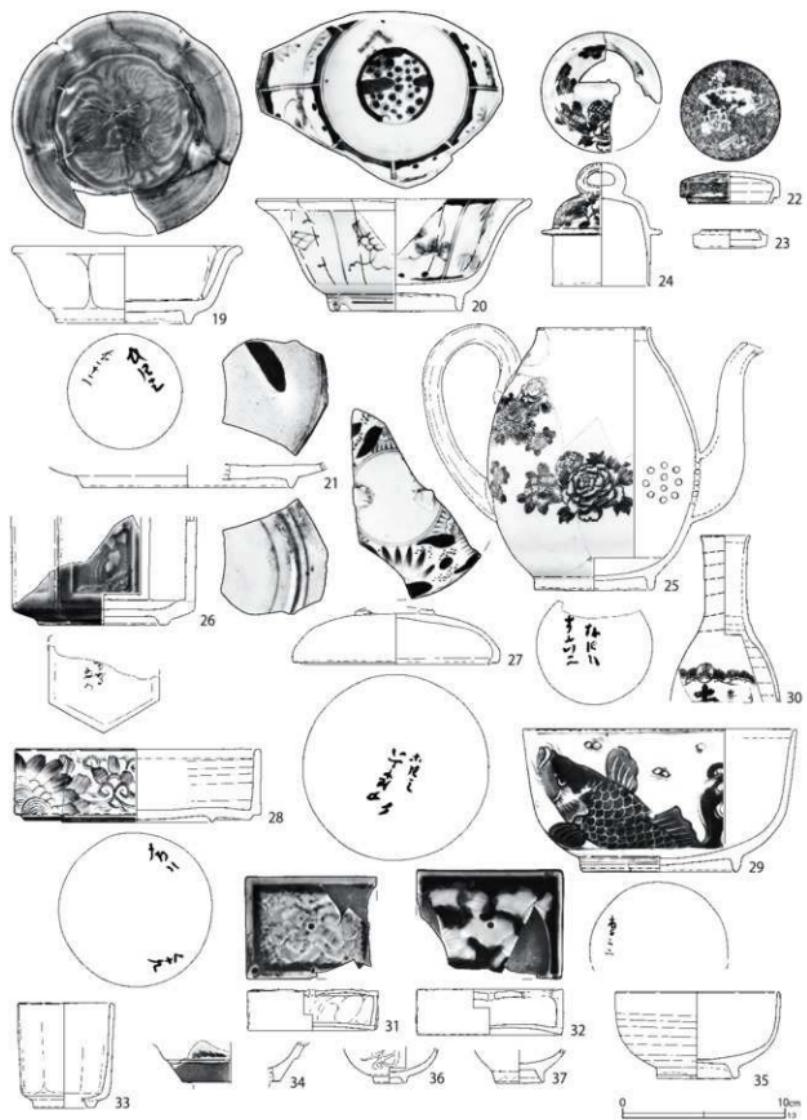
第70図 池状遺構（1）



第71図 池状遺構（2）



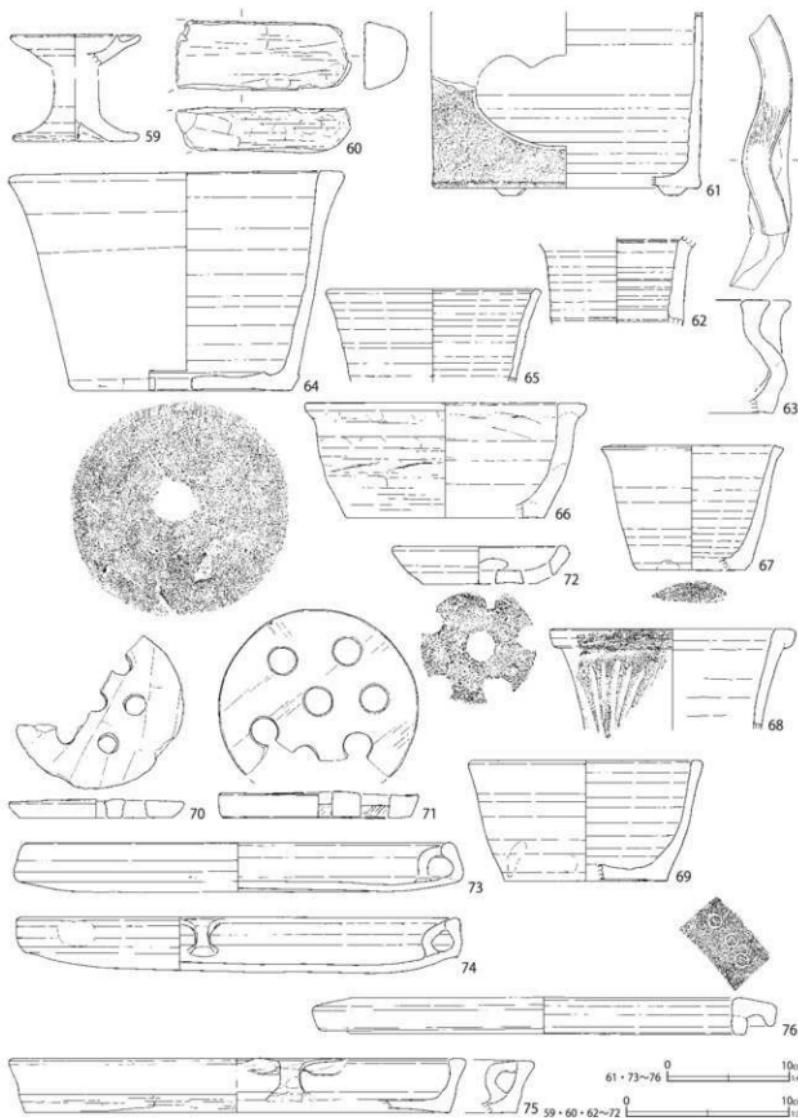
第72図 池状遺構出土遺物（1）



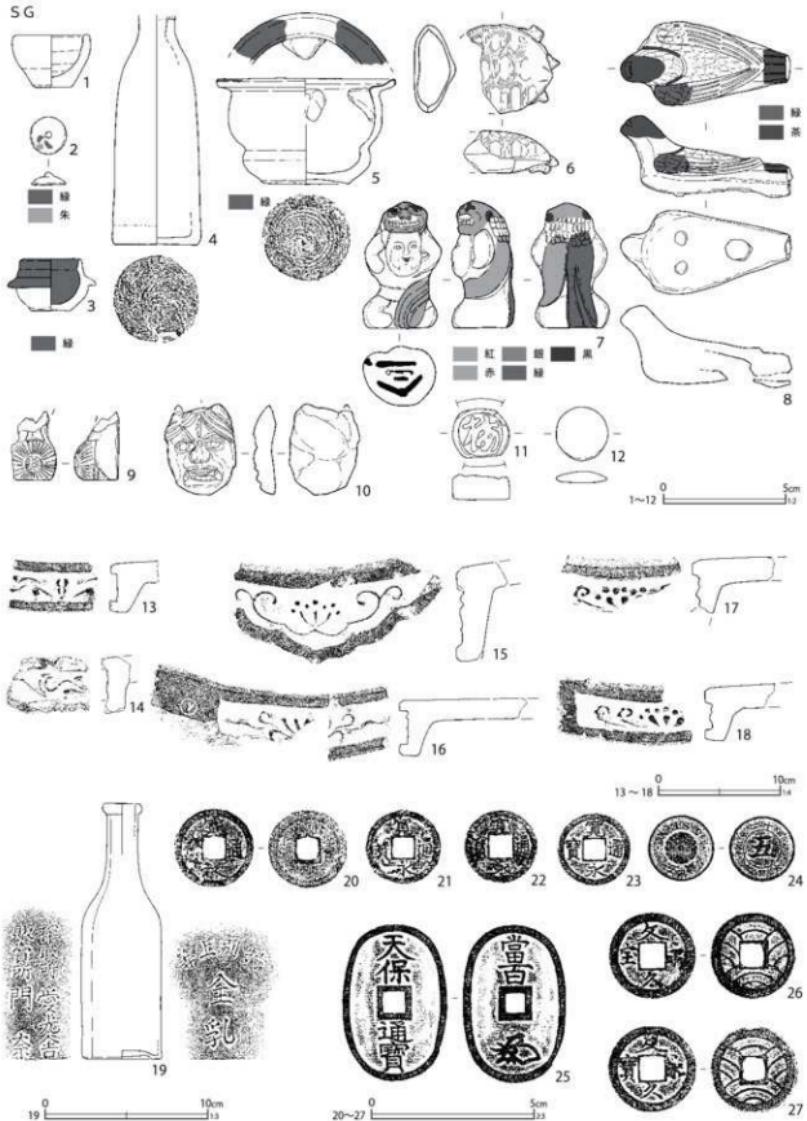
第73図 池状遺構出土遺物（2）



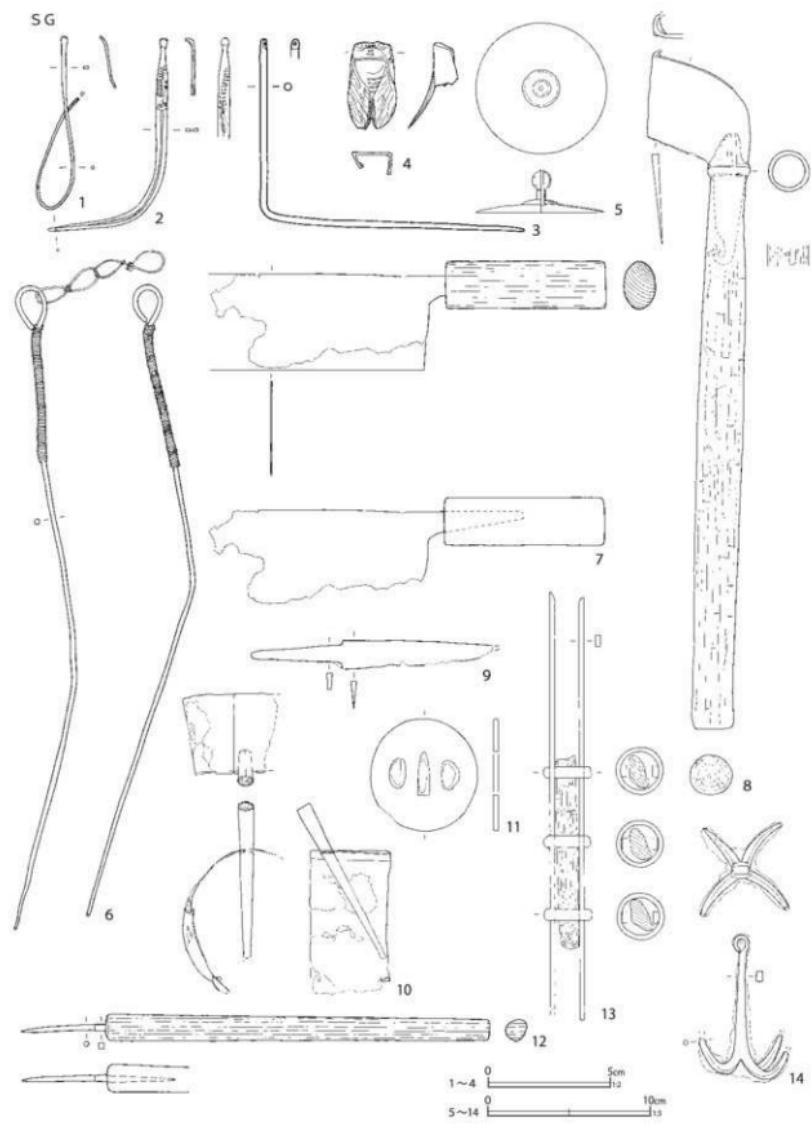
第74図 池状遺構出土遺物（3）



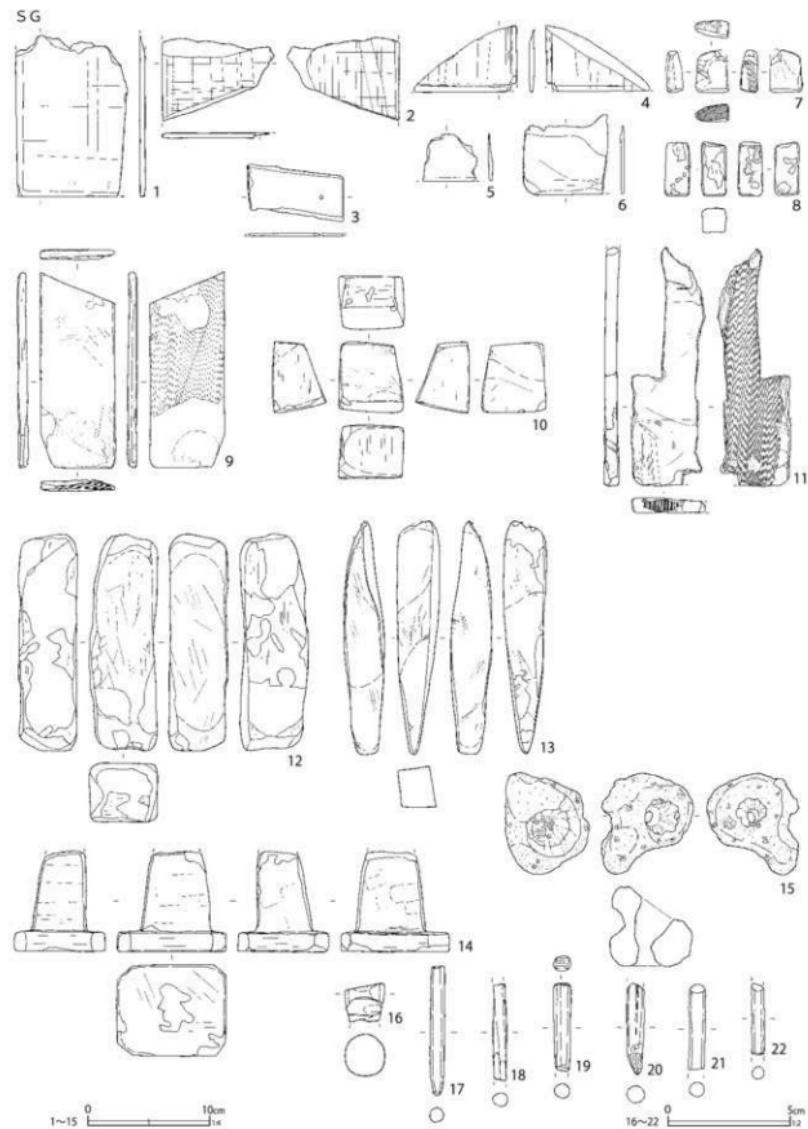
第75図 池状遺構出土遺物（4）



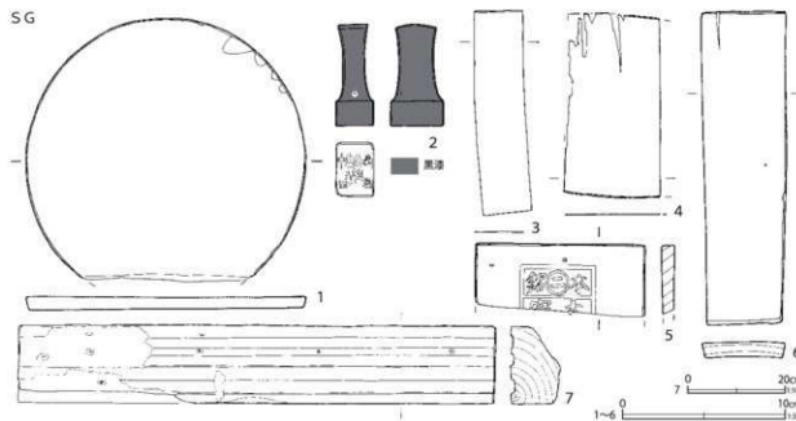
第76図 池状遺構出土遺物（5）



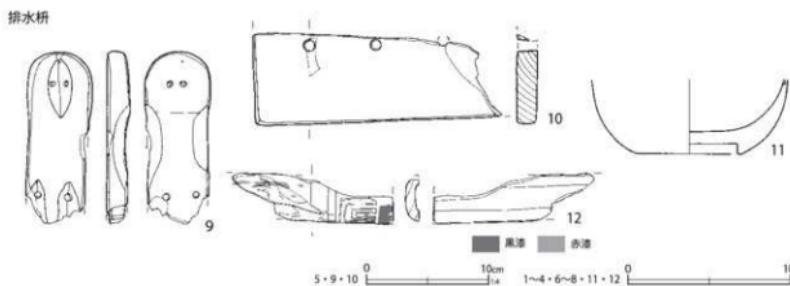
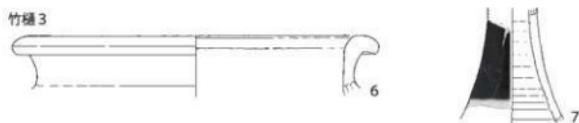
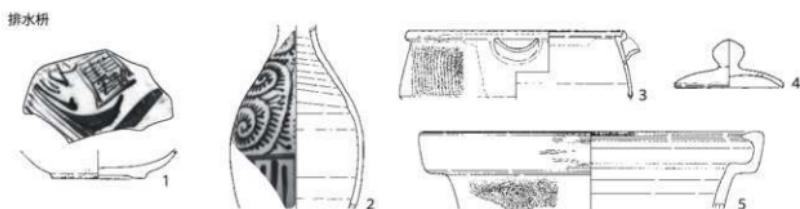
第77図 池状遺構出土遺物（6）



第78図 池状遺構出土遺物（7）



第79図 池状遺構出土遺物（8）



第80図 排水橋・第3号竹桶出土遺物

第19表 池状遺構出土遺物観察表(1)(第72~75図)

番号	種別	器種	口径	高径	底径	粘土	残存	焼成	色調	遺構	備考		国版
1	磁器	碗	10.5	5.4	3.6	—	85	良好	白	SG 東	肥前系 施釉・染付 燃縫痕・焼縫印(赤) 被熱	28-1 75-5	
2	磁器	碗	(15.6) [5.5]	—	—	20	良好	白	SG 東	肥前系 施釉・染付			
3	磁器	碗	11.8 [3.8]	—	—	50	良好	白	SG 東	肥前系 施釉・染付 弱く被熱			
4	磁器	碗	10.5	4.6	3.3	—	95	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 外面鋼版転写染付「日美 ノ同盟」「祝・萬歳」銘	28-2	
5	磁器	坏	6.0	3.9	(2.8)	—	45	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉・陰刻文 内面染付 口紅		
6	磁器	坏	7.0	4.6	2.8	—	90	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 外面鋼版転写染付(色調 版)「壽」[大日本東濃泉村後藤新八]銘	28-3	
7	磁器	碗	8.0	4.2	3.3	—	95	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 外面鉄紋 同文側脚体4あり		
8	磁器	皿	4.1	1.5	2.3	—	60	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 内面染付 弱く被熱(長皿)		
9	磁器	皿	—	[2.0]	—	—	5	良好	白	SG 西	肥前系 施釉 内面絵 強く被熱		
10	磁器	皿	14.7	4.7	8.6	—	90	良好	白	SG 西	肥前系 施釉 口紅 内面染付 黒書「本」	28-4	
11	磁器	皿	15.0	4.3	8.2	—	85	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 型紙模様染付 黒書	28-6	
12	磁器	皿	28.4	4.4	16.2	—	90	良好	灰白	SG 東	肥前系 施釉 口紅 内面染付 燃縫痕・焼縫 印(赤)	28-5 75-8	
13	磁器	皿	(15.4) [2.7]	—	—	—	15	良好	白	SG 西	肥前系 施釉 内面青磁輪・陽刻状施文 外 面染付		
14	磁器	坏	8.1	3.3	2.9	—	60	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉・上繪付「金・青・赤」「葉 柄の稻荷屋」他銘		
15	磁器	紅皿	6.0	1.3	1.8	—	100	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 型成形 施釉 外面型押文		
16	磁器	紅皿	(6.1)	1.7	(2.7)	—	30	良好	白	SG 西	肥前系 型成形 施釉 外面型押文		
17	磁器	紅皿	(6.0)	1.8	(2.2)	—	15	良好	白	SG 西	肥前系 型成形 施釉 外面型押文		
18	磁器	皿	—	[1.2]	(9.0)	—	50	良好	白	SG 東	施釉 上繪付「金・赤・緑」極めて薄手		
19	磁器	鉢	13.5	4.7	8.0	—	95	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 クロム青磁輪・焼縫痕・焼縫印 (赤)	28-8 75-9	
20	磁器	鉢	(16.5)	6.8	7.9	—	45	良好	白	SG 西	肥前系 施釉・染付 内底面訂書	28-9	
21	磁器	皿	—	[1.4]	(12.8)	—	15	良好	灰白	SG 西	肥前系 施釉・染付 弱く被熱		
22	磁器	蓋	6.1	1.9	5.0	—	100	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 外面鋼版転写染付(合子)		
23	磁器	合子	3.5	1.1	3.6	—	100	良好	白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 赤色物質(紅カ)付着		
24	磁器	蓋	—	7.5	(5.9)	—	50	良好	白	SG 東	施釉 上繪付「金・赤・緑」極めて薄手		
25	磁器	水注	6.8	16.2	7.1	—	80	良好	白	SG 東	施釉 鋼版転写染付 燃縫痕・焼縫印(赤)	28-11	
26	磁器	瓶類か	—	[4.8]	(7.8)	—	40	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 板作成形 外面施文・クロム青 磁輪 底部布目狂紋	28-10 75-12	
27	磁器	蓋	—	[3.4]	(11.3)	—	35	良好	白	SG 東	肥前系 施釉 外面染付 燃縫痕・焼縫印(赤)	28-12	
28	磁器	段重	14.9	4.4	9.2	—	100	良好	白	SG 東	肥前系 施釉 外面染付 燃縫痕・焼縫印(赤)	28-7	
29	磁器	蓋物	16.5	8.7	9.3	—	85	良好	白	SG 東	肥前系 施釉 外面染付 燃縫痕・焼縫印(赤)	28-13	
30	磁器	烟利利	2.8	[10.2]	—	—	40	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 外面鋼版転写染付		
31	磁器	水滴	8.0	2.5	7.7	—	70	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 板作成形 外面施釉・染付		
32	磁器	水滴	8.8	2.8	8.8	—	60	良好	白	SG 西	瀬戸美濃系 板作成形 外面施釉・染付		
33	陶器	碗	5.8	6.4	3.8	IK	70	普通	灰白	SG 東	軟質施釉(緑釉) 近代 長圓湯舟碗	29-1	
34	陶器	碗	—	[2.4]	—	IK	20	良好	灰	SG 西	萩燒 菩提灰(開口碗)		
35	陶器	碗	9.9	5.3	4.9	IK	85	良好	灰白	SG 東	鈴木近代	29-2	
36	陶器	坏	—	[2.2]	2.0	—	40	良好	灰白	SG 西	京都信楽系 施釉 上繪付(赤)	29-3	
37	陶器	坏	—	[2.0]	2.8	K	40	良好	灰黄	SG 西	大堀相馬系 離白釉(質入多い)	29-4	
38	陶器	坏	8.8	3.8	3.6	—	70	良好	灰白	SG 東	瀬戸美濃系 施釉 外面鉄紋	29-5	
39	陶器	灯火具	7.8	5.8	4.9	HK	100	良好	灰黄	SG 西	底燃窯系切痕 灰釉(不透明・白濁)	29-6	
40	陶器	皿	—	[1.2]	—	K	5	普通	灰白	SG 東	型成形 欲質施釉(緑釉) 平面形多角形	29-7	
41	陶器	皿	13.5	3.8	6.0	I	100	良好	灰白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 内面染付(太白手)		
42	陶器	鉢	—	[3.6]	(7.4)	IK	25	良好	灰白	SG 東	瀬戸美濃系 灰釉 内面上繪付(赤・緑・茶色)	29-8	
43	陶器	片口鉢	—	[7.4]	9.4	IK	70	良好	灰	SG 西	瀬戸美濃系 灰釉 内面重燃窯 黒書		
44	陶器	鉢	(32.4)	[11.1]	—	IK	10	良好	黄灰	SG 西	糠白釉 内面継続流掛 口縁部鉄輪流掛・施文		
45	陶器	鉢	(25.0)	[4.6]	—	IK	5	良好	灰白	SG 西	瀬戸美濃系 施釉 (にらい・褐色) 外面鉄輪 流掛	29-9	
46	陶器	植木鉢か	(20.8)	[4.8]	—	IK	10	良好	灰白	SG 西	底燃窯民平か、黄色釉		
47	陶器	鉢	(12.2)	4.8	7.0	IK	60	良好	灰白	SG 西	大堀相馬系 施釉 (黒斑多い) しおぎ状施文		
48	陶器	鉢	(12.8)	7.0	(7.0)	IK	20	良好	灰白	SG 西			

番号	種別	器種	口径	器高	底径	始土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
49	陶器	花生	—	[5.5]	—	IK	20	良好	灰白	SG 西 灰輪 外面貼付文・縫袖流派 被熱	29-10	
50	陶器	擂鉢	36.8	14.9	16.0	DG	65	良好	にぶい赤褐	SG 東 堀内石系 砂目底 内面描目 (底部放射状)	75-16	
51	陶器	花生	—	[3.2]	7.0	IK	90	良好	灰	SG 西 濱戸美濃系 底部糸切痕(右) 鉄輪 黒書「ささト」	29-11	
52	陶器	徳利	—	[11.7]	—	—	20	良好	淡黄	SG 西 灰輪	29-12	
53	陶器	徳利	—	[11.9]	6.4	IK	70	良好	灰白	SG 東 外面鉄袖・上位縫袖・トビガンナ状施文	29-13	
54	陶器	甕	—	[5.5]	—	EI	10	良好	暗灰黄	SG 西 信楽系か 内面施袖 外面施文・鉄化粧		
55	陶器	豆甕	(6.0)	5.5	3.6	IK	50	良好	灰白	SG 西 底部糸切痕 純輪		
56	陶器	甕	—	[5.4]	(9.8)	DE	30	良好	灰白	SG 東 信楽系 外面施輪 長石粒目立つ	29-14	
57	陶器	土瓶	(9.0)	[4.9]	—	IK	10	良好	灰	SG 西 松岡系 外面施鼠釉		
58	陶器	瓶類	—	[4.0]	(4.2)	K	25	良好	灰白	SG 西 外面施袖 勝土柘器質 (インク瓶)		
59	施釉土器	灯火具	(7.7)	—	7.4	AIR	60	良好	橙	SG 西 透明袖		
60	瓦質土器	十能	—	[2.8]	—	CHI	30	普通	浅黄橙	SG 東 燐寸		
61	瓦質土器	焜炉	—	[15.0]	(21.8)	CFIK	30	普通	黑	SG 東 砂目底 外面施文 燐寸		
62	陶器	涼炉	—	[5.3]	—	AH	30	普通	浅黄橙	SG 東 京都産 白色土器質 涼がん中情のみ遺存		
63	瓦質土器	仕切盤	—	6.9	—	CIK	10	普通	にぶい黄橙	SG 東 底部ナデ調整 口縁部ミガキ 燐寸		
64	瓦質土器	植木鉢	(18.0)	13.4	13.2	AJIK	70	普通	灰白	SG 東 底部糸切痕・ナデ調整 勝土粉質 被熱		
65	瓦質土器	植木鉢	(12.6)	[5.7]	—	AI	25	普通	褐灰	SG 東 燐寸		
66	瓦質土器	植木鉢	(16.9)	7.0	(12.0)	CEIK	20	普通	にぶい黄橙	SG 東 砂目底 口縁上端部ミガキ 燐寸		
67	瓦質土器	植木鉢	(10.0)	7.6	(6.6)	AIR	25	普通	灰白	SG 東 底部糸切痕 燐寸		
68	瓦質土器	植木鉢	(14.5)	[6.2]	—	AHK	15	良好	灰白	SG 東 外面しのぎ状施文 口縁部ミガキ 燐寸		
69	瓦質土器	植木鉢	(14.0)	7.4	(10.0)	CHI	40	普通	にぶい黄橙	SG 東 底部ヘラナデ調整 燐寸		
70	土師質土器	日皿	(10.6)	1.1	(9.4)	ADE	45	普通	橙	SG 東 砂目底 円孔7か 雲母多く含む		
71	瓦質土器	日皿	12.2	1.6	11.5	HIK	85	普通	にぶい黄橙	SG 東 円孔7		
72	土師質土器	日皿	10.3	2.3	7.1	CGIK	90	普通	にぶい橙	SG 東 底部糸切痕 円孔5 上面変色		
73	土師質土器	焜壙	(34.8)	4.0	(36.2)	CHIK	45	普通	にぶい黄橙	SG 西 砂目底		
74	土師質土器	焜壙	35.5	4.6	35.3	CEHK	85	普通	にぶい橙	SG 東 底部シワ状痕 煙付着		
75	瓦質土器	焜壙	(36.0)	4.4	(34.8)	CHIK	20	普通	灰白	SG 東 砂目底 外面煤付着		
76	瓦質土器	壙跨	31.5	3.0	32.5	EIK	75	普通	灰白	SG 西 上面刺印 煙付着		

第20表 池状構出土遺物観察表(2)(第76図)

番号	種別	器種	法量・始土	遺構	備考	図版
1	土師質土器	小壺	口径3.0 高2.1 底径1.5 重12.1 勝土 AI	SG 東 橙色, 粉質 在地系 完存 底部糸切		84-1
2	磁器	ミニチャウ	径1.5 高0.5 重1.0	蓋 濱戸美濃系 完存 上面施輪・上繪付(緑・橙)		84-12
3	施釉土器	ミニチャウ	口径2.6 高2.1 底径1.6 重12.3 勝土 AI	SG 西 羽釜 浅黃色 京都系 内面へ外面跨に縫袖		84-13
4	陶器	ミニチャウ	底径3.6 高 [9.5] 重71.2 勝土 DE	SG 東 徳利 にぶい黄橙色で長石・石英多い 地方窯系 底部糸切痕 外面化粧後綻緑縫(深緑色)		84-14
5	施釉土器	ミニチャウ	口径 (7.4) 高 4.3 底径 3.6 重 71.2 勝土 AHH	SG 西 灰鉢 橙色 江戸在地系 底部糸切隙 外面透明釉 口縁部緑縫・白色袖		84-15
6	土製品	人形	長 [3.8] 幅 3.6 高 1.7 勝土 HK	SG 西 亀 橙色 上下合型成形 内外面施輪 漆耳玩具か		84-16
7	磁器	人形	高 5.1 幅 3.1 厚 2.4 重 29.4	SG 西 銀子舞 濱戸美濃系 前後合型成形 中空 外面施輪・色絞(赤・緑・黒・底部墨書き)		
8	土製品	堀笛	長 7.0 厚 3.4 高 3.4 重 24.1 勝土 AD	SG 東 赤白色 京都系か 上下合型成形 上面着色(赤・緑)		84-17
9	土製品	人形	幅 [1.9] 厚 [1.7] 重 5.0 勝土 AI	SG 東 大墨 前後合型成形 やや色調淡いが江戸在地系か		
10	土製品	泥面子	長 3.7 幅 2.8 厚 0.9 重 6.7 勝土 A	SG 東 般若 白灰色 京都系か 苓子面 型押成形		84-18
11	土製品	泥面子	径 2.3 厚 1.0 重 5.7 勝土 AIIK	SG 西 橙色 面打 表裏雲母付着 側面二次的な研磨		
12	土製品	碁石	径 2.2 厚 0.5 重 2.0 勝土 A	SG 西 赤褐色		
13	瓦	軒瓦	長 [4.1] 幅 [7.6] 厚 1.8 勝土 ACIK	SG 西 灰色 銀化		
14	瓦	軒瓦	長 [2.4] 幅 [7.2] 厚 2.5 勝土 AGHIK	SG 西 灰色 勝土砂っぽい		
15	瓦	軒平瓦	長 [4.4] 幅 [18.2] 厚 2.4	SG 西 灰白色 滴水瓦 勝土やや粉質で赤色粒子多い		88-3
16	瓦	軒瓦	長 [10.5] 幅 [20.1] 厚 1.8 勝土 AHIK	SG 西 灰白色 銀化 刻印〇に「イ」勝土に赤色粒子多い		
17	瓦	軒瓦	長 [6.7] 幅 [9.9] 厚 2.0 勝土 AEK	SG 東 灰白色 東海式 硬質 勝土に黒色粒子多い		
18	瓦	軒瓦	長 [5.9] 幅 [11.4] 厚 1.9 勝土 AK	SG 東 灰白色 東海式 硬質 勝土に黒色粒子多い		88-2
19	硝子製品	瓶	口径2.0 高 15.6 底径 4.5	SG 東 特別上等 全乳」「押取所 愛光舎/販賣所 門奈」		
20	銅製品	裁貨	径 24.4 厚 0.8 重 2.0	SG 寛永通宝(新) 背文字「(元) か」		
21	銅製品	裁貨	徑 23.4 厚 1.1 重 2.6	SG 寛永通宝(新)		
22	銅製品	裁貨	徑 22.5 厚 1.0 重 2.2	SG 西 寛永通宝(新)		

23	銅製品	錢貨	径 22.5 厚 1.0 重 2.2	SG 東	寛永通宝（新）	
24	銅製品	錢貨	径 20.6 厚 1.7 重 4.4	SG 東	菊五錢白銅貨	
25	銅製品	錢貨	48.9 × 32.3 厚 2.7 重 22.0	SG	天保通宝	
26	銅製品	錢貨	径 26.8 厚 1.1 重 3.8	SG	文久永宝	
27	銅製品	錢貨	径 27.0 厚 1.0 重 3.7	SG 東	文久永宝	

第21表 池状造構出土遺物観察表（3）（第77図）

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	団版
1	銅製品	簪	長 [7.1] 幅 0.2 厚 0.1 重 1.6	SG	鰐形	98-2
2	銅製品	簪	長 8.0 幅 0.4 厚 0.1 重 4.3	SG		98-2
3	銅製品	簪	長 11.0 厚 0.3 重 9.0	SG		
4	銅製品	飾金具	縦 3.5 横 2.0 厚 0.9 重 10.8	SG		97-1
5	銅製品	蓋	口徑 8.0 高 2.6 厚 0.1 重 38.0	SG		97-4
6	鉄製品	火箸	長 39.3 厚 0.3 重 58.8	SG		
7	鉄製品	勺丁	長 [24.4] 刃長 [13.3] 刃幅 [5.6] 背幅 0.1 重 75.0	SG		97-1
8	鉄製品	鎌	長 [41.8] 刃長 [8.2] 刃幅 [5.5] 背幅 0.4 重 18.9	SG		
9	鉄製品	刀子	長 [14.8] 刃長 [9.3] 刃幅 1.7 背幅 0.4 重 25.5	SG		97-1
10	鉄製品	柄杓	長 [11.8] 厚 0.1 重 21.6	SG		
11	鉄製品	鎌	縦 6.9 横 6.7 厚 0.3 重 81.8	SG		97-1
12	鉄製品	鍬	長 28.7 鍬先長 5.2 鍬先厚 0.3 重 19.1	SG		97-1
13	鉄製品	唐口	長 [25.7] 幅 0.3 厚 0.7 重 89.1	SG		97-1
14	鉄製品	鎌	縦 8.9 横 5.5 厚 0.3 重 53.4	SG		97-1

第22表 池状造構出土遺物観察表（4）（第78図）

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	団版
1	石製品	石板	[9.2]	[13.2]	[0.4]	105.4	粘板岩	SG 東	側面工具痕 箕線	
2	石製品	石板	[6.8]	[9.2]	0.4	39.8	粘板岩	SG 東	側面工具痕 箕線	
3	石製品	石板	[4.7]	[7.9]	0.2	16.9	粘板岩	SG 西	穿孔 1	
4	石製品	石板	[5.5]	[8.5]	0.4	22.6	粘板岩	SG 西	箕線	
5	石製品	石板	[3.9]	[4.5]	0.3	7.0	粘板岩	SG 西	側面工具痕	
6	石製品	石板	[6.5]	[7.0]	0.3	20.7	粘板岩	SG 西		
7	石製品	不明	[3.4]	2.7	1.4	21.5	滑石	SG 東	刃物痕か	
8	石製品	不明	4.4	2.0	2.0	37.7	石灰岩か	SG 東	白色 砂質 軟質 剥離が激しい	101-2
9	石製品	砾石	16.0	6.1	0.9	114.0	粘板岩	SG 東	ノコギリ痕か 破面 3 酸化鉄付着	
10	石製品	砾石	5.8	5.3	4.4	216.8	粘板岩	SG 東	全面砥面	
11	石製品	砾石	[19.5]	5.7	1.2	159.6	ホルンフェルス	SG 東	幅広工具痕 ノコギリ痕か 刃物痕 破面 2 破面質	
12	石製品	砾石	[17.7]	5.6	4.8	799.9	砂岩	SG 東	破面 5 以上 細粒・硬質	
13	石製品	砾石	19.0	3.5	3.3	248.8	流紋岩	SG 西	紙面 4 破裂	
14	石製品	不明	[8.2]	8.9	7.5	469.3	矽灰岩	SG 東	側面ノミ痕 下面・側面下段研磨か	100-4
15	石製品	不明	8.3	7.6	6.9	142.1	角閃石安山岩	SG 東	多孔質 自然面遺存 先の尖る工具で穿孔 2	100-5
16	石製品	石筆	[1.6]	1.6	1.7	6.4	滑石	SG 西	端部工具痕か	101-2
17	石製品	石筆	5.3	0.6	0.6	3.9	滑石	SG 西		101-2
18	石製品	石筆	[4.0]	0.6	0.5	2.2	滑石	SG 西		101-2
19	石製品	石筆	[3.6]	0.6	0.6	3.3	滑石	SG 西	端部工具痕か	101-2
20	石製品	石筆	[3.7]	0.7	0.7	2.0	滑石	SG 西		101-2
21	石製品	石筆	[3.5]	0.7	0.6	2.9	滑石	SG 西		101-2
22	石製品	石筆	[2.9]	0.5	0.5	1.9	滑石	SG 西		101-2

考えられる。第80図は排水橋と付属する竹橋の遺物である。1は景徳鎮窯系磁器の蛇の目高台皿で、17世紀代の所産である。このほか、陶器鉄軸土瓶蓋（4）や地方窯系陶器のすず德利（7）等、19世紀中葉頃の陶磁器が出土した。非掲載

遺物には陶器の青緑釉土瓶や土器目皿がある。排水橋は19世紀中葉頃に機能し、比較的短期間で使用されなくなった可能性が高い。池状造構の最終埋没段階には機能していなかったものと推定される。

第23表 池状遺構出土遺物観察表(5)(第79図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	樽	—	—	0.8	17.1	—	—	板目	SG西 薙表面墨書き「梅」(第76表6)	104-6	
2	木製品	印鑑	6.2	2.3	3.3	—	—	—	芯持材	SG東 黒墨「鳥居/鎌/中田」	104-3	
3	木製品	絹木	12.5	3.0	0.05	—	—	—	柾目	SG東 表裏面墨書き「下八〇九」「八己」(第76表3)	104-4	
4	木製品	絹木	11.3	[5.9]	0.05	—	—	—	柾目	SG東 表裏面墨書き「七サ口□□」「三十一銭ノ分」(第76表4)	104-4	
5	木製品	箱	[4.4]	10.4	0.8	—	—	—	板目	SG東 側板 表裏面墨書き 裏面焼印(第76表5)	114-5	
6	木製品	木札	19.2	5.1	0.9	—	—	—	板目	SG東 表裏面墨書き(第76表2)	104-2	
7	木製品	敷居	97.4	15.9	10.2	—	—	—	芯持材	SG西 鉄釘残 斧		

第24表 排水橋・第3号竹桶出土遺物観察表(第80図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	紗土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	—	[1.9]	(5.6)	—	—	良好	白	排水橋	中国景德鎮窯系 施釉 内面染付 高台脇砂付着	29-15
2	磁器	碗	—	[1.1, 2]	—	—	—	良好	灰白	排水橋	肥前系 外面施釉・染付	
3	陶器	行平	(13.2)	[4.2]	—	K	25	良好	灰	排水橋	柿輪 外面トビガラニ状施文	
4	陶器	蓋	—	2.9	6.6	IK	30	普通	灰白	排水橋	上面鉄軸(土瓶)	
5	瓦質土器	焜炉	(27.2)	[6.4]	—	CIK	15	良好	灰	排水橋	外面櫛目波状文 口縁部ミガキ 強く還元	
6	陶器	瓶掛	(20.4)	[3.6]	—	E	5	普通	灰白	竹桶 3	廟戸美濃系 綵輪	
7	陶器	德利	—	[7.0]	—	IK	5	不良	灰白	竹桶 3	外側鉄・灰釉掛分	
8	陶器	德利	(3.8)	[3.5]	—	IK	5	不良	灰白	竹桶 3	鉄釉	
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
9	木製品	下駄	[14.5]	4.6	—	—	—	1.9	—	板目	排水橋 無眼下駄	
10	木製品	板	[7.1]	[20.2]	1.7	—	—	—	板目	排水橋 孔3 焼印(第76表28)	104-28	
11	木製品	漆桶	—	—	—	—	[4.6]	6.4	横木取り	排水橋 内面赤漆 外面黒漆		
12	木製品	桶	[2.5]	[9.8]	0.6	—	—	—	板目	排水橋 表面赤漆・黒漆、線状の文様 側面黒漆		

## (10) 溝跡

溝跡は10条検出された。遺構図を第81~84図に示し、位置・規模等については、第25表にまとめた。以下、各溝跡について記述する。

### 第1号溝跡(第81図)

C6-D2グリッドに位置し、長さ7mを検出した。東部は第5号井戸跡と重複する。第85図1は中世の古瀬戸系陶器盤類であるが、他に銅版転写染付の磁器碗・急須が出土しており、19世紀後半の埋没と考えられる。

### 第3号溝跡(第82図)

C6-B3からC3グリッドにかけて18.2mにわたって検出された木組みの溝で、本陣西側の区画と推定される。杭を打ち込み側板を押さえる構造で、南方で検出された第5号杭列と一連の遺構と捉えられる。両者の総延長は約43.4mとなる。

第85図3~30は出土した陶磁器で、時期幅が

広い。明治六年の五十銭硬貨が出土しており、明治前期の廃絶と思われるが、酸化コバルト染付磁器はやや少なく、主な機能時期は19世紀中葉頃と推定される。第92図1~6はミニチュア・玩貝等である。6は平面形六角形の土製品で燈籠を模した箱庭道具と考えられる。第93図1は鉄釘、4は硝子製髪飾り類である。

### 第4・16号溝跡(第81図)

B6-J2、C6-A2グリッド付近に位置する溝跡で、一部が重複するが両者の新旧関係は明らかではない。周囲の遺構重複が激しく、遺存していたのは溝跡全体の一部分である。

第4号溝跡は覆土に焼土を多く含む。出土遺物が少なかったが、被熱した肥前系磁器広東碗を含む。第16号溝跡は当初、土壌として調査したものだが、整理段階で形状から溝跡と判断した。南側で深くなり、下層には焼土が多く含まれていた。陶磁器は全体に18世紀のものが多く、肥前系磁

器の小広東碗も含まれる。京都信楽系陶器の透明釉灯明皿が最新である。いずれの溝跡も19世紀前葉頃の廃絶と考えられ、少なくとも第4号溝跡については火災との関連が考えられる。

#### 第5号溝跡（第83図）

C 6-C 3・D 3 グリッドに位置する。長さ1.7mが検出されたに過ぎず、深さ10cmと浅いことから、上部の大部分が削平されたと考えられる。溝内に杭が複数残り、杭列6の延長部分に一致する。本来は側板を有した溝で、店子町屋内の区画溝であったと推定される。

#### 第6号溝跡（第83図）

C 6-D 3、E 3・4 グリッドに位置する。東西方向に6m程延び、南に屈曲して4m程延びる。

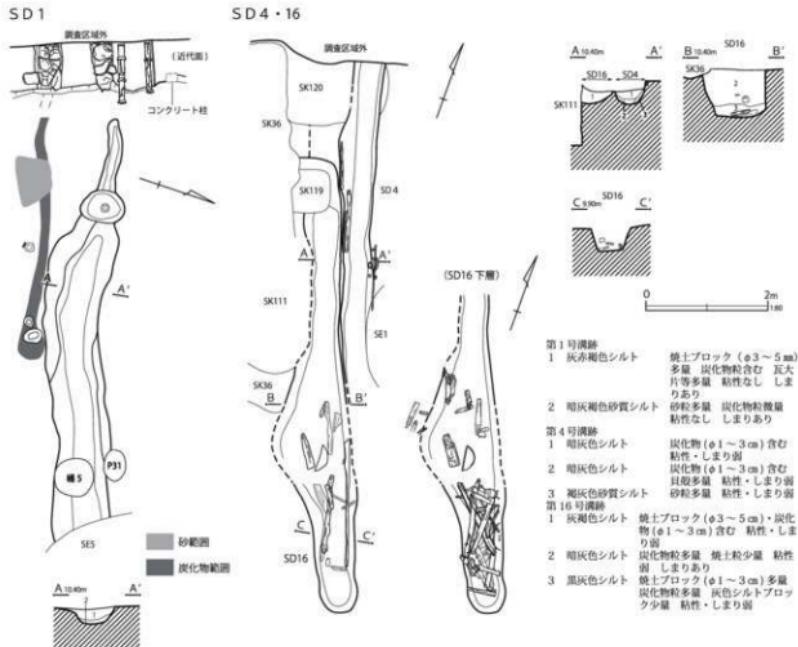
北側は本陣出入口部が想定される部分に接しており、その区画であった可能性がある。

#### 第7号溝跡（第83図）

本陣敷地内にあたるC 6-E 5 グリッドで、長さ5m強を検出した。深さ10cmと浅く、削平を受けていると推定される。本陣敷地内における何らかの区画と推定される。

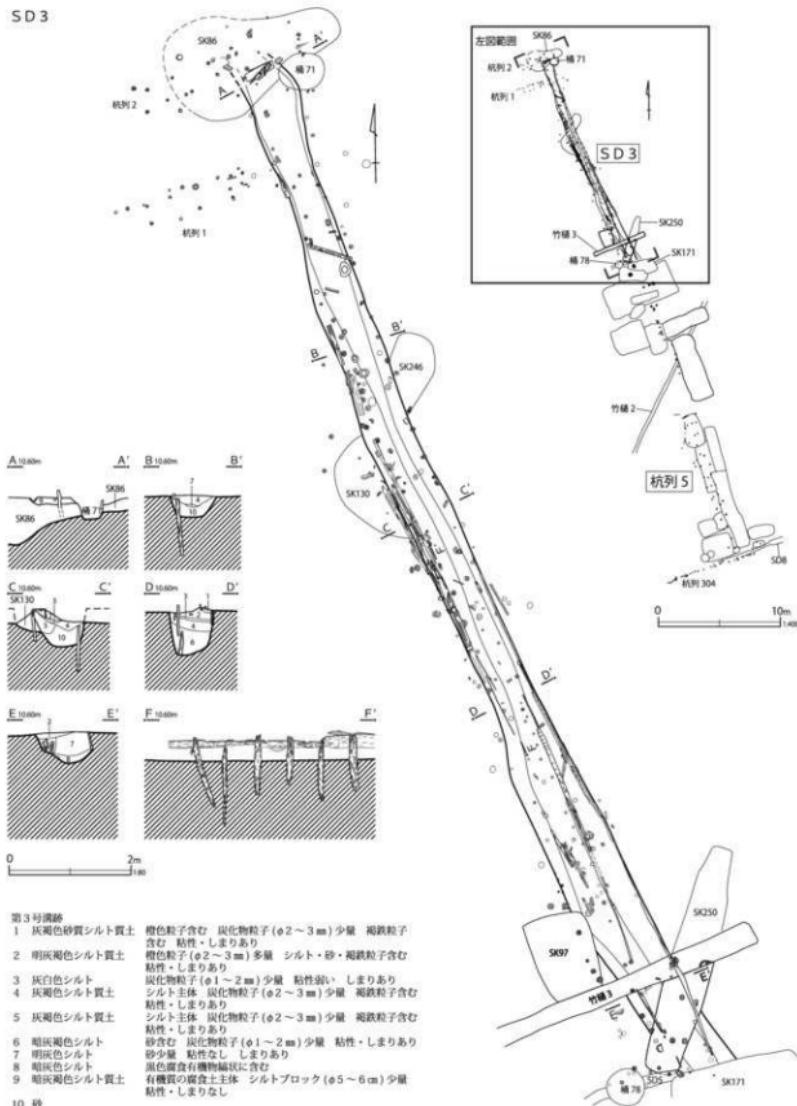
#### 第8・9号溝跡（第84図）

C 6-E 6、F 5 グリッド付近で並行して検出された溝跡で、本陣敷地と南側の町屋地区を区画溝である。一部重複し、第8号溝跡のほうが新しい。基本土層②（第6図）から、『本陣跡I』で報告した第306号杭列が第8号溝跡に伴う杭と認識される。また、第9号杭列は第9号溝跡の延伸



第81図 溝跡（1）

## SD 3



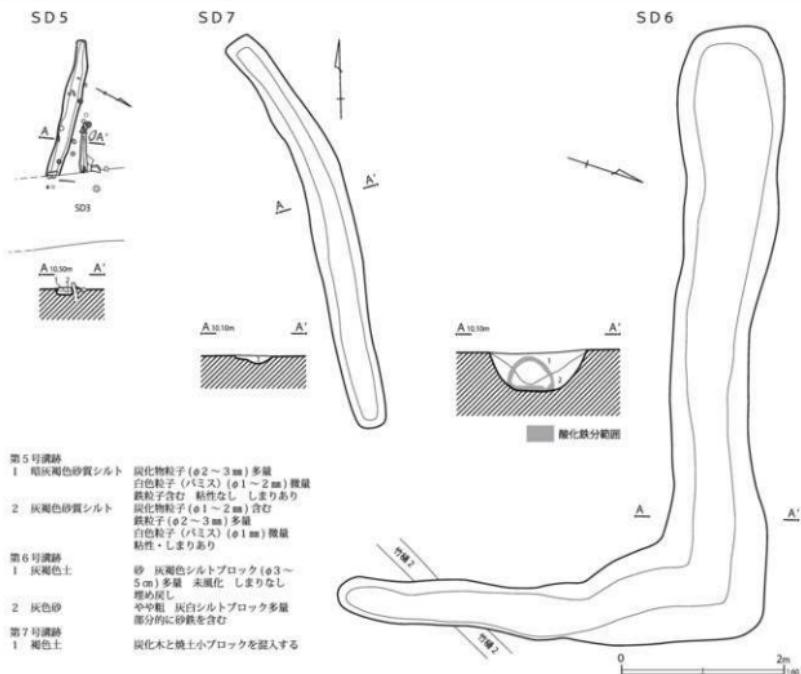
第82図 溝跡(2)

部である可能性が高い。第9号溝跡から出土した陶磁器を第86～90図35～142に示した。全体としては瀬戸美濃系磁器端反碗が多く、瀬戸美濃系陶器の灯明皿も多く出土した。50は陰刻文で加飾する磁器端反碗、81は小形の磁器火鉢である。

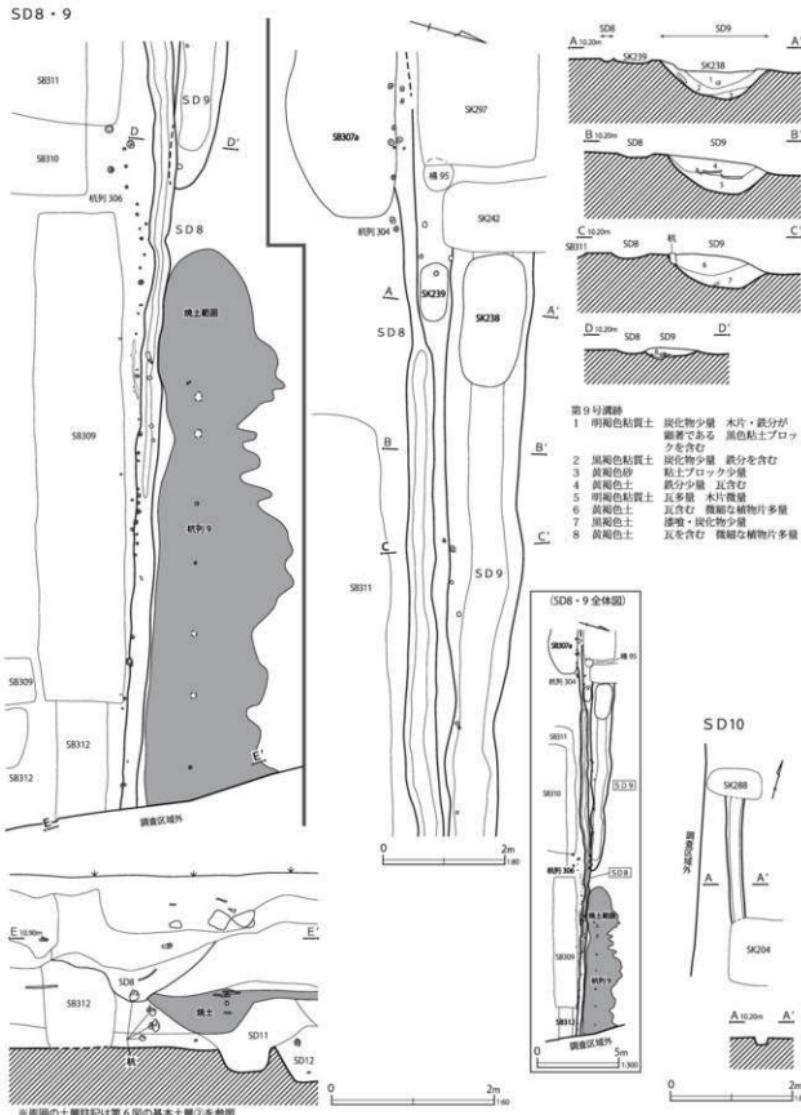
107は陶器の把手であるが、器種は判然としない。122は施釉土器のカンテラで、栗橋宿跡では少量しか出土していない。下限を示す遺物では、瀬戸美濃系磁器湯呑形碗が含まれる。19世紀第2四半期の様相で、第8号溝跡はそれより新しい段階

第25表 第一面溝跡一覧表 単位：m

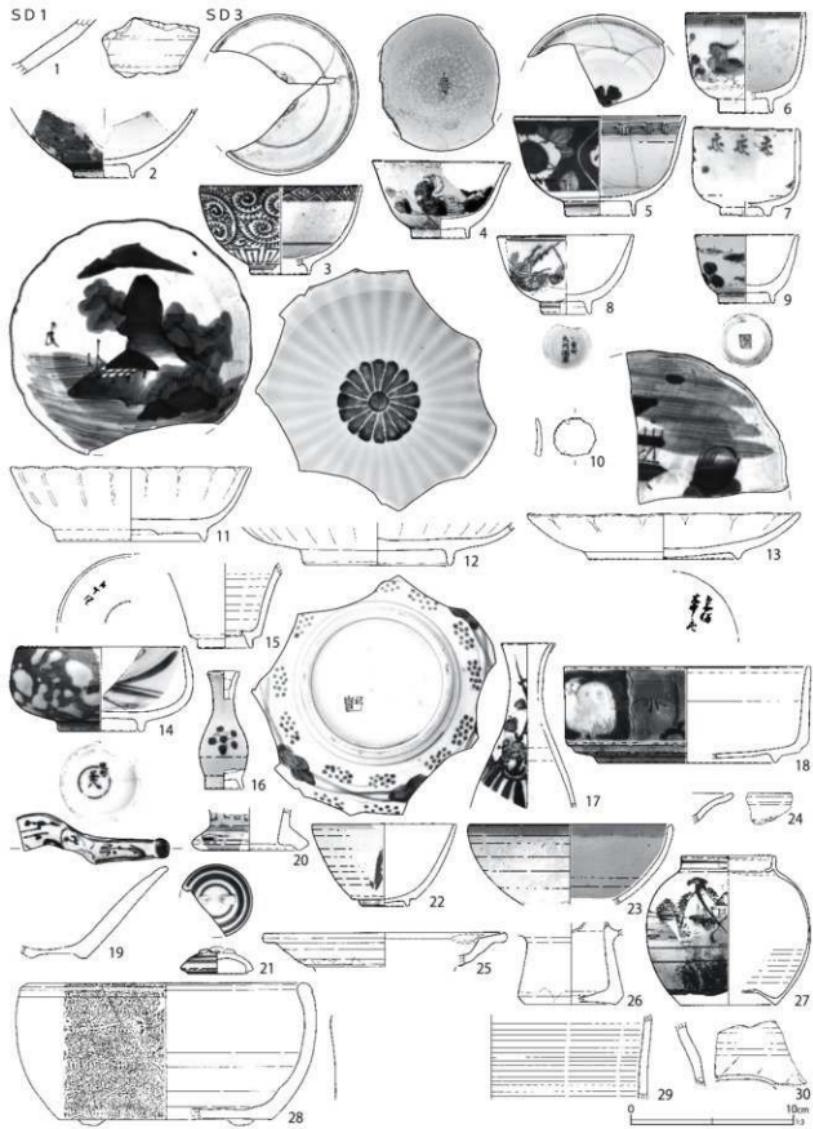
番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方向	備考	
1	C6-D2	7.00	1.05	0.28	N-71°-E	桶5より古 SK176より新 Pit31 重複 寶永通宝(新古各1)出土	
3	C6-B3・C3	18.20	1.12	0.78	N-21°-W	竹桶3より古 SK86/130/250より新 SD5・SK97/171/246/249/277 重複	
4	B6-J2・C6-A2	5.75	0.61	0.22	N-16°-W	SK38/120より古	
5	C6-C3・B3	1.70	0.22	0.10	N-73°-E	桶78 重複	
6	C6-D3・E3/4	11.35	1.15	0.52	N-74°-E	竹桶2・SK189より古	
					N-18°-W		
7	C6-E5	5.10	0.55	0.10	N-17°-W		
8	C6-E5/6・F4/5	(25.56)	2.72	0.71	N-72°-E	SD9・廻路の燒土範囲より新 幅・深さの計測値は調査区壁断面から計測	
9	C6-E5・F4/5	12.12	1.76	0.64	N-76°-E	SD8・SK238より古 SK242 重複	
10	C6-F3	2.07	0.30	0.13	N-72°-E	SK204/288 重複	
16	C6-A2	9.04	0.72	0.80	N-23°-W	SK45/111/119より古	



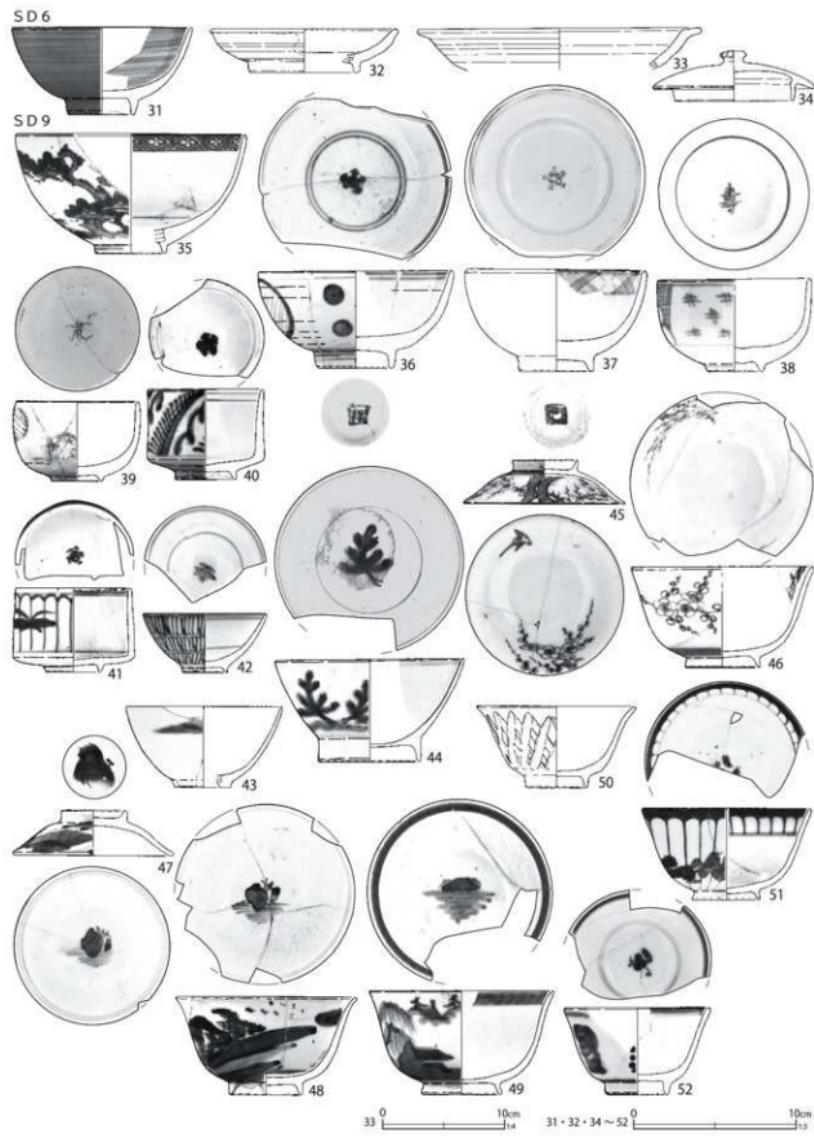
第83図 溝跡（3）



第84図 溝跡(4)



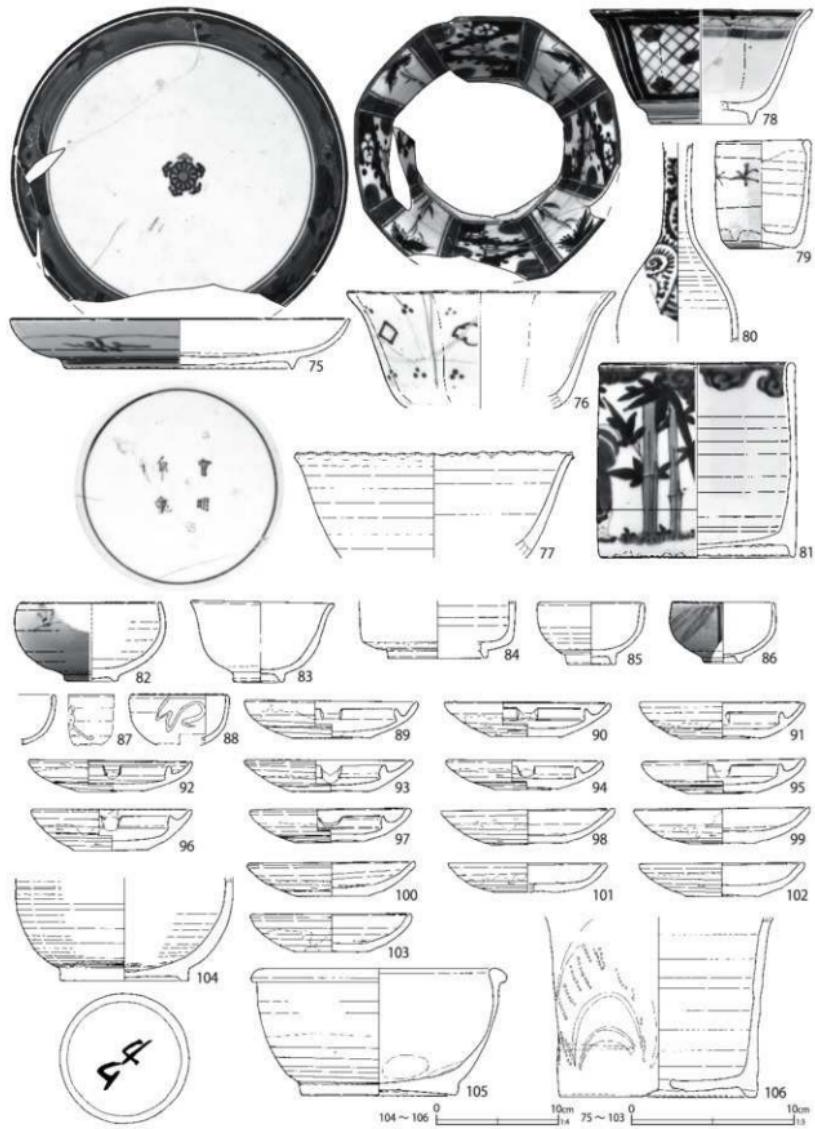
第85図 構跡出土遺物（1）



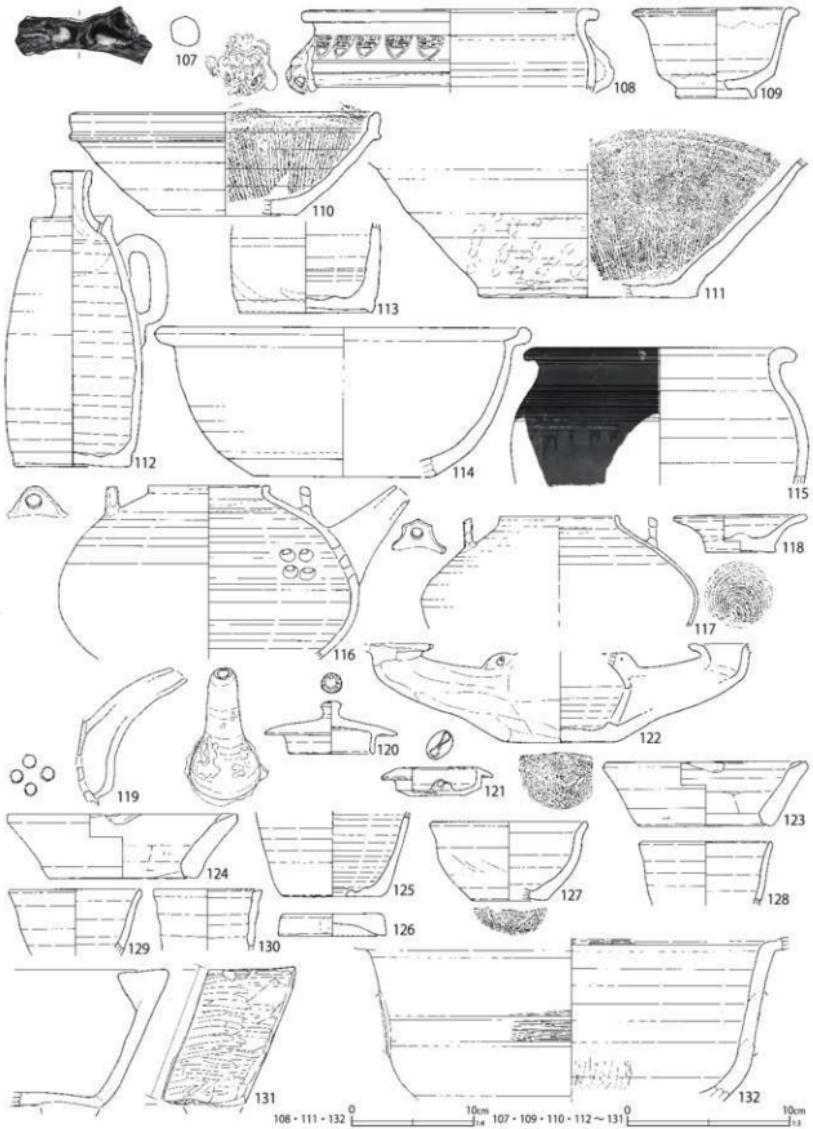
第 86 図 溝跡出土遺物（2）



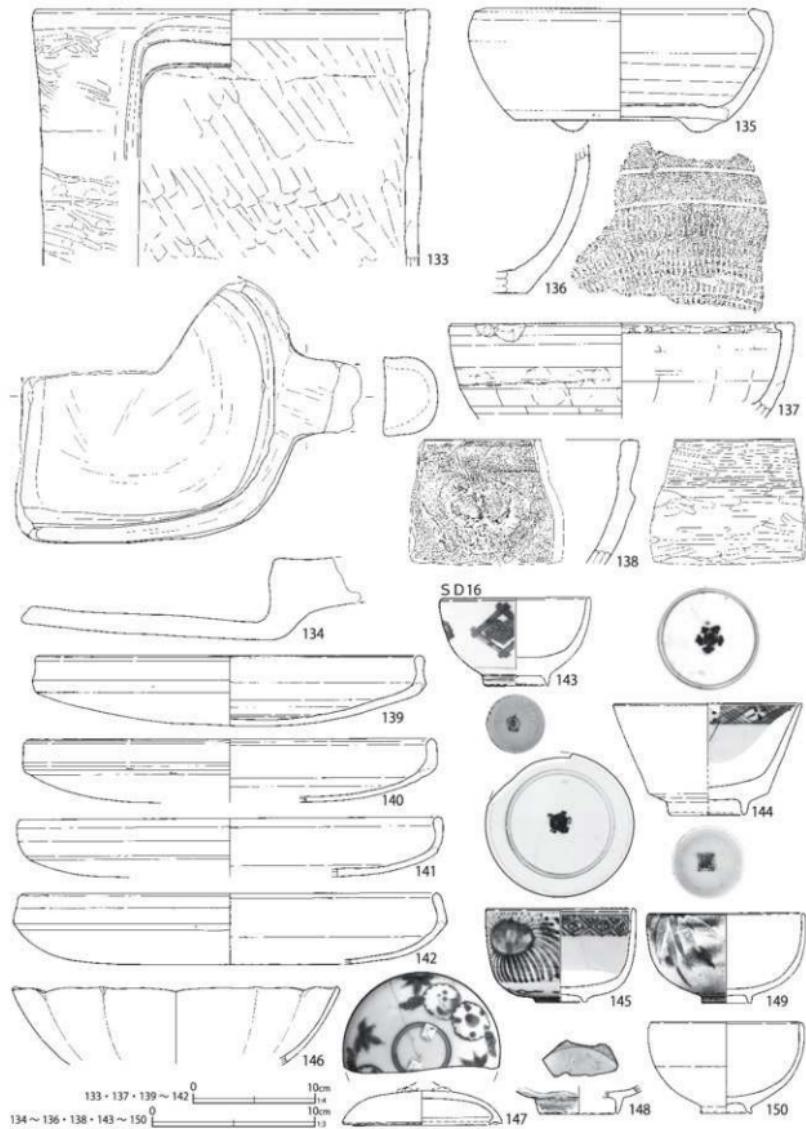
第87図 溝跡出土遺物（3）



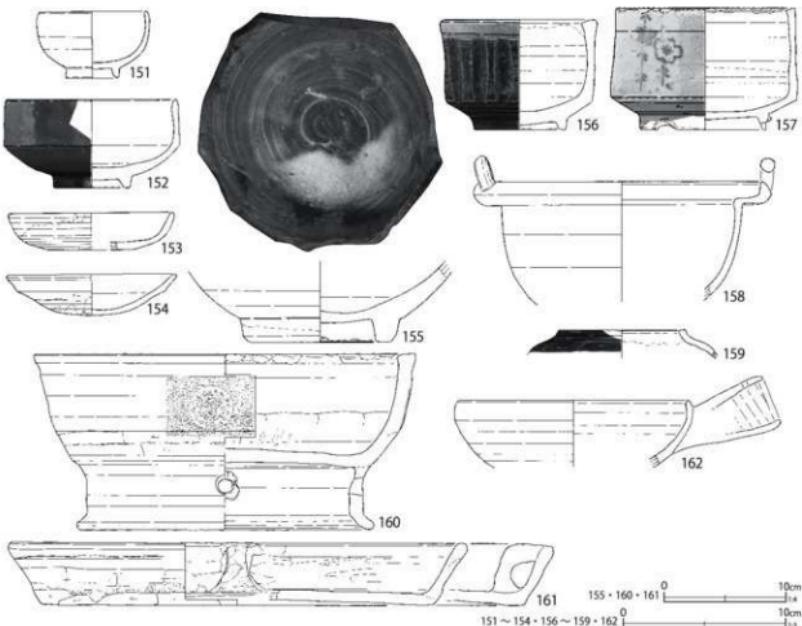
第88図 溝跡出土遺物（4）



第89図 溝跡出土遺物（5）



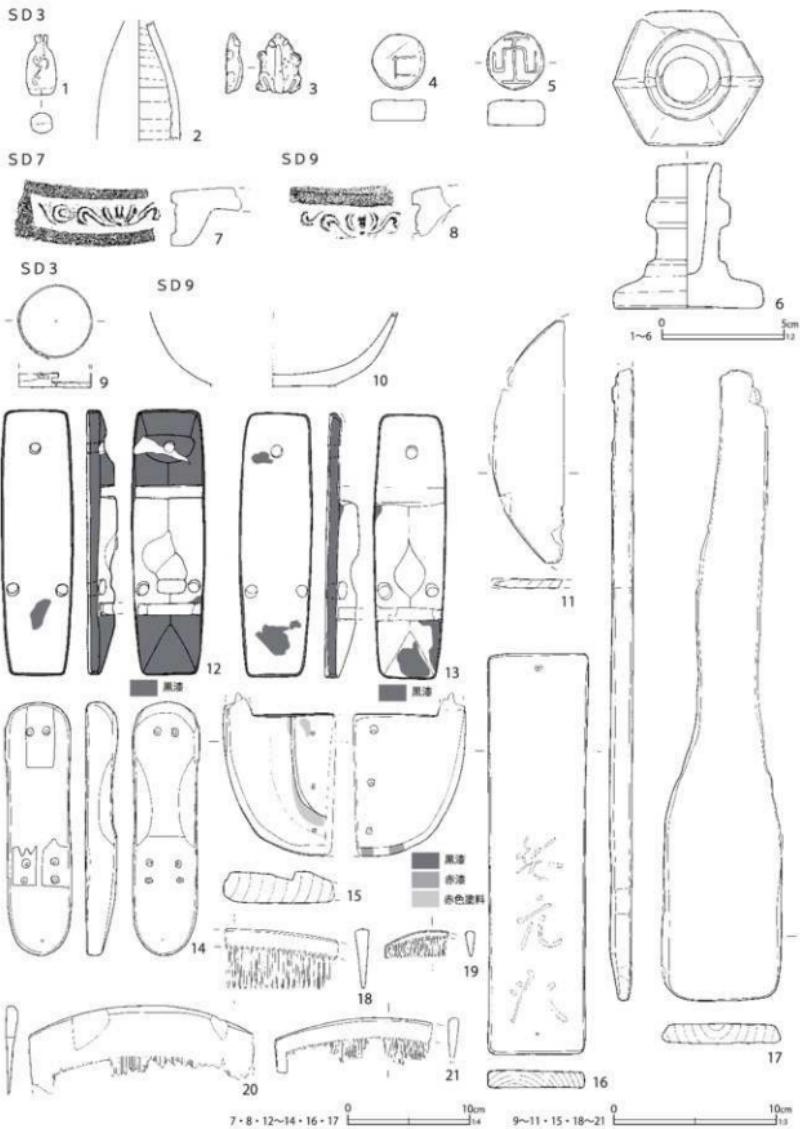
第90図 溝跡出土遺物（6）



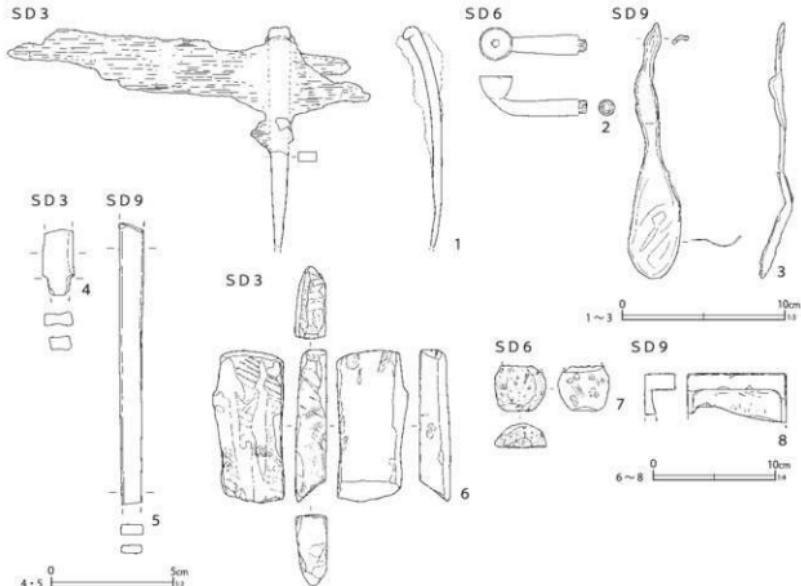
第91図 溝跡出土遺物(7)

第26表 溝跡出土遺物観察表(1)(第85~91図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	盤類	—	[3.4]	—	K	5	良好	灰白	SD1	古瀬戸 灰釉	30-1
2	磁器	碗	—	[4.3]	3.5	—	40	良好	白	SD1	瀬戸美濃系 施釉・型紙模様染付	
3	磁器	碗	9.8	5.5	(3.6)	—	65	良好	白	SD3	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
4	磁器	碗	8.4	4.8	3.5	—	70	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉・染付	
5	磁器	碗	(10.5)	6.1	(4.2)	—	35	良好	白	SD3	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
6	磁器	碗	(7.2)	[6.2]	(3.2)	—	45	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉・染付	
7	磁器	碗	6.2	5.4	2.9	—	65	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
8	磁器	坏	8.2	4.9	2.8	—	60	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
9	磁器	坏	(6.2)	4.2	3.3	—	50	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
10	磁器	碗	幅2.3 横2.6 重2.8			—	5	普通	白	SD3	肥前系 施釉 円盤状製品転用	
11	磁器	皿	14.6	4.5	9.0	—	80	良好	白	SD3	肥前系 施釉 内面模付 口紅 燃継痕・焼御印(赤)	
12	磁器	皿	—	[2.6]	8.8	—	90	良好	白	SD3	肥前系 施釉 (内面青磁釉)・染付	30-2
13	磁器	皿	(16.4)	2.8	(9.0)	—	25	良好	白	SD3	肥前系 施釉 内面染付 燃継痕・焼御印(赤)	75-17
14	磁器	鉢	(10.1)	5.2	4.9	—	50	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉・酸化コバルト染付	30-3
15	磁器	楕木鉢	—	[5.2]	(3.2)	—	15	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 外面～内面上に埋瑠璃釉彩	
16	磁器	德利	1.8	7.2	2.3	—	100	良好	白	SD3	肥前系 施釉 外面染付 小形	
17	磁器	楕木利	(3.1)	[10.1]	—	—	30	良好	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
18	磁器	段重	(15.1)	5.9	(10.8)	—	40	良好	白	SD3	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
19	磁器	蓮華	長[9.8]	高5.6	—	—	70	良好	白	SD3	肥前系 施釉・染付	
20	磁器	孟か	—	[2.6]	(6.0)	—	5	普通	白	SD3	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
21	磁器	蓋	—	[1.5]	3.6	—	60	普通	白	SD3	肥前系 施釉 外面染付	



第92図 溝跡出土遺物(8)



第93図 溝跡出土遺物（9）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
22	陶器	碗	8.8	5.0	2.7	I	60	良好	灰白	SD3	京都信楽系 施釉 外面鉄繪	
23	陶器	碗	(12.3)	[5.0]	—	K	35	良好	灰白	SD3	瀬戸美濃系 灰釉 口縁部埋輪釉	
24	陶器	皿	—	[1.9]	—	I	5	良好	にぶい褐色	SD3	肥前系 褐灰釉	
25	陶器	皿	(14.8)	[1.9]	—	I	15	良好	灰白	SD3	瀬戸美濃系 緑釉（結織部）	
26	陶器	灯火具	—	[5.0]	(5.6)	H	30	良好	灰白	SD3	京都信楽系 施釉	
27	陶器	土瓶	(5.6)	9.1	(5.8)	H	20	良好	灰白	SD3	施釉 外面三彩・鉄繪 下位煤付着	
28	瓦質土器	火鉢	(16.8)	8.7	(13.0)	AIK	30	普通	灰白	SD3	外面施文 胎土粉質 密重	
29	陶器	涼炉	—	[5.2]	—	AII	5	普通	にぶい黄緑	SD3	京都系 白色土器	
30	陶器	涼炉	—	[3.9]	—	HII	5	普通	浅黄緑	SD3	京都系 白色土器	
31	陶器	碗	11.0	5.3	4.0	K	55	良好	灰黄	SD6	肥前系 刷毛目釉	
32	陶器	皿	(11.2)	2.7	(6.5)	K	20	良好	淡黄	SD6	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重燒痕	
33	陶器	鉢	(22.9)	[3.4]	—	I	5	普通	浅黄緑	SD6	瀬戸美濃系 灰釉	
34	陶器	蓋	—	3.1	7.2	K	95	良好	灰白	SD6	上面青緑釉 最大径 10.0 (土瓶)	
35	磁器	碗	(14.0)	7.3	(4.2)	—	30	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
36	磁器	碗	11.8	6.0	4.4	—	75	普通	灰白	SD9	肥前系 施釉・染付	
37	磁器	碗	10.8	6.2	4.2	—	80	良好	灰白	SD9	肥前系 施釉 (外面青磁釉)・染付	
38	磁器	碗	9.2	5.7	3.2	—	95	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
39	磁器	碗	7.4	4.9	3.0	—	90	不良	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
40	磁器	碗	(7.0)	5.5	3.7	—	50	普通	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
41	磁器	碗	(7.0)	5.1	3.2	—	40	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
42	磁器	碗	(7.4)	3.6	2.7	—	50	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
43	磁器	碗	(9.5)	4.9	(3.3)	—	20	良好	白	SD9	肥前系 施釉 外面染付	
44	磁器	碗	11.5	6.2	6.1	—	90	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 燒罐底	
45	磁器	蓋	3.9	2.7	9.8	—	98	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文明個体 I 有	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	始土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
46	磁器	碗	11.1	6.1	4.5	—	75	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
47	磁器	蓋	3.8	2.8	9.6	—	95	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
48	磁器	碗	10.9	6.0	4.3	—	80	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
49	磁器	碗	11.3	6.3	4.7	—	75	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 旋螺旋	
50	磁器	碗	9.5	5.0	3.7	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・外面陰刻状文 同文別個体1有	
51	磁器	碗	(10.2)	5.6	4.0	—	40	普通	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
52	磁器	碗	(8.8)	[5.3]	3.7	—	60	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付 同文別個体1有	
53	磁器	碗	(9.0)	5.3	4.0	—	60	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付 同文別個体1有	
54	磁器	碗	9.5	5.1	3.8	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付 同文別個体有	
55	磁器	碗	9.0	5.0	3.7	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付	
56	磁器	碗	10.5	6.1	(4.5)	—	75	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付	
57	磁器	碗	7.3	5.7	3.8	—	100	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付 同文別個体2有	
58	磁器	碗	7.2	6.2	3.7	—	70	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付 烧継板・焼継印(赤) 同文別個体1有	
59	磁器	碗	(6.7)	6.2	3.0	—	55	普通	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
60	磁器	坏	6.4	3.3	2.4	—	95	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
61	磁器	坏	6.6	3.4	(2.9)	—	50	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
62	磁器	坏	(6.1)	3.1	(2.6)	—	35	良好	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
63	磁器	合子	6.4	3.8	3.2	—	70	良好	白	SD9	肥前系 施釉 外面染付	
64	磁器	仏瓶	6.5	6.3	4.1	—	90	良好	白	SD9	肥前系 施釉 外面染付 同文別個体1有	
65	磁器	皿	—	[1.4]	—	—	5	良好	白	SD9	中国景德镇窑系 施釉・染付	30-4
66	磁器	皿	—	[1.2]	(4.6)	—	15	普通	灰白	SD9	肥前系 施釉 内面染付(初期伊万里様式)	
67	磁器	皿	13.4	4.3	7.8	—	100	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 高台足付部付着物あり	
68	磁器	皿	13.4	3.5	8.7	—	85	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 黒書	30-6
69	磁器	皿	14.1	4.5	8.0	—	60	普通	白	SD9	肥前系 施釉・染付 被熱 焼継痕・焼印(白)	
70	磁器	皿	(14.0)	3.7	(9.0)	—	25	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
71	磁器	皿	14.6	3.9	9.6	—	50	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
72	磁器	皿	(14.0)	(4.1)	(7.8)	—	40	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 漆継痕	
73	磁器	皿	(9.0)	2.4	4.6	—	70	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
74	磁器	皿	9.8	2.0	6.8	—	90	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 発色悪い	
75	磁器	皿	20.7	3.1	12.7	—	85	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	30-7
76	磁器	鉢	16.3	[7.1]	—	—	75	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
77	磁器	鉢	(16.8)	[6.5]	—	—	30	良好	白	SD9	肥前系 青磁系 焼継痕	
78	磁器	鉢	(13.6)	7.0	(6.0)	—	30	良好	白	SD9	肥前系 施釉・染付	
79	磁器	香炉	5.3	6.6	4.1	—	80	良好	灰白	SD9	肥前系 外面施釉・染付	
80	磁器	萬利	—	[12.2]	—	—	25	良好	白	SD9	肥前系 外面施釉・染付	
81	磁器	火鉢	(11.6)	11.9	11.7	—	35	普通	白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・染付	
82	陶器	碗	(8.4)	4.8	3.2	I	80	良好	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面鉄輪	
83	陶器	碗	(8.8)	5.0	3.0	K	80	良好	灰白	SD9	京都信楽系 施釉(質入多い)	
84	陶器	蓋物か	—	[3.5]	(6.0)	I	15	良好	灰	SD9	志戸呂系 外面鉄輪 内面露胎 塗土柘器質	
85	陶器	坏	(6.4)	3.8	2.8	I	70	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 灰釉	
86	陶器	坏	(6.2)	3.7	(2.3)	K	35	普通	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面上給付(緑、赤)	
87	陶器	坏	—	[3.1]	—	IK	5	良好	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面上給付(赤)	
88	陶器	坏	(5.8)	[3.1]	—	IK	20	普通	灰白	SD9	京都信楽系 施釉 外面上給付(赤)	30-8
89	陶器	灯明皿	10.5	2.3	4.8	I	95	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
90	陶器	灯明皿	10.1	2.1	4.4	HK	90	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
91	陶器	灯明皿	(10.0)	2.2	(5.0)	I	50	良好	黄灰	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
92	陶器	灯明皿	(10.0)	1.9	(4.0)	IK	80	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
93	陶器	灯明皿	10.1	1.9	4.8	IK	85	良好	褐灰	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
94	陶器	灯明皿	9.5	1.8	4.0	EHK	90	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
95	陶器	灯明皿	9.7	2.0	4.4	I	95	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
96	陶器	灯明皿	9.6	2.5	4.5	HI	95	普通	浅黄橙	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
97	陶器	灯明皿	(9.6)	[2.0]	(4.2)	DI	50	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉・重焼痕	
98	陶器	灯明皿	10.6	2.1	4.6	GHI	100	普通	にぶい赤褐	SD9	瀬戸美濃系 施釉 内面重焼痕 煤付着	
99	陶器	灯明皿	10.6	2.2	4.0	HK	95	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 施釉 内面重焼痕	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
100	陶器	灯明皿	10.1	2.0	4.4	IK	80	良好	褐灰	SD9	瀬戸美濃系 柿袖・重燒痕	
101	陶器	灯明皿	9.6	1.8	4.0	IK	70	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿袖 内面重燒痕	
102	陶器	灯明皿	10.0	2.1	4.5	I	55	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿袖 内面重燒痕 煙付着	
103	陶器	灯明皿	(9.8)	[2.3]	(4.5)	HI	55	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿袖・重燒痕	
104	陶器	片口鉢	—	[8.4]	10.0	I	30	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 灰袖 内面目跡 墨書	30-10
105	陶器	二ね鉢	(18.8)	10.4	12.5	EHK	50	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 灰袖 内面目跡 5	
106	陶器	楕木鉢	—	[14.7]	16.0	IK	30	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 内面鉄輪毛筆状 外面緑釉・施文	
107	陶器	不明	—	[8.4]	—	I	5	普通	黄灰	SD9	瀬戸美濃系 灰袖 一部うのふ袖 扱手か	30-5
108	陶器	瓶掛	(23.0)	[6.9]	—	IK	25	良好	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面緑繪・施文 内面鉄輪毛筆状	
109	陶器	楕木鉢	9.2	5.5	4.6	IK	65	不良	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面灰輪 燒成前削孔	
110	陶器	搖鉢	(18.4)	6.3	(8.7)	IK	30	良好	泰	SD9	堺町系 内面眉目 小形	
111	陶器	搖鉢	—	[11.0]	(18.0)	DK	20	普通	灰白	SD9	丹波系 内面搖目	
112	陶器	油徳利	2.2	18.1	7.1	EI	95	普通	灰黄褐	SD9	瀬戸美濃系 外面柿輪・底部拭き取り	
113	陶器	徳利	—	[5.5]	8.0	FI	20	不良	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面灰輪・底部拭き取り	
114	陶器	鍋	(22.2)	9.1	(11.0)	E	25	普通	淡黄褐	SD9	柿袖 外面下位少量錫付着	
115	陶器	甕	(15.0)	[8.3]	—	IK	30	普通	灰白	SD9	瀬戸美濃系 柿袖 外面鉄輪流掛	
116	陶器	土甕	(7.4)	[10.6]	—	H	45	良好	灰白	SD9	外面部青釉袖 内面煤付着	
117	陶器	土甕	(7.0)	[6.7]	—	IK	10	良好	灰	SD9	松岡系 外面灰袖 一部施鼠軸状	30-9
118	陶器	蓋	7.6	2.3	4.2	IKL	95	不良	灰白	SD9	瀬戸美濃系 外面一部釉散る	
119	陶器	土甕	—	[8.4]	—	IK	5	普通	橙	SD9	外面部鉄輪・円形に剥離 着土器質	
120	陶器	蓋	—	3.2	5.1	HK	95	良好	灰白	SD9	上面青緑袖 最大径 8.1 (土甕)	
121	陶器	蓋	—	1.7	3.3	I	80	良好	灰白	SD9	上面鉄輪 最大径 6.9 (土甕)	
122	施釉土器	カンテラ	—	6.0	(7.0)	EHK	40	良好	橙	SD9	透明釉 孔に鋼線遺存 双口部燐付着	
123	土師質土器	器台	(12.2)	[3.9]	(8.0)	ACHK	20	不良	にぶい椎	SD9	粘土粉質	
124	土師質土器	器台	(14.0)	3.9	(9.0)	AH	25	普通	にぶい真鍮	SD9	粘土粉質	
125	土師質土器	楕木鉢	—	[5.6]	(6.2)	AOK	25	普通	灰白	SD9	底部系切痕 粘土粉質	
126	土師質土器	蓋	(5.8)	1.4	(6.2)	AEHI	40	普通	にぶい椎	SD9	粘土粉質 内面布痕痕ナダ消し 被熱・赤化	
127	土師質土器	楕木鉢	(9.3)	4.8	(4.2)	AOK	30	普通	にぶい椎	SD9	底部系切痕 粘土粉質	
128	土師質土器	楕木鉢	(7.9)	[3.9]	—	ACI	20	普通	にぶい椎	SD9	透明釉 孔に鋼線遺存 双口部燐付着	
129	土師質土器	楕木鉢	(8.0)	[4.0]	—	AOK	5	普通	にぶい真鍮	SD9	粘土粉質	
130	土師質土器	焼塗壺	(6.6)	[3.7]	—	AHK	25	良好	にぶい椎	SD9	粘土粉質	
131	瓦質土器	火鉢	—	[8.4]	—	CFH	5	普通	にぶい真鍮	SD9	方形火鉢 外面ミガキ 燻す 転用砾具	
132	瓦質土器	火鉢	—	[13.1]	—	CFGH	30	良好	褐灰	SD9	外面ミガキ・施文 燻す 内面火著状痕顯著	
133	瓦質土器	焜炉	(31.8)	[21.0]	—	CI	50	普通	灰白	SD9	外面部粗くミガキ 内面煤付着	
134	瓦質土器	十能	—	[5.0]	—	CIK	60	普通	灰白	SD9	底部シワ状痕 燻す 長 [21.2]	
135	瓦質土器	火鉢	(16.2)	7.5	(13.0)	CEHI	50	普通	椎	SD9	被熱・全体赤変	
136	瓦質土器	火鉢	—	[9.1]	—	HIK	5	不良	褐灰	SD9	外面部糊状・トピガンナ状施文 燻す	
137	瓦質土器	火鉢	—	[28.0]	[7.8]	CDEHI	10	普通	灰白	SD9	口縁部二次敲打	
138	瓦質土器	火鉢	—	[7.6]	—	HIK	5	良好	灰白	SD9	外面部ミガキ 内面突起剥落痕	
139	土師質土器	焙烙	31.1	5.8	31.6	CEIK	75	良好	灰白	SD9	底部シワ状痕 燻す 長 [21.2]	
140	土師質土器	焙烙	(33.0)	[5.2]	(32.9)	CHIK	30	普通	にぶい黄褐	SD9	砂目底 外面煤付着	
141	土師質土器	焙烙	(34.0)	4.8	(33.4)	CHI	15	良好	にぶい椎	SD9	砂目底	
142	土師質土器	焙烙	(33.6)	[5.8]	(35.6)	CHI	20	良好	にぶい赤褐	SD9	砂目底	
143	磁器	碗	9.0	5.4	3.9	—	75	良好	白	SD16	肥前系 施釉 外面染付	
144	磁器	碗	(11.4)	6.8	4.5	—	80	良好	白	SD16	肥前系 施釉 (外面青磁輪) ・染付 漆黒痕	
145	磁器	碗	9.0	5.7	3.0	—	80	良好	白	SD16	肥前系 施釉 ・染付	
146	磁器	鉢	(19.7)	[4.8]	—	—	20	良好	白	SD16	肥前系 施釉 口紅 漆黒痕	
147	磁器	蓋	—	2.0	(9.7)	—	50	良好	灰白	SD16	肥前系 施釉 外面染付	
148	陶器	碗	—	[1.7]	(4.8)	I	5	普通	灰白	SD16	瀬戸美濃系 施釉 ・染付	
149	陶器	碗	(9.4)	5.5	2.9	IK	30	普通	灰白	SD16	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑) 被熱	
150	陶器	碗	(9.2)	5.6	(3.0)	HK	50	良好	灰白	SD16	京都信楽系 施釉 被熱	
151	陶器	环	6.5	4.1	3.1	I	100	普通	浅黄褐	SD16	瀬戸美濃系 灰袖 被熱	
152	陶器	碗	(10.3)	[5.4]	4.3	EHK	50	良好	灰白	SD16	瀬戸美濃系 灰・鉄輪拵分	
153	陶器	灯明皿	(10.0)	2.2	(5.0)	I	25	良好	黄灰	SD16	瀬戸美濃系 柿袖	
154	陶器	灯明皿	(10.2)	2.5	5.3	K	20	良好	褐灰	SD16	志戸呂系 鉄輪 口縁部煤付着	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	始土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
155	陶器	鉢	—	[6.6]	11.7	IK	80	良好 に赤い赤根	SD16	肥前系 内面刷毛目輪 外面鉄化粧		
156	陶器	香炉	9.2	6.7	5.5	IK	70	普通	灰白	SD16	瀬戸美濃系 外面灰・鉄釉掛分・施文	
157	陶器	香炉	(10.7)	7.4	7.6	DI	90	良好	灰白	SD16	瀬戸美濃系 灰輪 外面滑胎 口縁部二次裁打痕	
158	陶器	鍋	17.2	[8.9]	—	K	40	普通	黄灰	SD16	柿輪	
159	陶器	土瓶	(7.8)	[1.7]	—	IK	20	良好	灰白	SD16	外面鉄釉・灰釉流掛・条目状沈線	
160	瓦質土器	火鉢	31.2	14.4	23.8	CEI	60	不良	浅黄緑	SD16	砂目底 外面菊花スタンプ文 被熱・赤化	
161	瓦質土器	焙烙	(36.8)	5.1	(32.0)	CI	25	普通	灰白	SD16	底部シワ状底 内面ヘラミガキ状 一部被熱・赤化	
162	土師質土器	把手付鍋	(14.0)	[5.6]	—	AHI	20	普通	浅黄緑	SD16	胎土粉質 把手穿孔 1	

第27表 溝跡出土遺物観察表(2) (第92図)

番号	種別	器種	法量・胎土			遺構	備考			図版
1	施釉土器	ミニチュア	口径 0.4	底径 0.8	高 2.4	重 3.0	胎土 A	SD3	德利 橙色 外面透明釉・白色文字 前後合型成形	84-19
2	陶器	ミニチュア	高 [5.0]	重 14.4	(2破片)	胎土 HI	SD3	德利 外面青緑釉		
3	土製品	泥面子	長 2.4	幅 1.8	厚 0.6	重 2.1	胎土 AEK	SD3	蛙 橙色 完形 在地系 型押成形・刺突文	84-20
4	土製品	泥面子	径 2.2	厚 0.8	重 5.1	胎土 CEK	SD3	蛙色 土器軸用 全面擦つて成形		
5	土製品	泥面子	径 2.3	厚 1.0	重 6.6	胎土 AI	SD3	蛙色 面打 江戸在地系 表面雲母付着 型押成形		
6	土製品	箱庭道具	幅 6.1	高 6.0	重 94.0	胎土 AI	SD3	灯籠 にぶい黄褐色 江戸在地系 前後合型成形	85-1	
7	瓦	軒平瓦	長 [5.9]	幅 [12.8]	厚 1.8	胎土 AHK	SD7	灰白色		
8	瓦	軒枝瓦	長 [3.2]	幅 [9.5]	胎土 ACIK	SD9	灰色			

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考
9	木製品	曲物	—	—	—	4.7	[0.9]	—	板目	SD3	
10	木製品	漆跡	—	—	—	—	[4.6]	—	横木取り	SD9	内外面赤津 高台内黒漆
11	木製品	曲物	[14.9]	[4.4]	0.6	—	—	—	板目	SD9	表面墨書き 八に「上」(第76表20)
12	木製品	下駄	21.7	6.0	—	—	[2.5]	—	板目	SD9	陰卯下駄 全面黒漆 13と対
13	木製品	下駄	21.7	6.0	—	—	[2.6]	—	板目	SD9	欣卯下駄 全面黒漆 12と対
14	木製品	下駄	20.8	4.9	—	—	2.6	—	板目	SD9	無眼下駄
15	木製品	獅子頭	[10.0]	[6.9]	1.9	—	—	—	板目	SD9	表面赤津 側面黒漆 刃穴3
16	木製品	木札	33.0	8.3	1.4	—	—	—	板目	SD9	表面焼印 鉄釘残 (第76表21)
17	木製品	櫛	[51.8]	身幅 9.8	厚 1.7	柄幅 5.3	厚 1.7	—	板目	SD9	
18	木製品	櫛	[6.9]	3.7	0.8	—	—	—	板目	SD9	
19	木製品	櫛	[3.9]	1.6	0.5	—	—	—	板目	SD9	
20	木製品	櫛	13.7	[5.3]	0.7	—	—	—	板目	SD9	
21	木製品	櫛	[9.6]	3.2	0.6	—	—	—	板目	SD9	

第28表 溝跡出土遺物観察表(3) (第93図)

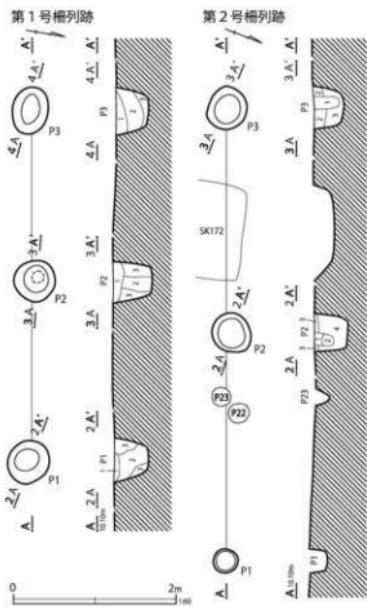
番号	種別	器種	法量			遺構	備考			図版
1	鉄製品	釘	長 [13.5]	幅 1.1	厚 0.6	重 79.5	SD3	打ち込んだ木材残存		
2	銅製品	煙管	長 [6.1]	火皿径 2.0	小口径 1.0	重 11.1	SD6	雁首 署字残存		98-1
3	銅製品	匙	長 15.8	幅 3.2	厚 0.05	重 10.9	SD9			97-1
4	硝子製品	筈	長 [2.7]	幅 1.2	厚 0.6	重 5.0	SD3	透明 中実 表面中央溝む		102-7
5	硝子製品	筈	長 [11.5]	幅 1.0	厚 0.4	重 15.7	SD9	黄褐色 中実		102-7
6	石製品	砥石	長 12.3	幅 5.8	厚 2.5	重 259.0	SD3	ホルンフェルス 幅広工具痕 刀物痕 砥面1被熱 砥延を被損後に使用か		
7	石製品	磨石	長 [3.7]	幅 4.2	厚 2.0	重 17.5	SD6	角閃石玄岩 多孔質 自然面使用		101-3
8	石製品	硯	長 [4.0]	幅 8.1	器高 [2.5]	重 79.5	SD9	ホルンフェルス 内面墨付着		101-1

と思われる。

#### 第10号溝跡 (第84図)

調査区南西際、日光道中に面した部分から検出された溝で、南北両端は別の遺構と重複する。

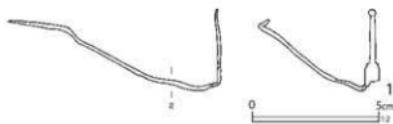
検出長約2.0m、幅30cm、深さ13cmの細い溝であり、店子町屋の敷地内で機能したものと考えられる。



- 第1号柵列跡ピット1・2  
1 暗黄褐色土 砂と少量の植土粒子を混入。  
2 黒褐色土 大ブロックで構成されており、ボソボソしている 青味が  
強く粘質である(柱状)  
3 黑褐色土 黄褐色粘土をブロック状に混入  
第1号柵列跡ピット3  
1 黒褐色土 粘質土で混入物は殆んど認められない  
2 黒褐色土 沈や砂利などを多量に含み、ボソボソしている しまり固  
3 黑褐色土 混入物が少なく、粘質である  
第2号柵列跡ピット2  
1 黑褐色土 均質な層で混入物は含まれない  
2 黒褐色土 ブロック状に構成しており、しまり固密  
3 黑褐色土 黄褐色土を斑々混入  
4 黑褐色土 1層より灰褐色土の量が多く、明るい色調を呈する  
第2号柵列跡ピット3  
1 黒褐色土 土中に複数個の小塊に含む 土中に複数個の小ブロックを混入  
2 黑褐色土 黄褐色土ブロックを纏めたりして混入  
3 黑褐色土 地山か 黄褐色土小ブロックを根に混入

第94図 柵列跡

柵列2



第95図 柵列跡出土遺物

第29表 柵列跡出土遺物観察表 (第95図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	陶製品	甕	長[8.4] 幅0.1 厚0.2 重2.0	柵列2 Pit3		

## (11) 柵列跡

2箇所でピットが等間隔に検出されている。建物跡の一部の可能性もあるが、対となる遺構が検出できなかったため、柵列跡として報告する。検出位置は本陣敷地西側の遺構が希薄な部分で、本陣敷地への出入口が想定される部分である。

### 第1号柵列跡 (第94図)

C 6-D 3・4グリッドに位置し4.3mが検出された。主軸方位はN-80°-Eである。ピットは3基で、ピット1・2間は207cm、ピット2・3間は223cm離れる。規模はピット1が55×50cm、深さ42cm・ピット2が51×51cm、深さ47cm・ピット3が58×44cm、深さ40cmである。

### 第2号柵列跡 (第94図)

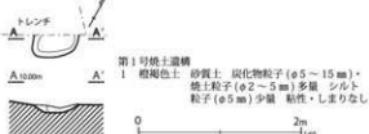
C 6-D 3グリッドに位置し5.54mが検出された。主軸方位はN-69°-Eである。ピットは3基で、ピット1・2間は279cm、ピット2・3間は275cm離れる。規模はピット1が30×30cm、深さ23cm・ピット2が51×46cm、深さ41cm・ピット3が51×47cm、深さ35cmである。

## (12) 焼土遺構

### 第1号焼土遺構 (第96図)

C 6-A 2グリッドで検出された。遺存状態は悪く長軸55cm、短軸27cm、深さ9cmが遺存する。栗橋宿跡からは類似の遺構が多く検出されており、竈のような施設の一部と考えられる。

### 第1号焼土遺構



第96図 焼土遺構

### (13) 土壌

土壌は263基が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第30表に、遺構図は第97～123図にまとめた。以下に特徴的な土壌について記述する。なお、覆土に焼土を多く含み、焼け歪んだ陶磁器や土壁、炭化した木製品が多く出土する土壌が複数検出された。火災処理に関わる土壌と思われる。以下「火災処理土壌」と略して呼称する。

#### 第1号土壌（第97図）

店子町屋盤組と想定されるC 6-D 2 グリッドに位置する。一辺1.5m程の隅が欠ける方形土壌の西側に、厚さ5mmの板で長方形の枠（長さ134cm、幅45cm）が組まれ、東側も別に厚さ1cmの

板が組まれる。土壌内を二区画に分かつ構造で、板は各木組みの仕切り部分で二重となる他は、掘方の壁に沿って巡り、内側から松杭で押さえている。底板は無いが、木製枠形穴蔵に類する遺構である。磁器には第124図1の小広東碗がみられる。陶磁器は被熱したものが多く、重複関係の無い第16号土壌との接合関係がみられるので、第16号土壌とはほぼ同時期の廃絶と考えられる。

#### 第2・9号土壌（第97・98図）

いずれも火災処理土壌である。第2号土壌はC 6-C 2・3 グリッド付近、第9号土壌はC 6-C 1・2 グリッドに位置する。両者は5m以上離れているが、陶磁器の接合関係が極めて多く認

第30表 第一面土壌一覧表 単位：長・短軸m 深さcm

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	排図
1	O6-B2	不整形	1.52	1.50	40	SK27aより新	97
2	O6-C2/3, B2	不整形	(4.55)	2.46	110	SK8より古	97
3	O6-C2	椭円形	(1.76)	1.22	47	桶35より古	97
4	O6-C2	不整形円形	2.98	1.66	52	Pit1/34より古	97
5	O6-C2	隅丸長方形	(1.02)	0.82	34		97
6	O6-C2, D2	円形	0.80	0.77	40	SK2より新	97
7	O6-C2, D2	隅丸長方形	4.64	1.82	115	SK115より古	97
8	O6-B2, D2	不整形円形	(1.06)	0.92	68	桶35より古	98
9	O6-C1/2	隅丸長方形	(4.24)	2.28	69	SK19, SB2より新	98
10	O6-C1/2	不整形円形	(3.06)	2.10	88	SK16重複	98
11	O6-C2	不整形長方形	1.29	0.78	23		98
12	O6-C2	不整形長方形	1.06	0.82	38		98
13	O6-C2	隅丸長方形	1.40	1.10	60	SK31より新	98
15	O6-B2	円形	0.73	0.61	22	SK18より新	98
16	O6-B2, C2	不整形長方形	3.93	1.42	78	SK10重複	98
17	O6-B2	円形	0.49	0.46	25	SK161より新	98
18	O6-B1	不整形	3.64	(2.48)	120	SK15より古	99
19	O6-C2	不整形	(1.80)	0.90	34	SK9より古	98
20	O6-C1	不整形長方形	1.00	(0.90)	50		99
21	O6-B1	円形	0.47	(0.41)	25	SK18重複	99
22	O6-B1	椭円形	0.80	0.60	19	SK18重複	99
23	O6-B1	円形	0.68	0.66	30	杭列1より古	99
24	O6-B2	椭円形	0.50	0.44	10	木桶2より新	99
25	O6-A1	長方形か	2.86	1.62	138	桶26より古	100
26	O6-B2	不整形	(2.00)	1.86	24	SK32, SB1重複	99
27a/b	O6-B2	不整形長方形	2.75	0.72	60	a=SK1より古	99
28	O6-B2, C2	円形	0.58	0.50	12		98
29	O6-A1/2	長方形	(1.94)	1.38	48	t40, SK63/103/104/105より新	101
30	O6-B1/2	不整形長方形	(6.40)	2.00	96	SB1, SK145より新 桶32より古	99
31	O6-C2	不整形	0.92	0.45	33	SK13より古	98
32	O6-B2	隅丸長方形	2.33	0.77	85	SK33より古 SK34より新	100
33	O6-B2	円形	0.72	0.67	50	SK32/65, SB1より新	100

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
66	C6-A1	不整形	2.07	1.70	73	木縛7より古 SK107より新	104	113	C6-A3	不整形	1.80	1.40	40	竹縛1, SK75より 古 SK181/185より 新	108
67	C6-A2	楕円形	1.15	(0, 40)	63	SK92/93/94より新	103	114	C6-A3	不整形	(1.59)	(1.06)	35	竹縛1より古 SK173より新	108
68	C6-A2	楕円形	1.55	(1, 36)	41	SK131より新	103	117	C6-A2	不整形	(1.52)	(1.02)	66	SD16, SK96/118より 古	109
71	C6-A1	不整長方形	(1.84)	0.73	40	桶31より古	104	118	C6-A2	不整形	(0.86)	(0.78)	70	SK117より新	109
74	C6-A2	不整楕円形	1.40	1.31	74	SB1より古	104	119	C6-A2	不整方形	0.72	(0.62)	24	SK36より古 SD16 より新	108
75	C6-A2/3	不整形	2.00	1.90	40	桶52, 竹縛1より 古 SK80/113/156 181/185/190より新	105	120	B6- J2, C6-A2	不整形	(1.60)	(1.02)	120	SK36より古 SD4, SK42より新	108
76	C6-A2/3, B2/3	不整形	3.44	2.35	77	SK157より新	105	122	C6-A1	楕丸長方形	1.18	0.74	24	P12, 桶21/46より 古 SK197より新	108
77	C6-A3, B3	不整形	(1.59)	1.35	34		105	123	C6-B3	楕円形	(0.70)	0.47	28		105
78	C6-A2/3	不整形	(1.54)	1.22	64	SK156より新	105	124	C6-A1/2	不整形	(1.53)	(0.90)	60	SK125より新	109
79	C6-A2	不整形	1.29	(0.96)	54	P35より古	106	125	C6-A1/2	不整形	1.48	0.93	60	SK43/124より古	109
80	C6-A2/3	不整形	2.27	2.00	53	桶52, SK75より古 SK156より新	105	126	C6-A1	不整形	(0.86)	0.64	40		107
81	C6-A2	不整形	1.49	(1, 48)	—		106	127	C6-D3	楕丸長方形	2.25	1.12	65	SK285より新	109
82	C6-B3	楕円形	1.22	0.78	17		105	128	C6-D3	楕丸長方形	2.30	1.14	45		109
83	C6-A3, B3	不整形	1.95	1.77	60		130	C6-B3, C3	不整形	1.84	(0.86)	36	S03より古	109	
84	C6-A2	不整形	1.65	1.00	40		131	C6-A2	楕丸長方形	1.72	0.79	60	SK68より古	109	
85	C6-A2	不整形	1.46	1.22	85		132	C6-A1	不整形	(1.27)	(0.79)	78	SK142/159より古	110	
86	C6-B3	不整形	2.93	1.72	77	桶54/71・杭列2, SD3より古	106	133	C6-A1	楕円形	0.70	0.58	32		110
87	C6-A2, B2	不整形	2.45	1.53	65	SB1より古 SK76, 174より新	106	135	C6-A1	不整形	(0.76)	(0.65)	34	SK136より新	110
88	C6-B3	不整形	1.12	1.17	54		136	C6-A1	不整形	1.78	0.98	27	SK135より古	110	
89	C6-B3	楕円形	1.12	0.95	24		138	C6-A1	楕丸長方形	1.62	0.82	58	SK132/140/159より 新	110	
90	C6-A1	楕円形	1.06	0.63	24	桶28より古	106	140	C6-A1/2	不整形	0.81	(0.21)	52	SK138より古	110
91	C6-B2	円形	0.79	0.78	44	杭列2重複	107	142	C6-A1	不整形	1.00	(0.72)	40	SK132より新	110
92	C6-A2	不整形	1.81	(0, 70)	53	SB1, SK67より古 SK65/93より新	106	144	C6-A2, B2	不整形	2.40	2.14	20	SB1, 木縛2, SK65 より古	110
93	C6-A2	不整形	(0.85)	(0, 63)	58	SB1, SK67/92より 古 SK65/94/95/96より 新	107	145	C6-B2	不整形	1.32	0.75	42	SB1, 木縛2, SK30/ 65より古	110
94	C6-A2	不整形	3.11	0.76	55	SB1, SK67/93より 古	107	146	C6-B1/2	不整形	1.04	(0.68)	42	SK147より新	110
95	C6-B2	不整形	(1.86)	0.93	65	SB1, SK67/92/93 より古 SK65より 新	107	147	C6-B1	不整形	(0.60)	(0.72)	16	SK65・146より古	110
96	C6-B2	不整形	(0.65)	(0, 49)	45	SB1, SK67/92/93 より古 SK65/94 より新	107	150	C6-D3	楕円形	1.55	0.84	30	SK188より新	111
97	C6-C3	楕丸長方形	(1.37)	1.02	70	竹縛3より古	107	151	C6-D3/4	楕丸長方形	2.31	0.66	43	SK188より新	111
98	C6-B3	楕丸長方形	(0.73)	0.53	24		153	C6-A2	不整長方形	1.88	1.40	88	桶51, 竹縛1, SK 102/190より古	107	
99	C6-B2	円形	0.99	0.96	12		156	C6-A2/3	不整形	(1.93)	1.89	50	SK75/78/80より古	111	
100	C6-B3	不整円形	1.14	(0, 65)	22	桶62, SK199より 古	107	157	C6-A3, B3	不整形	2.07	1.55	65	桶66/72, SK76より 古	111
101	C6-A2	楕円形	0.97	0.72	36	木縛4より古	104	159	C6-A1	不整形	1.40	(0, 40)	62	SK138より古 SK132より新	110
102	C6-A2	楕丸長方形	1.28	0.61	24	桶51より古 竹 縛1, SK153より新	107	160	C6-B2	楕丸長方形	1.56	0.72	47	桶9より古	112
103	C6-A1/2	楕丸長方形	(0.58)	0.57	23	SK29/63より古	104	161	C6-B2	楕丸長方形	2.03	1.03	65	SK17/165より古	112
104	C6-A1	楕丸長方形	0.56	(0, 47)	25		162	C6-E2/3	楕丸長方形	4.64	2.25	26	SK7重複	112	
105	C6-A1	楕丸長方形	0.60	(0, 54)	27	SK195より新	104	164	C6-E2	不整形	0.68	(0, 20)	33		112
106	C6-B1	不整形	(1.66)	(1, 20)	55	SK107より新	107	165	C6-B2	楕丸長方形	0.95	0.60	22	SK161より新	112
107	C6-B1	不整形	1.56	1.10	55	桶73/77, SK106より 古	107	166	C6-C3, D3	楕丸長方形	2.38	1.18	53	SK171/188/277より 新	111
108	C6-A1	不整形	0.69	(0, 27)	33	SK64より古	104	171	C6-C3/4, D3/4	楕丸長方形	2.20	1.14	45	S03・SK166より 古 SK277より新	111
109	C6-A1, B1	不整形	0.94	(0, 27)	37	SK195より新 SK63重複	104	172	C6-D3	楕丸方形	1.43	1.18	29	SK284より新	112
111	C6-A2	不整形	2.21	1.58	99	SK36/38より古 SD16より新	108	173	C6-A3	楕円形	0.77	0.69	30	SK114より古	112
							174	C6-A2, B2	楕円形	2.14	1.50	50	S01, SK87より古	106	
							175	C6-B2	不整形	(1.47)	1.35	37	桶9より古	112	
							176	C6-D3/2	楕丸長方形	7.62	1.92	115	SD1, SE5, 桶5より 古 SK269より新	112	
							177	C6-D3/4	楕丸方形	2.75	2.43	27		113	
							178	C6-D3	楕丸長方形	(3.83)	1.36	54	竹縛2より新	113	

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
179	O6-E4, E4	隅丸長方形	5.55	1.85	57	竹穂2より新	113	233	O6-E4	楕円形	0.89	0.63	38	SK232より新	117
180	O6-E3	隅丸長方形	1.22	0.96	21	SD6より新	113	234	O6-E4, F4	不整形	1.42	0.83	15		117
181	O6-A2	不整形	3.50	2.60	46	基礎2, 楠66, 竹穂1, SK75/113より古 SK185より新	108	235	O6-F4	不整形	(1.50)	1.32	26	SK283より新	118
182	O6-A3	楕円形	0.80	0.65	24	竹穂1上り新	108	236	O6-F4	楕円形	0.70	0.45	29		117
185	O6-A2	隅丸長方形	(2.49)	1.02	33	竹穂1, SK75/113/181より古	105	237	O6-F4	不整形	1.40	1.15	41	SE9より古	117
186	O6-E2/3	不整長方形	9.28	2.02	85	SK187より新	113	238	O6-F4	楕円形	2.16	1.04	9	SD9より新	118
187	O6-E2	不整形	0.74	0.40	25	SK186より古	113	239	O6-F4	楕円形	0.93	0.47	7		117
188	O6-C3/4, D3/4	不整長方形	5.84	2.78	116	桶67, SK150/151/ 166/171より古 SK189/277/291より新	111	240	O6-E4	方形	3.54	3.44	52		119
189	O6-D3	不整長方形	2.80	0.96	36	SK188より古	111	241	O6-E5	円形	0.45	0.38	10		117
190	O6-A2	不整形	1.98	(1.42)	61	竹穂1, SK102/153 より古	105	242	O6-E4, F4	隅丸長方形	6.54	1.35	56	SK276上り古	118
191	O6-A2	不整形	(1.99)	1.38	74		114	243	O6-E3	隅丸長方形	2.69	(1.75)	52	SK206より古	114
193	O6-A2	不整形	0.66	(0.42)	42		109	244	O6-B4	不整形	2.03	(1.41)	132	SK201より古	115
194	O6-A2	楕円形	1.29	0.50	20		109	245	O6-B4	不整形	1.21	(0.45)	52		115
195	O6-A1	隅丸長方形	(0.90)	0.55	24	SK105/109より古	104	246	O6-B3	不整形	(1.38)	0.76	9	SD3重複	119
196	O6-R2/3, C2/3	不整形	2.80	1.20	77	桶62より古 SK199より新	115	247	O6-B3	隅丸長方形	2.46	1.96	54	SG1より新	119
197	O6-A1	不整形	1.70	1.16	18	桶45/47, SK122 より古	108	248	O6-E3/4	不整形	2.03	(1.45)	22	SE10, SK255より新	117
198	O6-B3	不整形	2.73	1.84	41	SE4より古	115	249	O6-C3	楕円形	2.79	2.22	74	SK277より新	119
199	O6-B3/2	不整形	1.75	(1.38)	41	桶62, 196より古	107	250	O6-C3	不整長方形	(3.96)	0.73	40	竹穂3, SD3より古	120
200	O6-B3, C3	楕円形	1.32	0.90	30		114	251	O6-E3/4	楕円形	(0.76)	0.67	29		120
201	O6-B3/4	不整形	7.54	6.00	58	SE4より古 SK244より新	115	252	O6-E2	楕円形	0.77	(0.52)	19		120
202	O6-B3	楕円形	0.98	0.67	28		114	253	O6-F3	楕円形	0.93	0.47	23		120
203	O6-A3, B3	不整形	1.14	(0.52)	46		114	254	O6-E3	隅丸長方形	3.62	1.77	24	SK279より新	114
204	O6-F3	隅丸長方形	7.76	1.06	66	SK205より古	116	255	O6-E3	不整形	2.32	(1.64)	25	桶82, SK206/248より古 SE10より新	117
205	O6-F3	不整方形	2.92	2.04	49	SK204より新	116	256	O6-F3	隅丸方形	0.55	0.54	16		120
206	O6-E3/3,	不整形	4.60	1.78	109	SK243/255より新	114	257	O6-F4	隅丸方形	1.53	1.25	45	SE8より新	120
207	O6-F3	楕円形	0.85	0.66	11	SE9より新	114	258	O6-E2/3	楕円形	2.09	1.62	50		120
208	O6-F3	不整形	0.55	0.45	11		116	259	O6-D3	楕円形	0.95	0.69	18		120
209	O6-F3	楕円形	4.82	1.58	48		116	260	O6-C3, D3	楕円形	1.10	0.72	31		120
210	O6-C3	隅丸長方形	1.86	1.86	58	桶63, SK211より古	114	261	O6-C3, D3	隅丸長方形	1.47	0.60	27	排水槽重複	120
211	O6-C3	不整形	1.76	(0.81)	22	桶63より古 SK210より新	114	262	O6-E2/3, F2/3	隅丸方形	2.63	2.53	32	SK295より古 SK266重複	120
212	O6-E3, F3	不整形	3.25	2.08	62		114	263	O6-D4	隅丸方形	0.74	0.70	55		121
213	O6-C2	不整形	0.74	0.65	23		116	264	O6-C3	不整楕円形	1.77	1.11	22	SK277より新	121
214	O6-F3	隅丸方形	0.93	0.90	16		116	265	O6-C3	不整形	0.58	0.50	15	SK277より新	121
215	O6-E3	楕円形	(0.73)	0.58	62	竹穂2重複	116	266	O6-E3, F3	隅丸長方形	2.27	1.31	34	SK262重複	120
216	O6-E3	楕円形	0.84	0.53	55		116	267	O6-C3	不整楕円形	1.62	0.85	27	桶65, SK277より新	121
217	O6-E3	楕円形	(0.72)	0.50	23		116	268	O6-D3	円形	0.51	0.47	49		121
219	O6-E3	楕円形	1.05	0.87	48		116	269	O6-D3	不整形	1.10	0.83	28	SK176, P30より古	109
221	O6-E5	不整形	0.77	0.52	27	SK224より古	116	270	O6-D3	楕円形	1.06	0.54	26		109
223	O6-E5	隅丸長方形	3.08	1.06	29	SD9重複	117	271	O6-D3	不整形	(1.04)	0.54	18		109
224	O6-E5	不整形	1.99	1.19	35	SK221より新	116	272	O6-D3	楕円形	0.89	0.63	71		121
225	O6-E5	隅丸長方形	1.87	1.49	38		117	273	O6-D3/4	隅丸長方形	2.48	1.49	71		113
226	O6-E6	隅丸長方形	1.74	0.65	17		117	274	O6-C3	隅丸長方形	1.32	0.99	33	桶68/75より古	121
227	O6-E6	隅丸長方形	1.47	0.64	42		117	275	O6-E4	隅丸長方形	(4.18)	(1.18)	29		118
228	O6-B5/4	円形	0.50	0.49	17		117	276	O6-E4	隅丸長方形	3.80	0.90	52	SK242より新	118
229	O6-D5	楕円形	2.13	1.89	20		117	277	O6-C3/4, D3/4	不整形	7.16	6.47	182	SD3, SK171/249/ 250/264より古	122
230	O6-E4	隅丸長方形	2.16	1.50	33	SE8より新	117	278	O6-E3	隅丸長方形	2.12	0.88	22		121
231	O6-E4	不整形	1.47	1.24	32		117	279	O6-E3	不整形	2.15	1.78	74	SK254より古	114
232	O6-E4	楕円形	(1.00)	0.64	36	SK233より古	117	280	O6-E4/3	楕円形	1.57	1.20	41		121
							117	281	O6-E3	円形	0.55	0.50	39		121
							117	282	O6-E3	不整形	(1.40)	1.14	41		116
							117	283	O6-F4	不整形	1.41	(0.95)	19	SK235/242より古	118
							117	284	O6-D3	楕円形	(0.53)	0.49	8	Sk172より古	112
							117	285	O6-D3	不整楕円形	1.50	(0.86)	54	SK127より古	121
							117	286	O6-D3	円形	0.55	0.55	15		121
							117	287	O6-D3	円形	0.45	0.42	21		121

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	排図	番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	排図
288	O6-F3	楕丸長方形	0.90	0.47	16	SD10 重複	121	297	O6-F4	楕丸方形	2.47	2.00	45	桶 83/94 より古	118
289	O6-C3	不整形	3.93	0.95	60		123	298	O6-F3	楕丸方形	0.35	0.34	16		120
290	O6-C3	不整形	1.60	1.40	21		121	299	O6-F3	楕丸長方形	1.02	0.65	38		123
291	O6-D3	不整形	0.46	0.25	10	SK188 より古	123	300	O6-E4	楕丸長方形	2.70	1.58	32		118
292	O6-D3	円形	0.54	0.50	13		123	1154	O6-D2	楕丸長方形	1.48	0.76	58	SK7 より新	123
295	O6-E3, J3	楕丸長方形	2.05	1.00	73	SK262 より新	120	1155	O6-D4	不整形	1.27	0.95	13		123
296	O6-C3, D3	楕丸長方形	1.45	0.91	48	SK277 より新	123	1156	O6-D4/5	不整形	3.18	1.45	13	SB16 重複	123

められた。このため、第125～129図の陶磁器は両者のものを一括して図示し、帰属構造については観察表に示す。いずれも4mを越える長大な土壙であるが、第2号土壙は下層が焼土主体層、上層がシルト層で被覆されているのに対し、第9号土壙は砂層が覆土で、下部に炭化したものを含む木製品、建築材が廃棄されていた。第9号土壙は、壁面土層の観察から、焼土層に覆われる第2号建物跡より新しい。従って、建物跡が火災で廃絶し、焼土層が形成された後に、第9号土壙が火災処理のために掘られたと考えられる。

第125～129図は出土した陶磁器で、9～20は色絵を施す肥前系磁器小丸碗、21は瀬戸美濃系磁器端反碗で被熱する。22・23も瀬戸美濃系磁器だが被熱が認められず、後世の混入と思われる。35の磁器皿は、同文で大形のものが第30号土壙から出土している。45はサザエを模した磁器蓋物で肥前三川内産とみられる。46・47は藍色の単色釉に金彩で繊細な上絵付けを施す磁器瓶類である。48・49は萩焼である。藁灰釉の製品で被熱する。54は器種・産地とも不明の陶器蓋物で、被熱している。第188号土壙に同一個体の破片

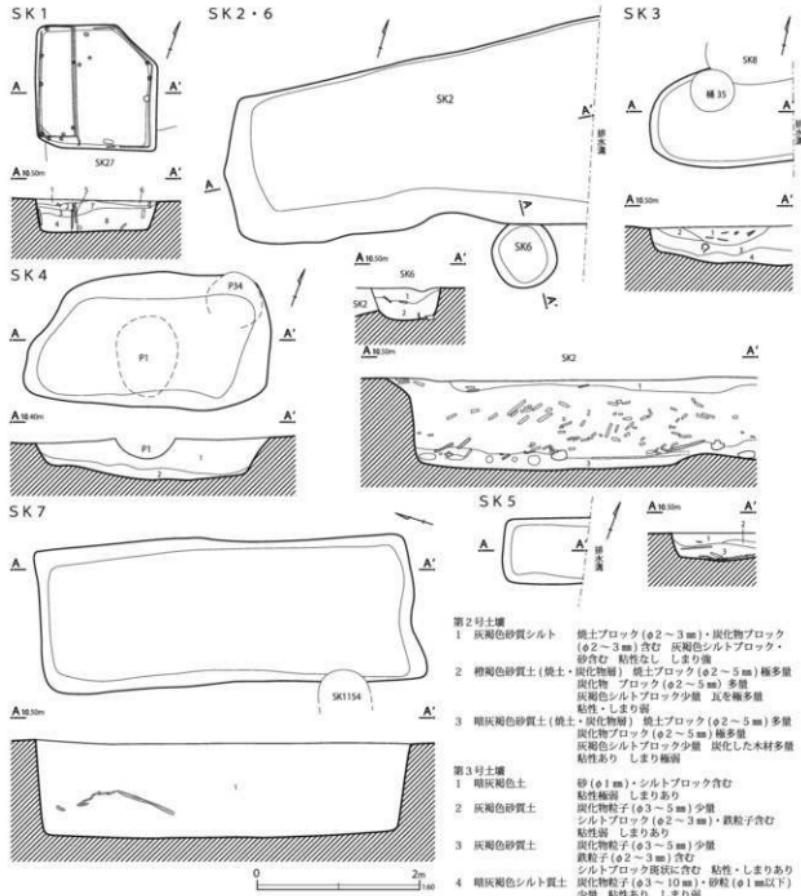
(第190図1023)があり、桶のタガを表している。桶を模した意匠と推定される。61は京都信楽系と思われる陶器土瓶で極めて薄手である。「火割請合」の刻印がある。被熱して破損する数破片から全体を図上復元した。71・72は、所謂「みがきかわらけ」である。陶磁器には後世の混在も少量あるが、被熱の有無でかなり分別される。被熱資料では瀬戸美濃系磁器端反碗(21)・肥前系

磁器八角鉢や陶器土瓶(59～61)が最新期の遺物である。『本陣跡I』で報告した第301号土壙等と同時期、文化・文政期の火災処理に伴うと推定される。第225図1は、第2号土壙出土のミニチュアで焜炉の脚部であろう。

第228・229図1～18、22～24と第234～236図1～15、19～30に瓦を示した。軒瓦は第228図12・13・23に示す唐草の巻きが緩いタイプが多く出土した。東海式は第2号土壙から2点(第228図15・16)出土した。第235図19は本陣を勤めた池田家の家紋「揚羽蝶文」の鬼瓦で第9号土壙の出土である。被熱しており、火災で本陣の建物が被災したことが分かる。揚羽蝶文の鬼瓦は、第26・289号土壙、『本陣跡I』報告の第314号土壙でも出土しているが、全て意匠の細部が異なる。第255図1～12は第2号土壙の金属製品で、4～12に図示したように釘が多く出土した。廃棄された建築部材に伴うものであろう。このほか炭化した布49.4gが第2号土壙から出土した。炭化布類は、『本陣跡I』報告範囲の火災処理土壙で複数の出土例が確認されている。

### 第3号土壙(第97図)

C 6-C 2 グリッドに位置する楕円形の土壙である。第130～132図75～117は出土した陶磁器で、磁器湯呑形碗(76・77)が多い。82の蓋物は第7号土壙(第135図167)と同一個体の可能性もあるが、接合点は見出せなかった。86・87の壺には、内面に粉状の赤色物質が残り、85の壺にも漆膜状の物質が残る。第225図2～4はミニチュア類である。本跡では木製品の遺存状態



#### 第2号土壤

- 1 灰褐色砂質土  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )・炭化物ブロック( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )含む 灰褐色シルト  
少量 粘性なし しまりあり
- 2 細粒灰褐色土(炭化物層)  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ ) 極多量 鉄土粒子( $\phi 1 \sim 2\text{ mm}$ )・  
粘土土粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )少量 粘性あり しまり極弱
- 3 喀灰褐色砂質土(燒土・炭化物層)  
焼土粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )含む 黏性あり しまり弱
- 4 喀灰褐色シルト質土  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ ) 極多量 灰褐色シルト( $\phi 1 \sim 2\text{ mm}$ )・  
少量 粘性・しまり強
- 5 喀灰褐色土(炭層)  
炭化物ブロック 極多量 シルト質土少量
- 6 明灰褐色土  
炭化物粒子( $\phi 3 \sim 10\text{ mm}$ ) 極量 鉄土粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ ) 多量  
シルトブロック( $\phi 3 \sim 5\text{ mm}$ ) 呈斑状に含む 粘性なし  
しまりあり
- 7 灰褐色砂質シルト  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )・焼土粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ ) 少量  
粘性弱 しまりあり
- 8 明褐色砂質土  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ ) 少量 鉄土粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )・  
砂質土( $\phi 3 \sim 5\text{ mm}$ )を間状含む 粘性強弱 しまり弱

#### 第3号土壤

- 1 喀灰褐色土  
シルトブロック含む  
粘性強度 しまりあり
- 2 灰褐色砂質土  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 5\text{ mm}$ ) 少量  
シルトブロック( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )・鉄土粒子含む  
粘性弱 しまり弱
- 3 灰褐色砂質土  
炭化物ブロック( $\phi 2 \sim 5\text{ mm}$ ) 極多量  
灰褐色シルトブロック少量 炭化した木材多量  
粘性あり しまり弱
- 4 喀灰褐色シルト質土  
炭化物粒子( $\phi 3 \sim 10\text{ mm}$ )・砂粒( $\phi 1\text{ mm}$ 以下)  
シルトブロック斑状に含む 粘性・しまりあり  
炭化物粒子( $\phi 3 \sim 10\text{ mm}$ )・砂粒( $\phi 1\text{ mm}$ 以下)  
少量 粘性あり しまり弱

#### 第4号土壤

- 1 灰褐色砂  
炭化物ブロック( $\phi 5 \sim 10\text{ mm}$ ) 多量  
下部に 5 cm の厚さで砂少量 砂の粒径は粗い  
粘性なし しまり弱
- 2 灰褐色砂  
砂の粒径は細かい 烧土塊微量 灰褐色シルト  
シルトブロック( $\phi 5\text{ mm}$ ) 少量 粘性なし しまり弱

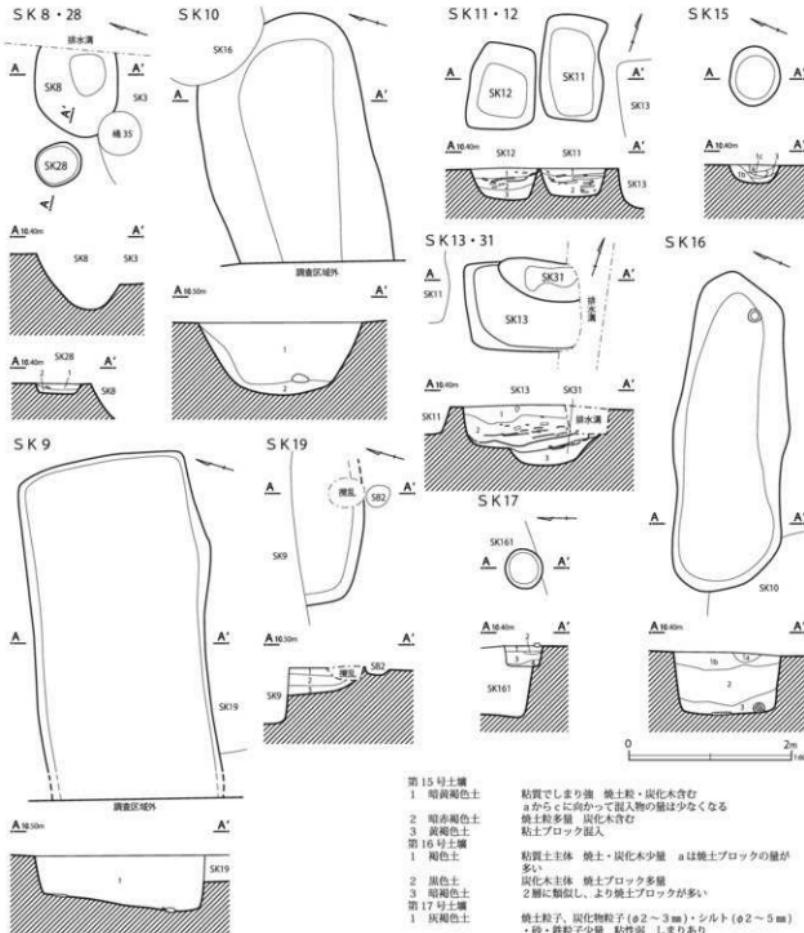
#### 第5号土壤

- 1 喀灰褐色土  
炭化物粒子( $\phi 5 \sim 10\text{ mm}$ )・鉄土粒子含む  
灰褐色シルト薄層状に含む 砂少量
- 2 灰色砂質土  
鐵粒子( $\phi 1\text{ mm}$ ) 含む 粘性なし しまり強
- 3 灰褐色シルト質土  
炭化物粒子( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )・シルトブロック  
( $\phi 2 \sim 3\text{ mm}$ )・砂少量 粘性なし しまり弱

#### 第6号土壤

- 1 灰褐色砂質シルト  
しまり・粘性弱 砂粒・砂片多量  
2 喀灰褐色砂質シルト  
しまり・粘性弱 木片・陶器片含む
- 3 赤褐色土  
燒土層 瓦片多量 粘性なし しまり弱 増反し

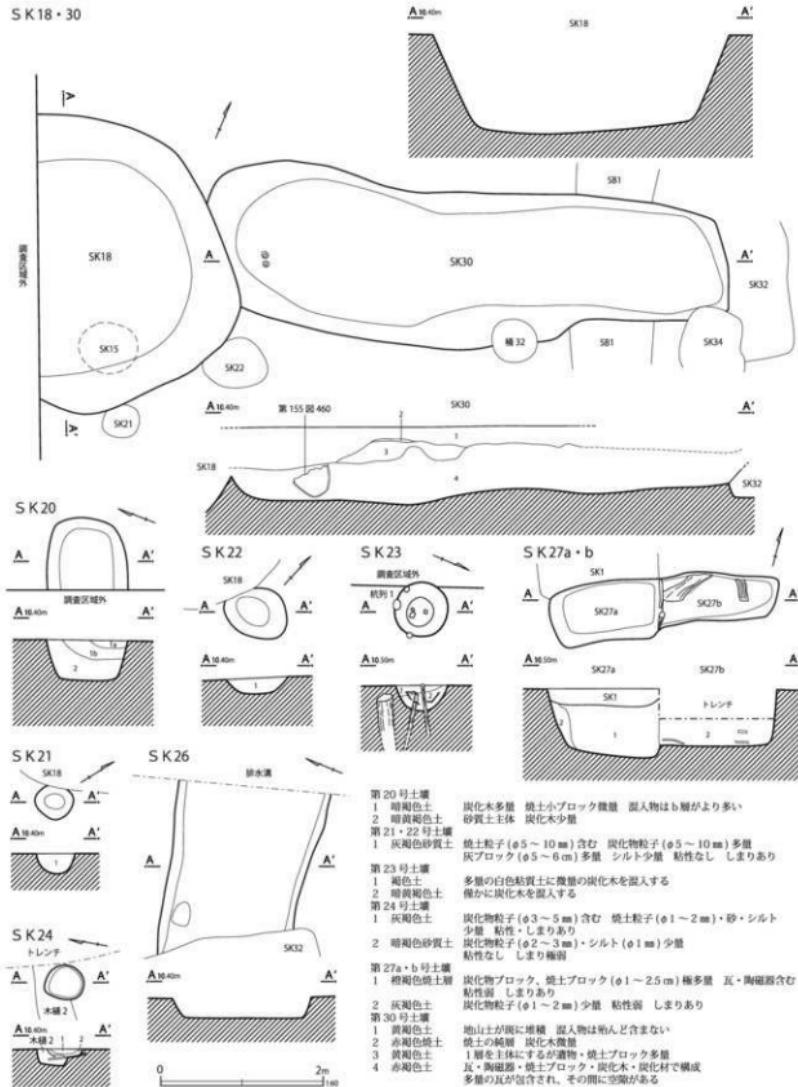
第97図 土壤 (1)



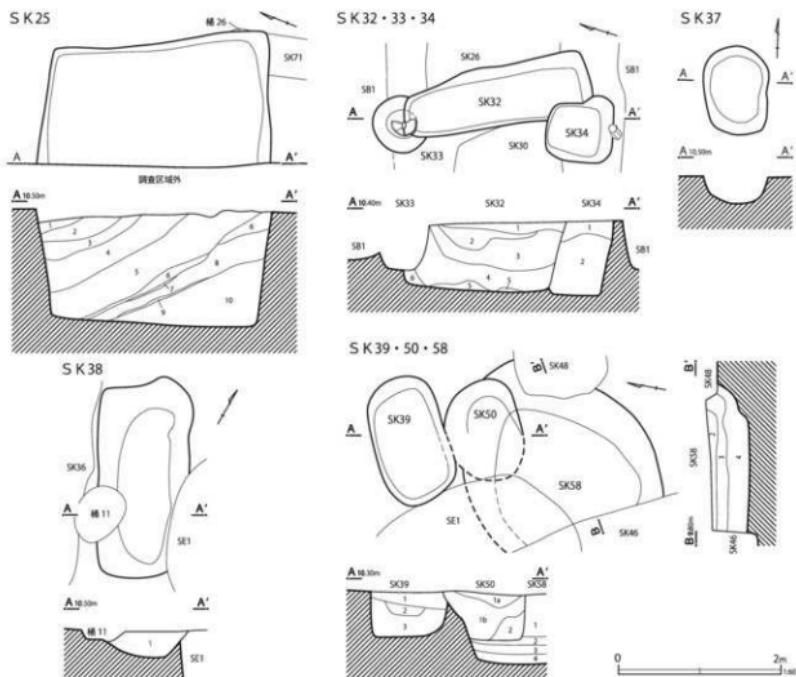
- 第9号土壠  
1 褐灰色砂  
2 塔褐色シルト  
3 明赤褐色シルト  
第10号土壠  
1 褐灰色砂  
2 灰褐色砂質シルト  
3 塔褐色シルト  
第11・12号土壠  
1 灰褐色砂質シルト  
2 塔褐色シルト  
3 明赤褐色シルト  
第13・31号土壠  
1 灰褐色砂質シルト  
2 塔褐色シルト  
3 塔褐色砂質シルト
- 砂の純層 粘性なし しまり弱 埋没し  
砂層の純層 粘性なし しまり弱 埋没し  
焼土粒・炭化物含む 粘性・埋没し  
砂粒多量 炭化物微量 粘性なし しまりあり (SK13)  
砂粒多量 木片・樹皮少量 粘性・埋没し (SK13)  
木片・腐葉木片多量 粘性・埋没し (SK31)

- 第15号土壠  
1 明黄褐色土  
2 明赤褐色土  
3 黄褐色土  
第16号土壠  
1 褐灰色土  
2 黑色土  
3 黑褐色土  
第17号土壠  
1 黑褐色土  
2 黑褐色土  
3 灰褐色砂質土  
4 灰褐色砂質土  
第19号土壠  
1 褐褐色シルト  
2 灰褐色的青シルト  
3 明赤褐色シルト  
第28号土壠  
1 塔褐色土  
2 灰褐色土
- 粘質でしまり強 烧土粒・炭化木含む  
aからcに向かって侵入物の量は少くなる  
燒土粒多量 炭化木含む  
粘土ブロック混入
- 粘質土主体 烧土・炭化木少量 aは焼土ブロックの量が多い  
炭化木主体 烧土ブロック多量  
2層に類似し、より焼土ブロックが多い
- 燒土粒子・炭化物粒子(Φ2~3mm)・シルト(Φ2~5mm)  
・砂・鉄粒子少量 粘性弱 しまりあり  
燒土粒子(Φ5~10mm)・砂・シルト含む 炭化物粒子(Φ2~3mm)少量 粘性なし しまりあり  
炭化物粒子(Φ2~3mm)含む 烧土粒子(Φ2~3mm)少量  
粘性弱 しまりあり  
炭化物粒子・焼土粒子(Φ2~3mm)少量 粘性・しまりなし
- 粘性・しまり弱  
砂多量 炭化物微量 粘性・しまり弱  
燒土ブロック(Φ3~5cm)・炭化物多量 しまり弱  
粘性なし(燒土主体層)
- 炭化物粒子(Φ3~5mm)含む 鉄粒子(Φ2~3mm)少量  
粘性あり しまり弱 (木片・陶磁器含む)  
シルト・砂含む 炭化物粒子(Φ1~2mm)少量 粘性なし  
しまりあり

第98図 土壠 (2)



第 99 図 土壌 (3)



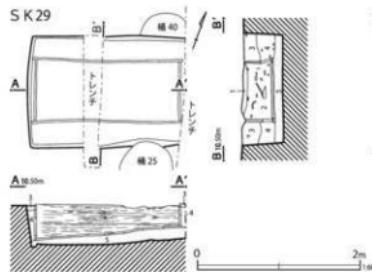
- 第 25 号土壠
- 暗灰色土 地山の粒質土ブロック主体 壊化木・焼土・遺物混入
  - 暗褐色土 多量の炭化木を含み暗色を呈する 焼土ブロック・遺物混入
  - 暗灰色土 1層より遺物を多く含む
  - 暗灰色土 焼土ブロック・遺物混入 2層より燒土多い
  - 暗赤褐色土 多量の燒土で構成されている 炭化木・遺物混入
  - 暗赤褐色土 5層より燒土多い
  - 黒色土 ほぼ炭化木の範囲
  - 暗赤褐色土 6層より燒土多い
  - 暗赤褐色土 ほぼ炭化木の範囲
  - 暗赤褐色土 5層に類似するが極端に遺物が少ない
- 第 32 号土壠
- 弱褐色土 砂質土主体 燃土・微量 炭化木小ブロック混入
  - 褐色土 砂質土・焼土・炭化木が程度混在
  - 褐色土 瓦主体 砂質土・焼土・炭化木多量 空隙がある
  - 黒色土 燃土・微量 炭化木・燒土ブロックは3層より小さい
  - 黄褐色土 砂質の地山土を主体にし、炭化木、焼土を微量混入する
  - 暗灰褐色土 砂質のある地山土を主体にし、炭化木を少量混入する

- 第 34 号土壠
- 弱褐色土 砂質土主体 燃土・微量 炭化木小ブロック混入
  - 黒色土
  - 第 38 号土壠
    - 弱褐色土
- 第 39 号土壠
- 赤褐色土 大粒の燒土・炭化木で構成
  - 暗褐色土 燃土・炭化木で構成 灰色地山土も多く混入
  - 褐色土 燃土・炭化木で構成 1層に類似するがブロックは小さい
- 第 50 号土壠
- 弱褐色土 燃土・炭化木を含む bはその量が大きい
  - 暗褐色土 1層を基調とし灰褐色の大形ブロックが混入
  - 褐色土
- 第 58 号土壠
- 暗黒灰色土 烧土・炭化木を含む bはその量が大きい
  - 暗黒灰色土 1層を基調とし灰褐色の大形ブロックが混入
  - 明赤褐色土 下部は遺物の量が多い
  - 黑色砂質土 烧土・炭化木を含む
  - 褐色土

第 100 図 土壠 (4)

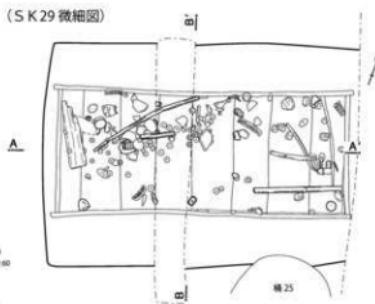
が良く、一部を第241～242図1～27に示す。碗皿類と蓋（1～5）、膳（6～9）、杓子（13～15）、箸（10～12）などが含まれる。第255図14～18は金属製品で、14は錠前である。第260図3・4は磁石で、3に成形時の幅広い工具痕が残

る。第263図61は墓石、71は大形の玉醜製火打石である。今回の報告範囲では、大形の火打石が多く出土している印象である。19世紀中葉の土壠と考えられ、当該期における各種遺物の組み合わせを窺い知ることができる。



第29号土壌

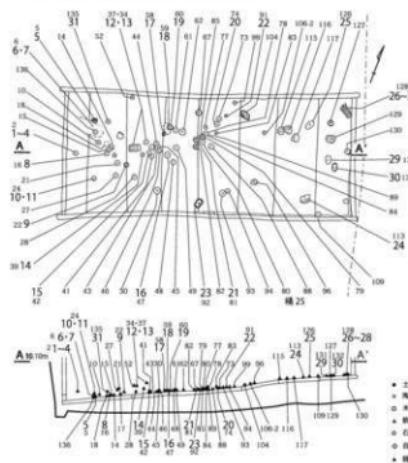
- 1 明灰褐色砂質土 炭化物粒子(Φ2~3mm) 少量 シルトブロック  
(Φ1~1.5mm) 含む 黄褐色粒子層に含む 黏性・  
しまりあり  
2 灰褐色土 炭化物粒子(Φ2~3mm)・砂少量 陶器多量 黏性弱  
しまりあり  
3 灰褐色砂質シルト 烧土粒子(Φ3~5mm)・炭化物粒子(Φ5~10mm)・  
シルト粒子(Φ5~8mm) 含む 黏性弱 しまりあり  
(強方)



- 4 墓灰褐色シルト 陶土粒子、炭化物粒子(Φ2~3mm) 少量 黏性・  
しまりあり (強方)  
5 墓灰褐色砂質シルト 烧土粒子(Φ5~10mm) 中量 陶土粒子(Φ2~3mm)  
少量 シルト粒子(Φ3~10mm) 斜状に少量 黏性・  
しまりあり (強方)

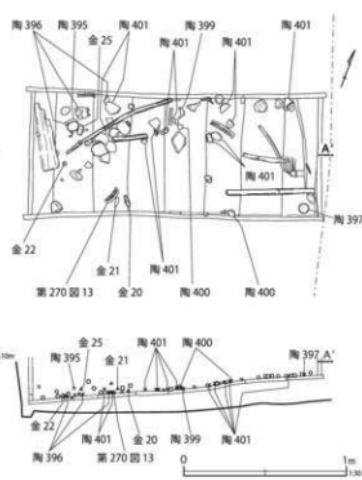
SK 29 銭貨出土状況

\*ゴシック体は実測番号 (第258・259図参照)  
明朝体 (文字サイズ) は取り上げ番号 (第81表参照)



SK 29 実測遺物出土状況 (銭貨を除く)

\*陶は陶磁器、金は金属製品を示す

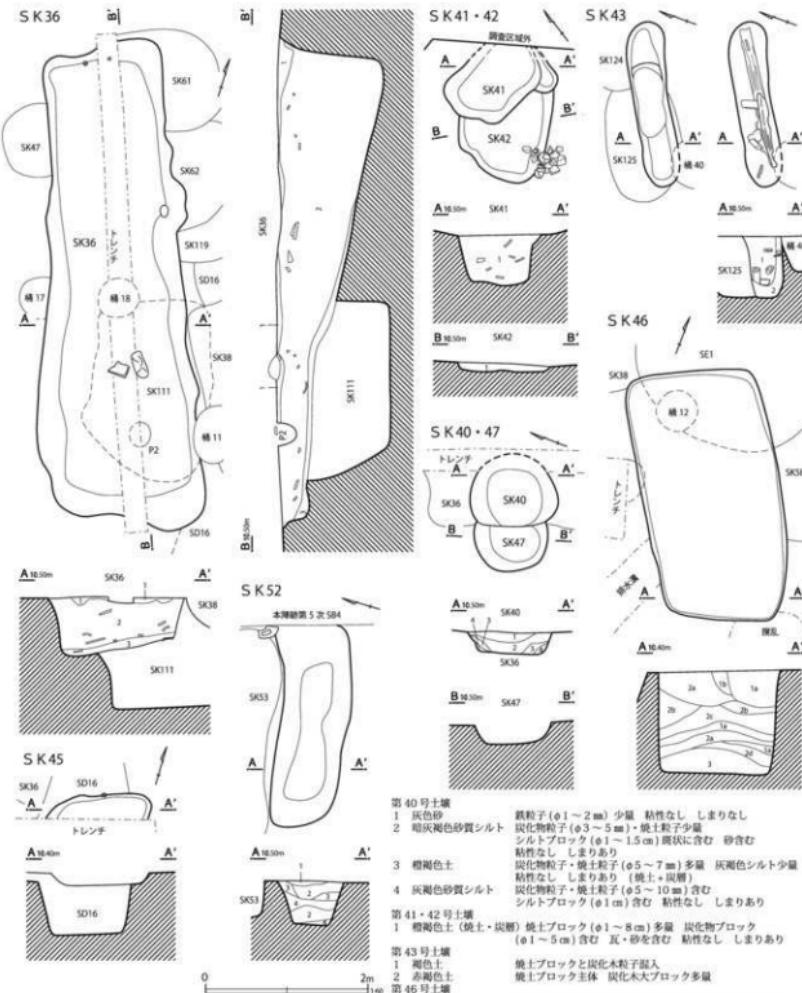


第101図 土壌 (5)

### 第7号土壌 (第97図)

D 6-C 2・D 2グリッドに位置する長さ4.6m程の火災処理土壌である。調査区西際に、街道と並行するように検出された。覆土は焼土で充填される。

第133~135図131~195に出土した陶器を示す。131~133は肥前系磁器半球碗の身・蓋が被熱・溶着したものである。複数の破片があるが、個体数の推定には至らなかった。瀬戸美濃系の磁器もいくつか出土しており、138の端反碗



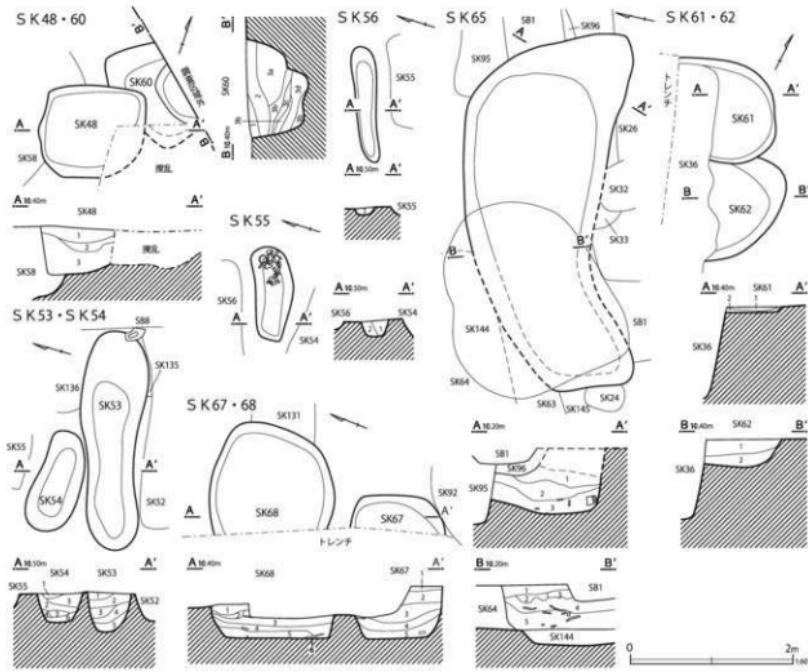
第 36 号土壤

- 1 濃褐色砂質土  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ )・燒土粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ ) 少量・シルトブロック ( $\phi 1 \sim 10 \text{ cm}$ ) 現状に含む  
砂多量・粘性なし・しまりあり  
炭化物・燒土ブロック ( $\phi 1 \sim 4 \text{ cm}$ ) 極多量
- 2 濃褐色土  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ )・燒土粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ ) 粘性なし・しまり弱  
炭化物・燒土ブロック ( $\phi 1 \sim 4 \text{ cm}$ ) 極多量
- 3 濃褐色砂質シルト  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ )・燒土粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ ) 粘性なし・しまりあり  
少量・シルトブロック ( $\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$ ) 斑状に含む

第 40 号土壤

- 1 黒色砂  
鐵粒子 ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 少量・粘性なし・しまりなし  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$ )・燒土粒子 少量  
シルトブロック ( $\phi 1 \sim 1.5 \text{ cm}$ ) 斑状に含む・砂含む  
粘性なし・しまりあり
- 2 濃褐色土  
炭化物粒子・燒土粒子 ( $\phi 3 \sim 7 \text{ mm}$ ) 多量・炭化物シルト少量  
粘性なし・しまりあり (焼土・炭化物)  
炭化物粒子・燒土粒子 ( $\phi 5 \sim 10 \text{ mm}$ ) 含む  
シルトブロック ( $\phi 1 \text{ cm}$ ) 含む・粘性なし・しまりあり
- 3 濃褐色砂質シルト  
燒土ブロック ( $\phi 1 \sim 8 \text{ cm}$ ) 多層・炭化物ブロック ( $\phi 1 \sim 5 \text{ cm}$ ) 含む・瓦・砂を含む
- 4 濃褐色砂質シルト  
燒土色土  
燒土 (燒土・炭化物)  
燒土ブロックと炭化木塊入  
燒土ブロック多量
- 5 第 41・42 号土壤  
燒土色土 (燒土・炭化物)  
燒土ブロック ( $\phi 1 \sim 8 \text{ cm}$ ) 多層・炭化物ブロック ( $\phi 1 \sim 5 \text{ cm}$ ) 含む・瓦・砂を含む  
燒土ブロックと炭化木塊入  
燒土ブロック多量
- 6 第 43 号土壤  
燒土色土  
燒土色土  
燒土 (燒土・炭化物)  
燒土ブロックと炭化木塊入  
燒土ブロック多量
- 7 第 44 号土壤  
燒土色土  
燒土 (燒土・炭化物)  
燒土ブロックと炭化木塊入  
燒土ブロック多量
- 8 第 45 号土壤  
燒土色土  
燒土 (燒土・炭化物)  
燒土ブロックと炭化木塊入  
燒土ブロック多量
- 9 第 46 号土壤  
燒土色土  
燒土 (燒土・炭化物)  
燒土ブロックと炭化木塊入  
燒土ブロック多量

第 102 図 土壌 (6)



第48号土壠

- 明灰色砂質土 炭化物粒子(φ2~5mm)・シルトブロック(φ2~3mm)  
少量 粘性あり しまりあり
- 灰褐色砂質土 炭化物粒子(φ2~3mm) 含む 硫土粒子(φ2~3mm)  
少量 小石・木材混入 粘性あり しまりあり
- 暗褐色砂質シルト 土化物粒子(φ2~3mm)・シルトブロック(φ3~5mm)  
少量 粘性弱 しまりなし

第53・54号土壠

- 赤褐色土 烧土ブロック・炭化木多量
- 黒褐色土 硫土を主とし、焼土ブロック混入
- 赤褐色土 烧土ブロック・ほぼ硫土の純層 炭化木混入
- 黒褐色土
- 5号土 剥離土到じ土
- 暗褐色土 地山土主体 炭化木混入

第55号土壠

- 黒褐色土 烧土ブロック・炭化プロック・地山土で構成
- 黒褐色土 烧土ブロック・炭化プロック・地山土で構成
- 地山土の量が多い しまり強

第56号土壠

- 黒褐色土 烧土ブロック・炭化プロック・地山土で構成
- 黒褐色土 地山土の量が多い しまり強

第60号土壠

- 灰褐色砂質土 黄褐色土・暗褐色土の隙間に製在 裂分以外の混入物なし  
1層土体 硫土・炭化木少量
- 灰褐色土 炭化物多量 烧土ブロック少量  
a-dにかけて混入する焼土ブロックが減少

第61号土壠

- 灰褐色砂質土 黄褐色土・暗褐色土の隙間に製在  
炭化木・硫土ブロックで構成

第62号土壠

- 灰褐色土 灰色粘質土・焼土小ブロック少量 炭化木多量  
焼土ブロック多量 烧土木混在

第65号土壠 (A-A')

- 灰褐色シルト質土 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 砂含む 粘性・しまりあり
- 灰褐色シルト質土 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりあり
- 暗褐色シルト質土 炭化物粒子(φ2~3mm)少量 水質多量 食有機物多量

第65号土壠 (B-B')

- 灰褐色砂質シルト 炭化物・硫土粒子(φ2~3mm)含む 粘性なし しまりなし
- 暗褐色土 烧土・シルト粒子量 粘性・しまりなし
- 灰褐色砂質シルト 炭化物粒子(φ2~3mm)・鉄粒子(φ1~2mm)含む 粘性なし しまりあり
- 灰褐色砂質シルト 炭化物・硫土粒子(φ2~3mm)含む 粘性弱 しまりあり
- 暗褐色土 烧土粒子(φ2~3mm)多量 硫土粒子(φ2~3mm)

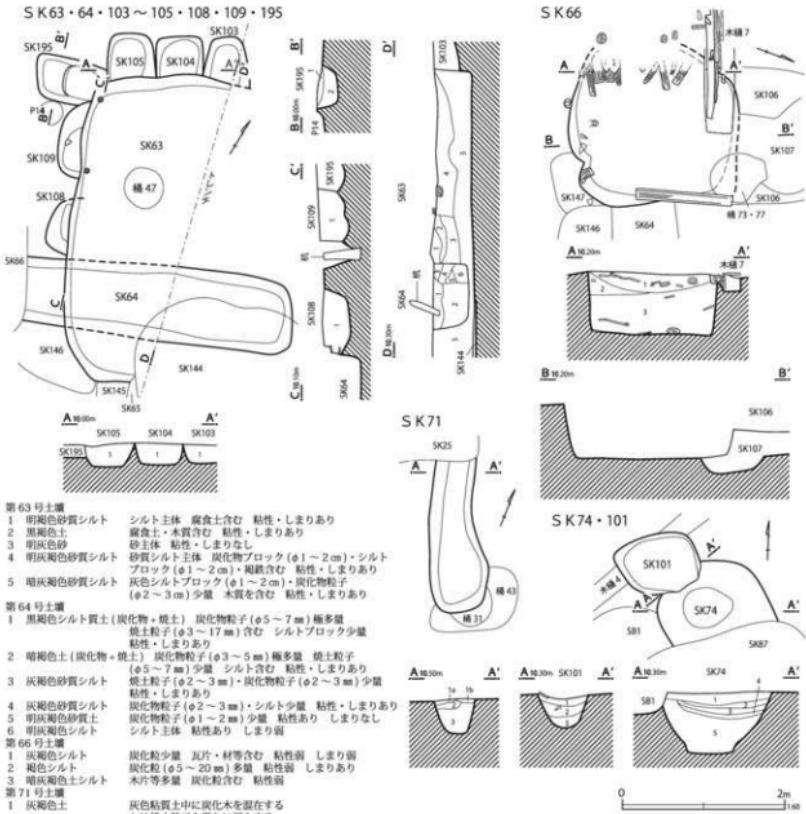
第67号土壠

- 暗褐色土 烧土・硫土粒子(φ2~3mm) 多量 粘性なし しまりあり
- 灰褐色砂質土 烧土・硫土粒子(φ2~3mm) 多量 粘性なし しまりなし

第68号土壠

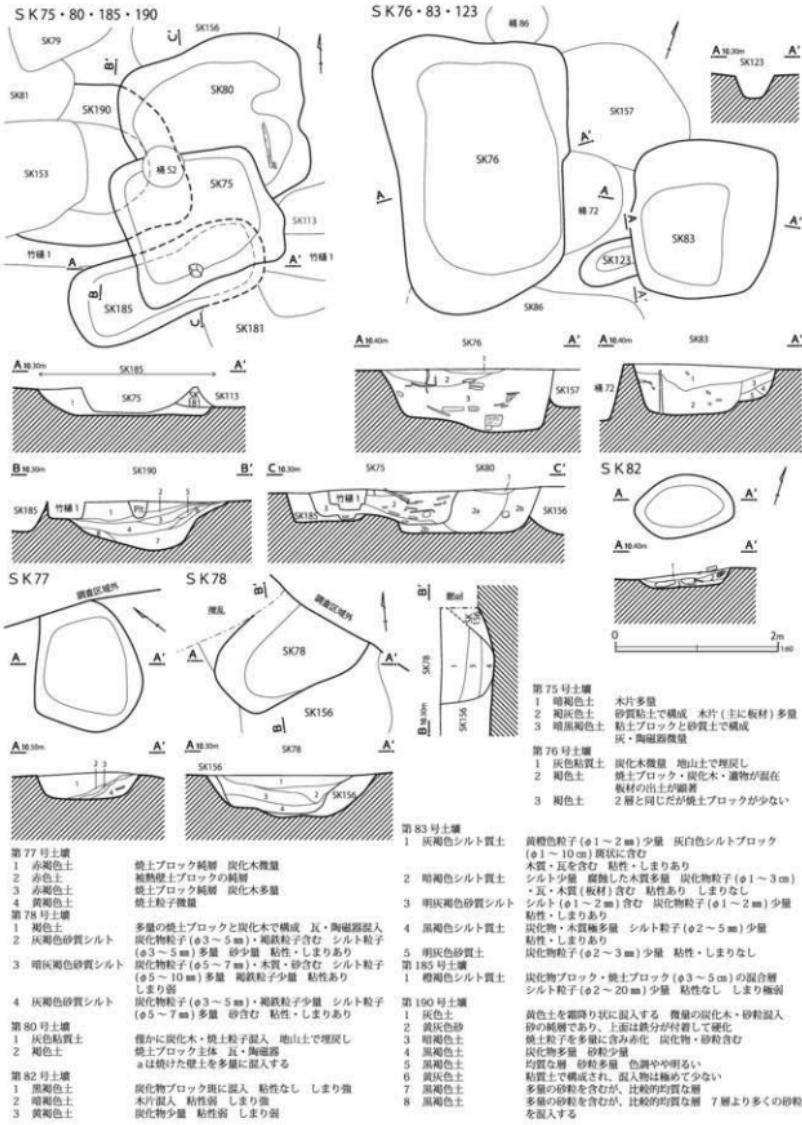
- 灰褐色砂質土 烧土粒子(φ2~3mm)少量 粘性なし しまりあり
- 炭化物 烧土粒子(φ2~3mm)含む 炭化物粒子(φ1~2cm)極多量 粘性多量 粘性なし しまりあり
- 暗褐色砂質土 烧土・硫土粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりあり
- 炭化物 烧土・硫土粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりあり
- 灰褐色砂質シルト 烧土・硫土粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりあり
- 灰白色シルト 烧土粒子(φ2~3mm)少量 粘性・しまりあり

第103図 土壠 (7)

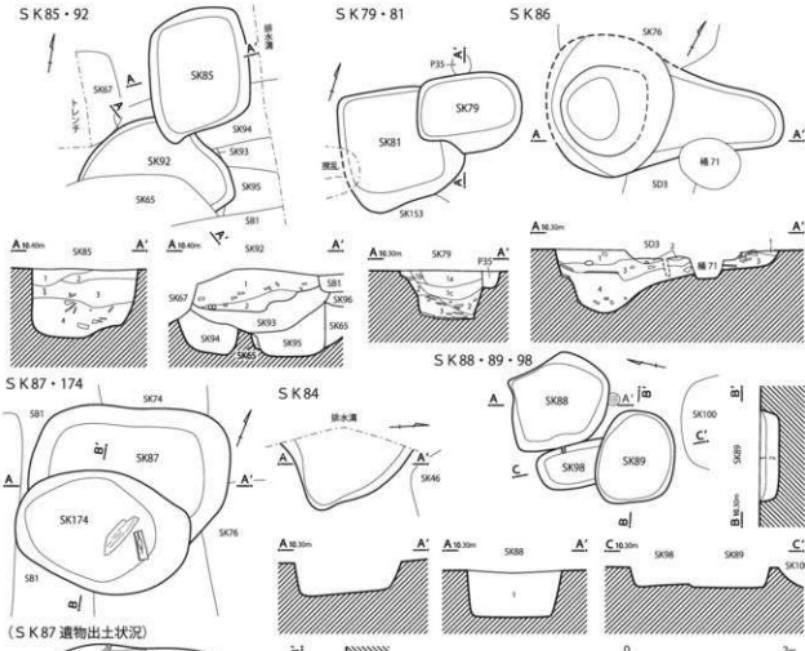


- 第 103 号土壤  
1 喀灰色砂質シルト  
炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 3 \text{ mm}$ )・シルトブロック ( $\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$ )・鉄粒子 ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 多量  
粘性・しまりあり
- 第 104 号土壤  
1 喀灰色砂質シルト  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 10 \text{ mm}$ )・シルトブロック ( $\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$ ) 多量  
下層に鉄質含む 粘性・しまりあり
- 第 105 号土壤  
1 喀灰褐色シルト質土  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 15 \text{ mm}$ )・鉄粒子 ( $\phi 1 \sim 2 \text{ cm}$ )・木質含む  
粘性・しまりあり
- 第 108 号土壤  
1 喀灰褐色シルト質土  
炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 10 \text{ mm}$ ) 含む  
鐵土粒子 ( $\phi 2 \sim 3 \text{ mm}$ ) 少量  
シルトブロック ( $\phi 2 \sim 3 \text{ cm}$ ) 多量  
粘性あり しまり弱
- 第 109 号土壤  
1 喀灰褐色シルト質土  
炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 3 \text{ mm}$ ) 少量  
粘性あり しまり弱
- 第 195 号土壤  
1 明灰色シルト  
2 喀灰褐色シルト  
炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 3 \text{ mm}$ ) 含む しまり・粘性あり  
喀灰褐色シルトブロック ( $\phi 2 \sim 3 \text{ cm}$ ・未風化) 多量  
炭化物微量 粘性弱 しまり弱

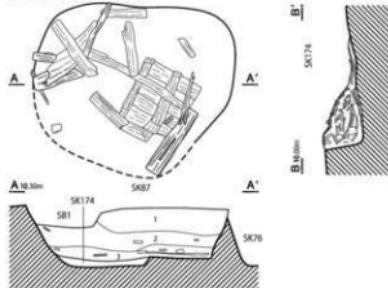
第 104 図 土壤 (8)



第 105 図 土壠 (9)



(S K87 遺物出土状況)



第 79 号土壠  
1 黒褐色土

- 1 黒褐色土 塗膜付 塗土粒子 ( $\phi 2 \sim 5$  mm) 多量 砂含む
- 2 明灰褐色砂質土 塗膜付 塗土粒子 ( $\phi 2 \sim 5$  mm) 多量 砂含む
- 3 灰褐色砂質土 塗膜付 塗土粒子 ( $\phi 2 \sim 5$  mm) 多量 砂含む
- 4 噴灰褐色シルト質土 塗膜付 塗土粒子 ( $\phi 2 \sim 5$  mm) 多量 砂含む

炭化木・塗土粒子微量 砂塊が難化して褐色を呈している  
塗土ブロック層に含む  
炭化木少量 地山下で埋没す  
bは灰色の底合いで濃い、cは淡・黒灰色を呈する  
比較的多くの木化木が混入  
2解よりも多く炭化木を含む 板材・タガなど多量

#### 第 86 号土壠

- 1 灰褐色砂質シルト 砂粒子 ( $\phi 2 \sim 5$  mm)・炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 3$  mm) 含む  
シルト粒子 ( $\phi 5 \sim 6$  mm) 少量 粘性あり しまりなし  
砂主体 シルト含む 炭化物粒子 ( $\phi 1 \sim 2$  mm) 少量
- 2 灰色砂質土 砂粒子 含む 粘性なし しまり強
- 3 灰褐色砂質土 砂粒子・炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 3$  mm) 少量 シルト・木質  
含む 粘性・しまりあり
- 4 噴灰褐色シルト質土 腐植土主体 シルトブリック ( $\phi 5 \sim 6$  mm) 少量  
粘性なし しまり極弱

#### 第 87 号土壠

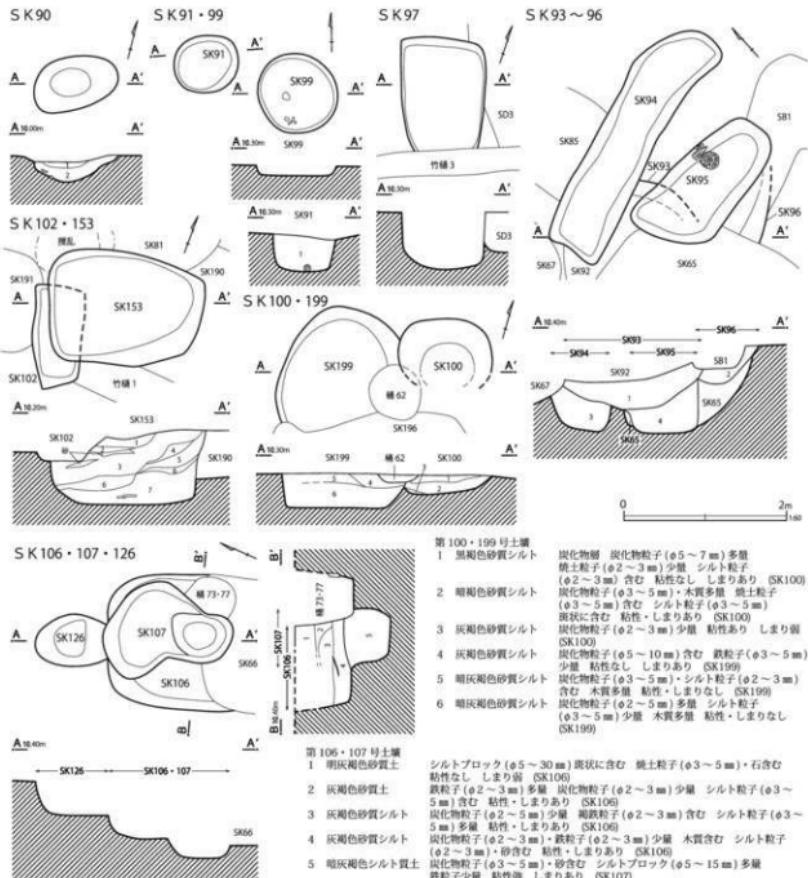
- 1 灰褐色砂質シルト シルトロック ( $\phi 1 \sim 2$  mm) 底状に多量・砂多量  
炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 20$  mm)・鉄粒子 ( $\phi 1 \sim 3$  mm) 少量  
粘性・しまりあり
- 2 灰褐色砂質シルト シルト粒子 ( $\phi 5 \sim 10$  mm) 底状に多量・炭化物粒子  
( $\phi 2 \sim 5$  mm) 少量 砂多量 鉄粒子含む  
粘性・しまりあり
- 3 噴灰褐色シルト 炭化物粒子 ( $\phi 2 \sim 3$  mm) 少量  
砂・鐵粒子含む 粘性あり しまり弱

#### 第 88 号土壠

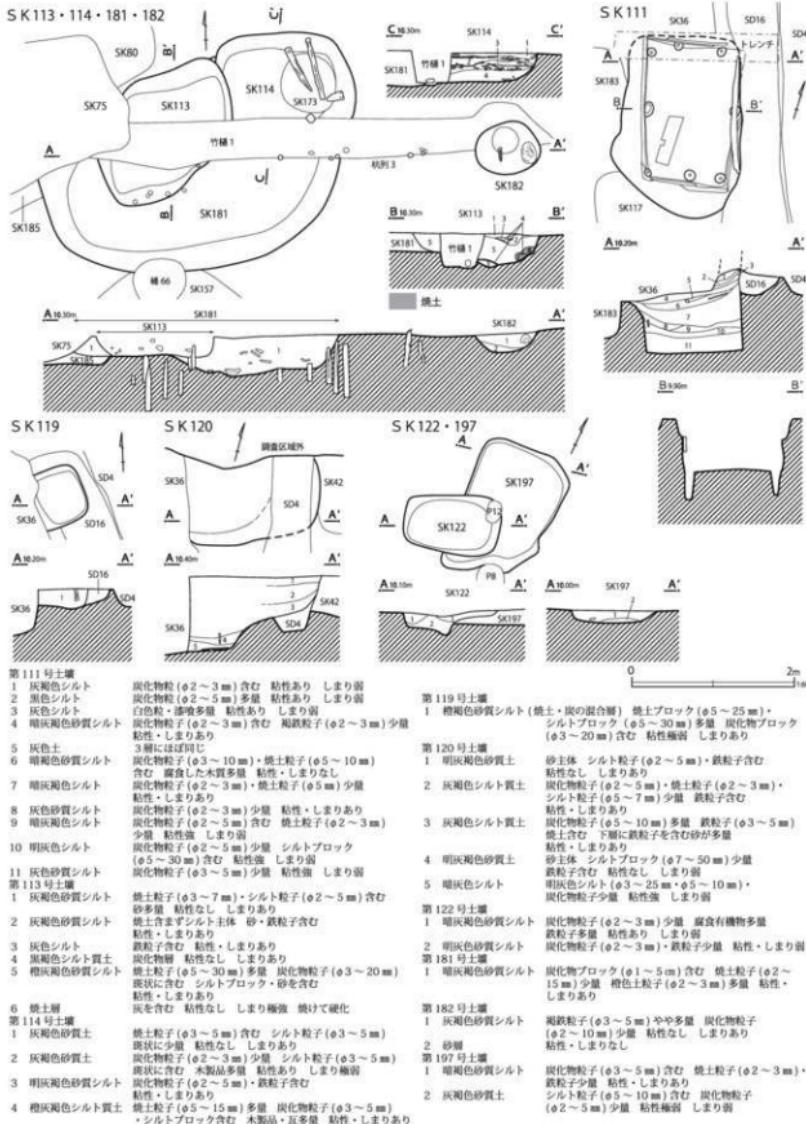
- 1 灰褐色砂 塗膜付 粘性あり しまりなし
- 2 灰褐色シルト シルト粒子 ( $\phi 2 \sim 5$  mm) 含む 鉄粒子 ( $\phi 1 \sim 2$  mm)  
多量 粘性極弱 しまりあり
- 3 噴灰褐色シルト (シルト・砂の混合層) 炭化物粒子 ( $\phi 3 \sim 5$  mm)  
含む シルト粒子 ( $\phi 3 \sim 5$  mm) 多量 粘性あり しまり弱

#### 第 92 号土壠

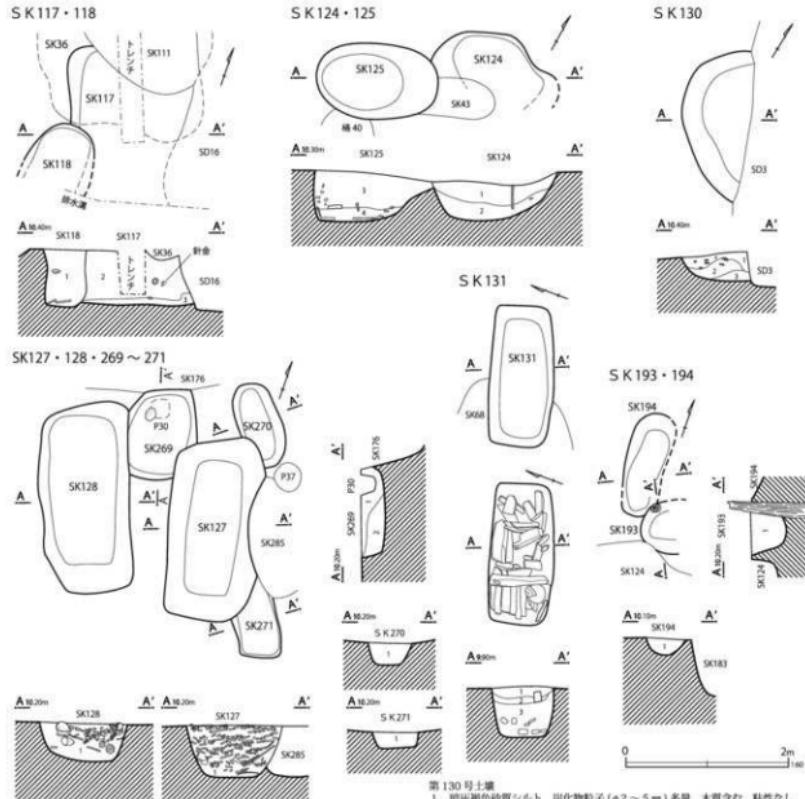
- 1 灰褐色砂質シルト 炭化物アロック ( $\phi 5 \sim 20$  mm) 底に含む 桧上粒子  
( $\phi 5 \sim 10$  mm) 少量 シルトブロック ( $\phi 5 \sim 20$  mm)  
多量 下層に鉄粒子・瓦多量 粘性なし しまりあり  
鐵粒子含む 粘性・しまりなし
- 2 灰褐色砂 第 174 号土壠  
1 灰褐色砂質シルト シルトブロック ( $\phi 2 \sim 3$  mm) 底状に多量  
砂・鐵粒子含む 粘性弱 しまりなし



第 107 図 土壠 (11)



第 108 図 土壌 (12)



第 117・118 号土壠

1 暗灰色シルト

2 暗褐色シルト

3 暗褐色シルト

第 124・125 号土壠

1 灰褐色砂質土

2 暗灰褐色砂質シルト

3 灰褐色砂質シルト

第 127 号土壠

1 深瓦土

2 暗褐色土

3 深瓦土

炭化物・木片多量 燃土粒子少量 黏性弱 しまりあり  
(SK118)

炭化物・灰白色シルトブロック (φ1 ~ 3cm) 多量

粘性弱 しまり (SK117)

炭化物少少量 灰白色シルトブロック多量 黏性・

しまり弱 (SK117)

炭化物 (φ2 ~ 3cm) 少量 炭化物粒子含む シルト

粒子 (φ3 ~ 5cm) 少量 黏性あり しまり弱 (SK124)

炭化物粒子 (φ5 ~ 7cm) 多量 燃土粒子 (φ2 ~ 3cm)・

シルト粒子 (φ5 ~ 7cm) 合む 黏性・しまり弱 (SK

124)

炭化物粒子 (φ3 ~ 7cm) 多量 燃土粒子 (φ3 ~ 5cm)

少量 シルト粒子 (φ5 ~ 10cm) 合む 3cm厚の炭化物

粒子を層状に 2 ~ 3枚含む 黏性・しまりあり (SK

125)

炭化物粒子 (φ2 ~ 5cm)・灰白色シルト粒子 (φ5 ~ 10cm)

少量 黏性あり しまり極弱 (SK125)

第 130 号土壠

1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物粒子 (φ2 ~ 5cm) 多量 木質含む 黏性なし しまりあり

2 暗褐色砂質土 炭化物粒子 (φ3 ~ 5cm) 多量 木質含む

3 暗褐色砂 黏性なし しまりあり シルト含まない 黏性・しまりなし

第 131 号土壠

1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物・燃土粒子含む 灰白色粒 (φ5cm) 多量 木片・

上部・磁器片少量 黏性・しまり弱

2 暗褐色砂質シルト 炭化物少少量 木片・土塊・磁器片少量 黏性・

しまり弱 木製品含む

第 193 号土壠

1 明灰褐色砂質土 炭化物粒子 (φ2 ~ 3cm) 少量 鉄粒子含む 黏性・

しまりなし

第 194 号土壠

1 暗灰褐色砂質シルト 炭化物 (φ2 ~ 3cm・未風化) 含む 灰褐色砂質

シルトブロック (φ2cm)・帯状の鉄分 (φ1cm以下)

含む 黏性・しまり弱

第 269 号土壠

1 棕褐色土 炭化物粒子混入

2 明灰褐色土 灰褐色土と炭化木少量化混入

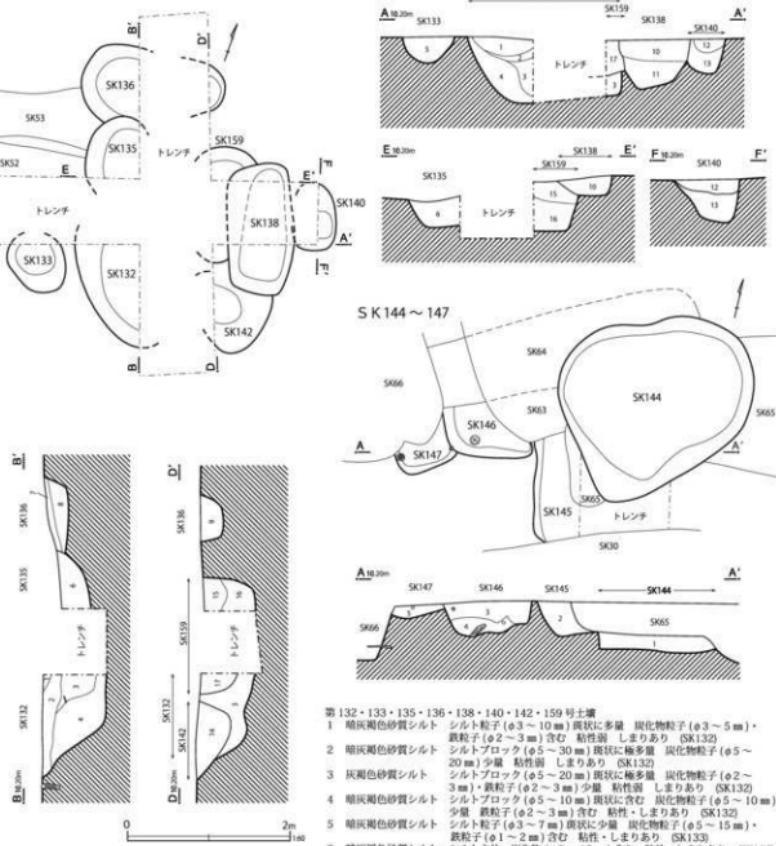
3 第 270 号土壠

1 暗褐色粘質土 混入物なし

第 271 号土壠

1 黑褐色土 灰色砂ブロック混入 灰化物少量

第 109 図 土壠 (13)



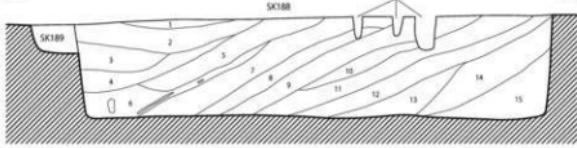
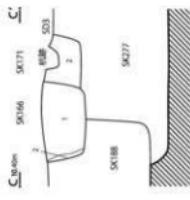
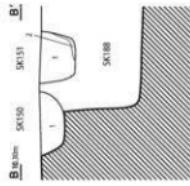
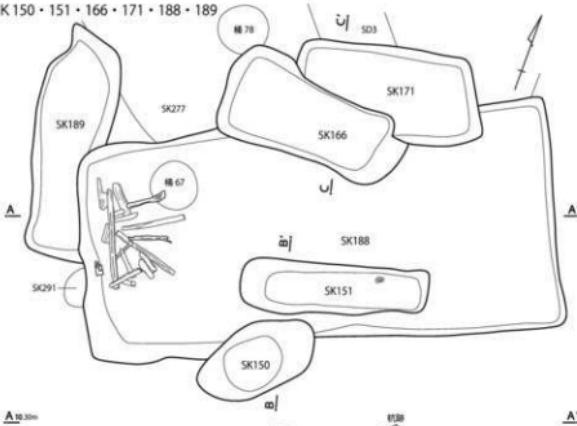
## 第144～147号土壤

- 1 喀灰褐色砂質シルト  
腐化物粒子（φ3～10 mm）多量、鐵土粒子（φ5～10 mm）少量、粘性・しまりあり（SK144）
- 2 喀灰褐色砂質シルト  
腐化物粒子（φ3～7 mm）多量、シルト粒子（φ2～3 mm）少量、粘性・しまりあり（SK145）
- 3 喀灰褐色砂質シルト  
腐化物粒子（φ5～10 mm）+ 黄褐色粒子（φ2～5 mm）+ 鉄粒子合む、鐵土粒子（φ3～15 mm）少量、シルト粒子（φ5～10 mm）斑状に多量、木質多量、しまり弱（SK146）
- 4 喀灰褐色砂質シルト  
シルトブロック（φ5～20 mm）斑状に多量、砂・シルトの混合層、粘性あり、しまり弱
- 5 喀灰褐色砂質シルト  
腐化物粒子（φ2～3 mm）少量、黄褐色粒子（φ3～5 mm）含む、粘性・しまりあり（SK147）

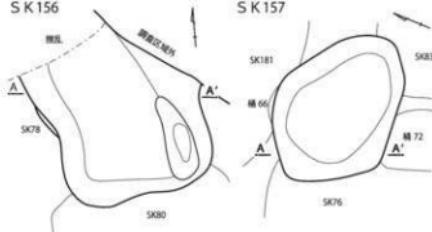
- 1 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ2～3 mm）少量、粘性弱・しまりあり（SK132）
- 2 喀灰褐色砂質シルト  
シルトブロック（φ5～30 mm）斑状に多量、腐化物粒子（φ2～10 mm）少量、粘性弱・しまりあり（SK132）
- 3 灰褐色砂質シルト  
シルトブロック（φ5～20 mm）斑状に多量、腐化物粒子（φ2～3 mm）+ 鉄粒子（φ2～3 mm）少量、粘性弱・しまりあり（SK132）
- 4 喀灰褐色砂質シルト  
シルトブロック（φ5～10 mm）斑状に含む、腐化物粒子（φ5～10 mm）少量、鐵粒子（φ2～3 mm）含む、粘性・しまりあり（SK132）
- 5 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ3～7 mm）斑状に少量、腐化物粒子（φ5～15 mm）+ 鉄粒子（φ2～3 mm）少量、粘性・しまりあり（SK132）
- 6 喀灰褐色砂質シルト  
シルト・粘土・固物混じる、粘性弱・しまりあり（SK135）
- 7 喀灰褐色砂質シルト  
固化物（φ5～10 mm）少量、粘性弱・しまり弱（SK136）
- 8 喀灰褐色砂質シルト  
固化物（φ2～3 mm）少量、粘性弱・しまり弱（SK136）
- 9 喀灰褐色砂質シルト  
灰色・黒色・土塊状・粘性・しまり弱（SK136）
- 10 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ5～15 mm）斑状に多量、腐化物粒子（φ5～15 mm）多量、鐵粒子（φ2～3 mm）+ 木質含む、粘性あり・しまりなし（SK138）
- 11 砂質土  
鐵粒子少、粘性弱・しまり強（SK138）
- 12 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ3～10 mm）少量、腐化物粒子（φ2～3 mm）少量、粘性弱・しまり強（SK140）
- 13 喀灰褐色砂質土  
鐵粒子少む、シルトを含まない、粘性なし・しまり強（SK140）
- 14 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ3～10 mm）含む、腐化物（φ5～10 mm）少量、粘性弱・しまり強（SK142）
- 15 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ5～10 mm）斑状に多量、腐化物粒子（φ2～3 mm）少量、鐵粒子・砂多量、粘性あり・しまり弱（SK142）
- 16 明褐褐色砂質シルト  
鐵粒子（φ2～3 mm）少量、鉄粒子・砂少量、粘性あり・しまり弱（SK159）
- 17 喀灰褐色砂質シルト  
シルト粒子（φ3～5 mm）含む、腐化物粒子（φ2～3 mm）少量、鐵粒子（φ2～3 mm）少量、粘性なし・しまりあり（SK159）

第110図 土壌 (14)

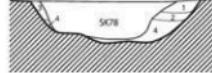
S K 150・151・166・171・188・189



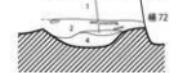
S K 156



A' 10.30m



A' 10.30m



0 2m 10m

第 150・151 号土壤

- 1 暗褐色土色 瓦主体 売土(壁土)は殆んど含まない 黏性弱 固化物多量 互層に含む 黏性弱 しまりあり
- 2 暗褐色シルト

第 156 号土壤

- 1 灰褐色砂質シルト 多量 砂含む 黏性なし しまりあり 固化物粒子(φ 1～2 mm)・鉄粒子少量 シルト粒子(φ 5～7 mm)
- 2 灰褐色砂質シルト 多量 固化物粒子(φ 3～5 mm)・鉄粒子含む シルト粒子(φ 3～5 mm)
- 3 灰褐色砂質土 土主体 固化物粒子(φ 2～3 mm)・シルト粒子(φ 2～3 mm)・ 鉄粒子少量 黏性なし しまりあり 固化物粒子(φ 3～5 mm)・鉄粒子少量 シルト粒子(φ 5～7 mm)
- 4 灰褐色砂質シルト 多量 砂含む 黏性・しまりあり 固化物粒子(φ 3～5 mm)・鉄粒子少量 シルト粒子(φ 5～7 mm)

第 157 号土壤

- 1 暗褐色砂質シルト 固化物粒子(φ 2～7 mm) 多量 鉄粒子(φ 3～5 mm)・鐵土粒子(φ 2～5 mm) 少量 黏性なし しまり弱
- 2 増褐色砂質シルト 固化物粒子(φ 2～5 mm)・鉄粒子(φ 2～3 mm)・ 鉄鉱石(φ 1～2 mm) 少量 木質多量 黏性あり しまり弱
- 3 橙褐色砂質シルト 固化物粒子(φ 3～10 mm) 多量 鉄粒子(φ 2～5 mm) 少量 売土粒子(φ 3～5 mm) 多量 黏性・しまりあり 固化物粒子(φ 2～3 mm)・鉄粒子(φ 2～3 mm)・ 鉄土粒子(φ 2～5 mm) 少量 黏性なし しまりあり
- 4 灰褐色砂質シルト 固化物粒子(φ 3～10 mm) 多量 鉄粒子(φ 2～5 mm) 少量 黏性なし しまりあり 固化物粒子(φ 2～5 mm) 少量 黏性なし しまりあり

第 166・171 号土壤

- 1 暗褐色土
- 2 灰色土

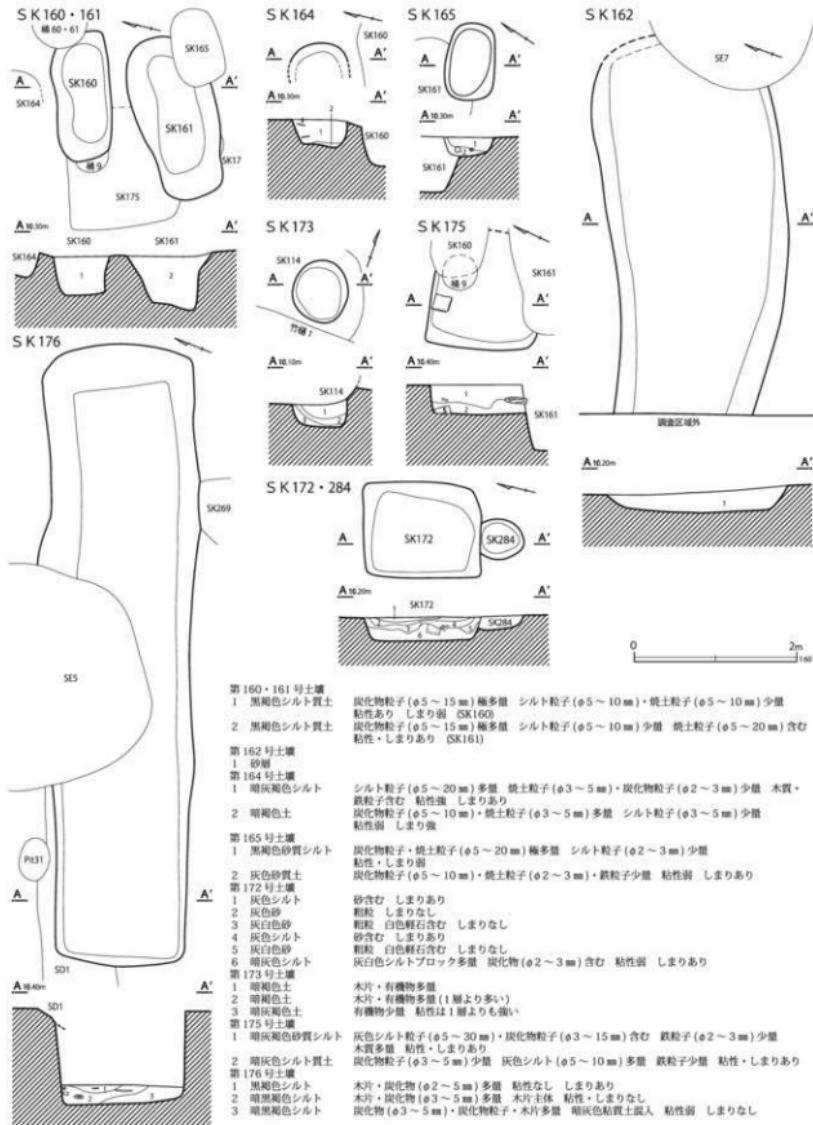
第 188 号土壤

- 1 増褐色粘質土
- 2 增褐色シルト
- 3 増褐色砂質シルト
- 4 増褐色シルト
- 5 赤褐色土

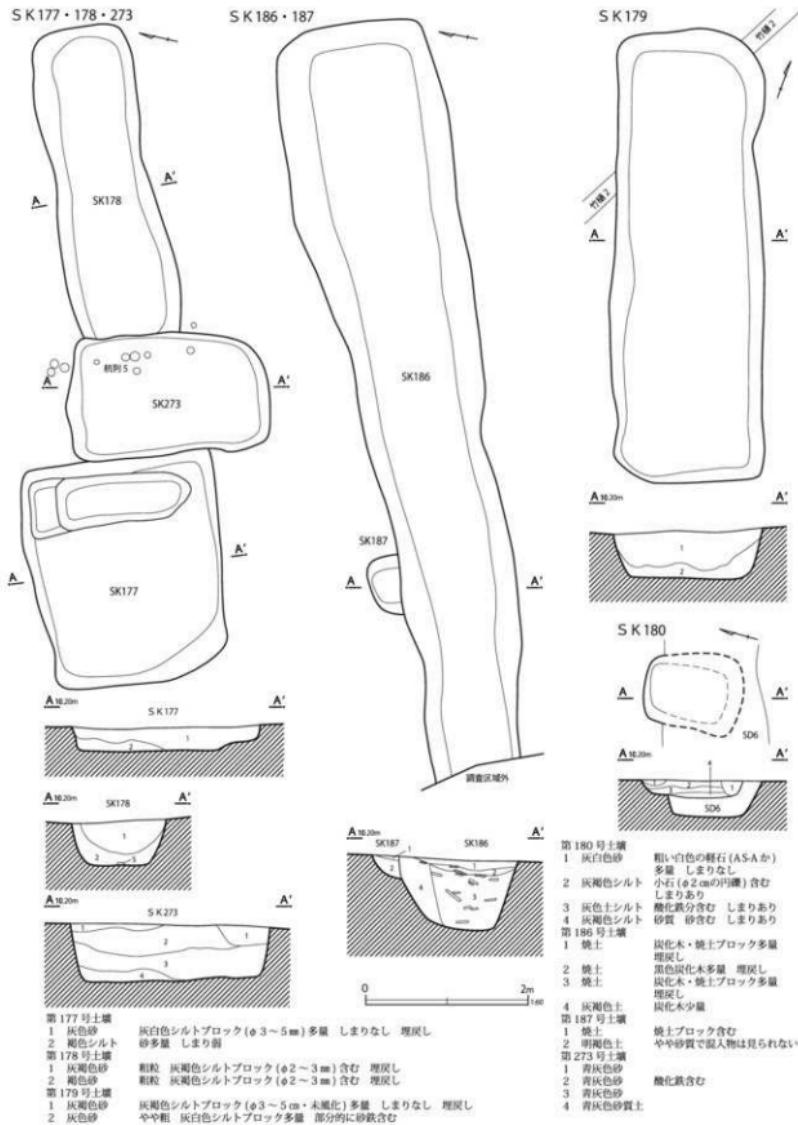
第 72 号土壤

- 6 黑色炭化物
- 7 灰褐色シルト
- 8 赤褐色土
- 9 増褐色シルト
- 10 暗褐色シルト
- 11 赤褐色土
- 12 黑色炭化物層
- 13 黑色土
- 14 赤褐色土
- 15 黑色土

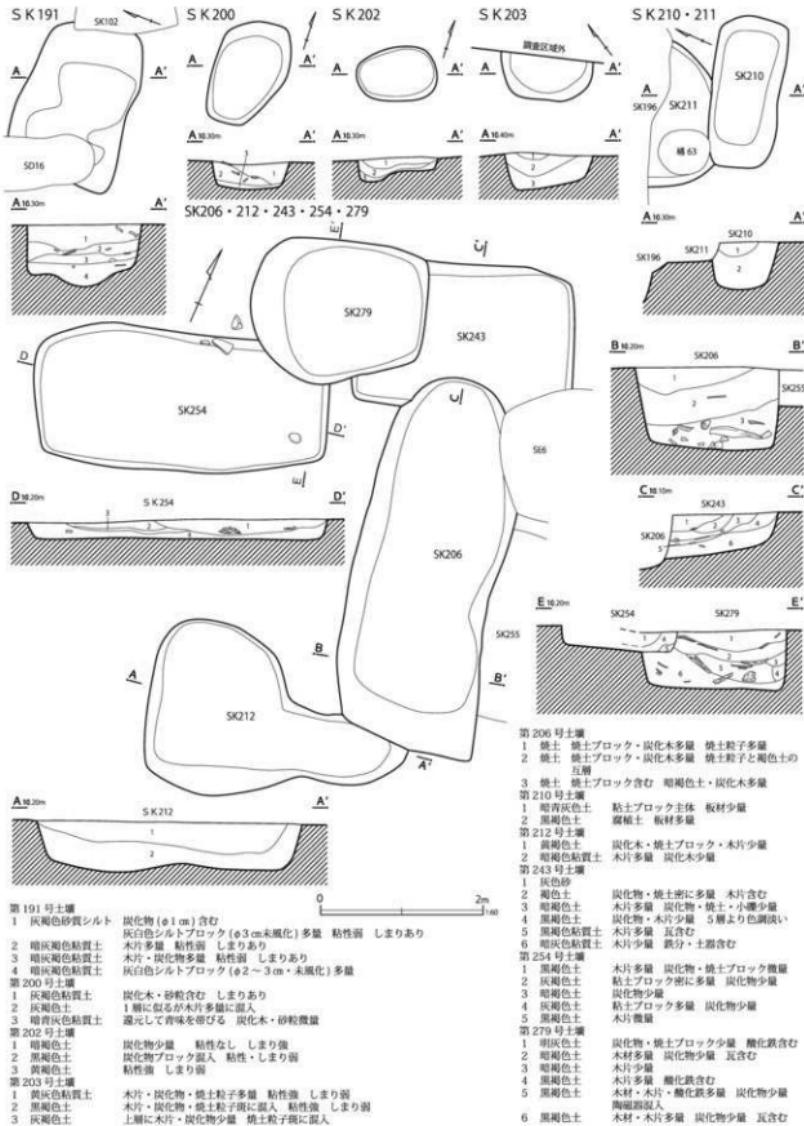
第 111 図 土壤 (15)



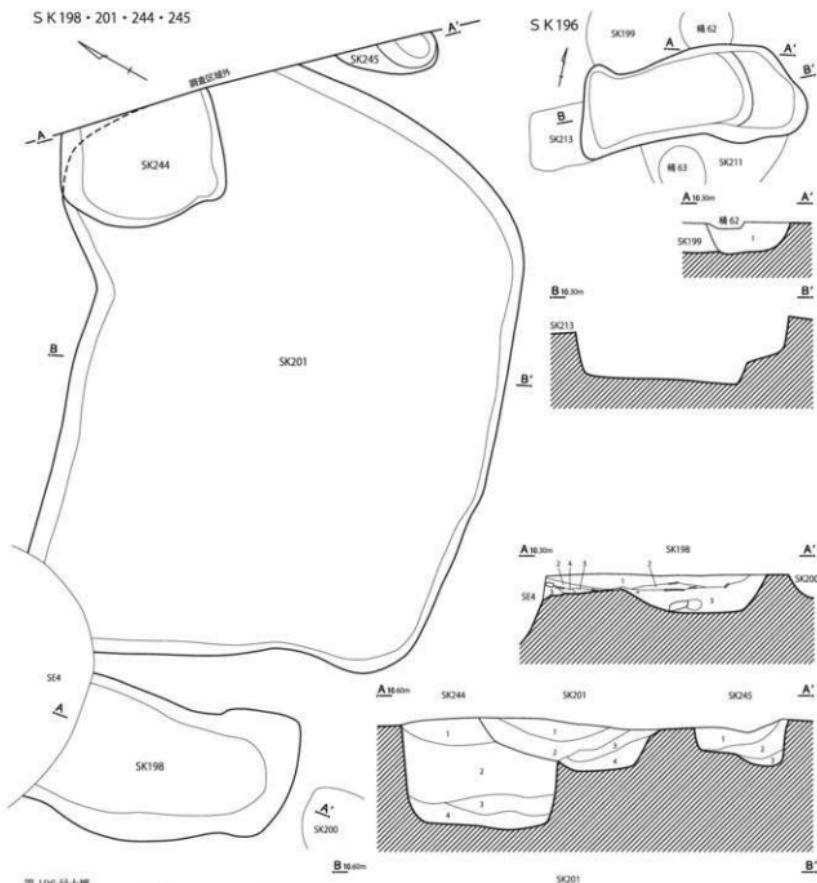
第112図 土壠(16)



第113図 土壌 (17)



第 114 図 土壤 (18)



第 196 号土壠

1 黒褐色砂質シルト 砂化物粒子 ( $\phi 3 \sim 5$  mm) 多量  
砂質む 黏性あり しまりなし

第 198 号土壠

1 黒褐色土  
前地粘質土・焼土小ブロック・  
炭化木ブロック混入 しまり強  
燒土粒子多量 赤色化

2 褐色土

炭化木を主体 粘皮など混入

3 黒色土

炭化木を主体 粘皮など混入

4 黑色土

粘土ブロック混入

SK 201

第 201 号土壠

1 黒褐色粘質土  
炭化木少額混入

1 断り多くの炭化木・遺物(瓦)を包含

2 黑褐色土

炭化木微量

3 黑褐色土

炭化木少量 しまりなし しまり強

4 黑褐色土

炭化物・木片多量 烧土ブロック少量 黏性弱 しまり強

5 黑褐色土

粘膜あるいはおがけのようなもの多量に堆積 黏性 弱 しまり弱

6 黑褐色土

炭化物少量 南側に一部黄褐色色が堆積 黏性強 しまり弱

7 赤褐色土

粘土立った脱入なし 黏性強 しまり弱

8 黑色粘質土

目立った脱入なし 黏性強 しまり弱

第 244 号土壠

1 赤褐色土  
燒土ブロック主体 炭化木含む  
黒褐色の粘土が水半堆積  
ほとんどの底で堆積される

2 灰層

3 木材屑

4 明赤褐色粘質土

燒土・炭化木含む

第 245 号土壠

1 黑褐色土  
燒土・炭化木で構成

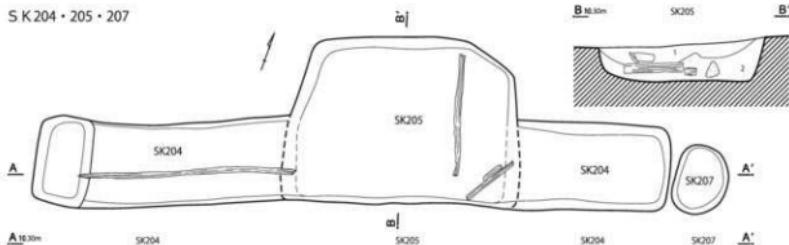
2 赤褐色土

燒土主体

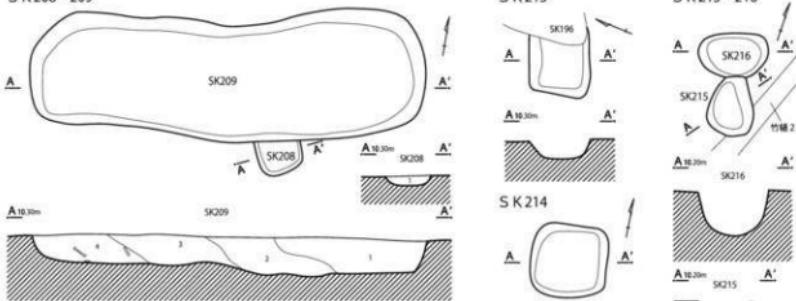
灰色土・燒土ブロック混入

第 115 図 土壠 (19)

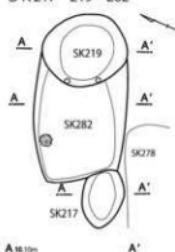
S K 204・205・207



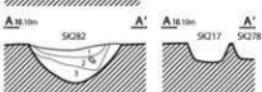
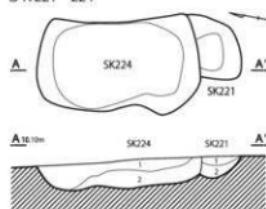
S K 208・209



S K 217・219・282



S K 221・224



0 2m 1m

## 第 205・204 号土壠

1 灰褐色土 塗化木・燒土ブロック少量 (SK205)

2 黄褐色土 塗化木多量・燒土ブロック微量・木片少量

粘性弱 (SK205)

燒土ブロック・粘土ブロック・塗化木含む

瓦多量 (SK204)

## 第 207 号土壠

1 明褐色土 塗化木・木片含む

2 黄褐色土 塗化木・黄色粒子多量

## 第 208 号土壠

1 黄褐色土 塗化木・燒土ブロック主体・燒土ブロック多量

2 木片・塗化木・燒土ブロック・粘土ブロック多量

3 黑褐色土 塗化木・燒土ブロック・粘土ブロック密に多量

4 黑色土 塗化木帶に多量・燒土ブロック多量

粘土ブロック含む

## 第 214 号土壠

1 明褐色土 塗化水少量・木片含む

## 第 221 号土壠

1 黑褐色土 塗化木・燒土粒子少量

2 黑褐色色粘質土 塗化木・燒土粒子微量・1 層より色暗淡い

## 第 224 号土壠

1 黑褐色土 塗化水・燒土粒子・木材多量・しまり弱

2 黑褐色土 木材・有機物多量・しまり弱・1 層より色暗い

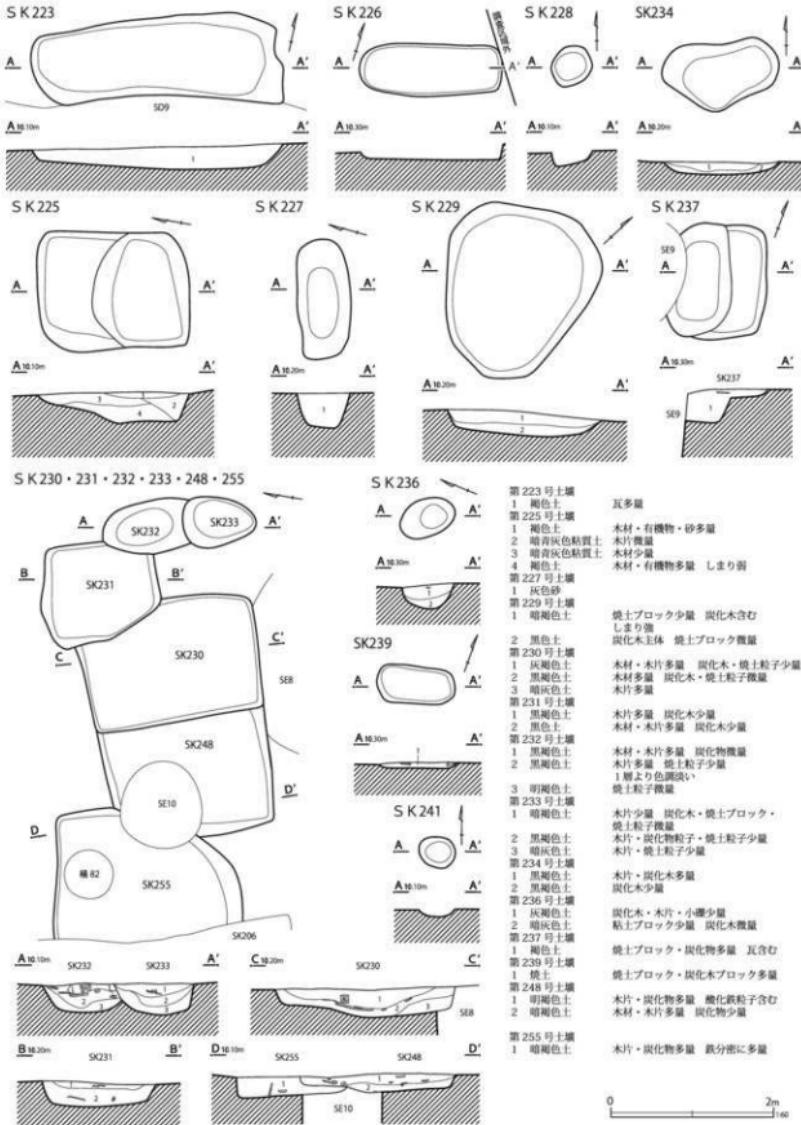
## 第 282 号土壠

1 明褐色砂 塗化物・燒土ブロック少量・木片多量

2 明褐色土 塗化物・燒土ブロック微量・燒土粒子含む

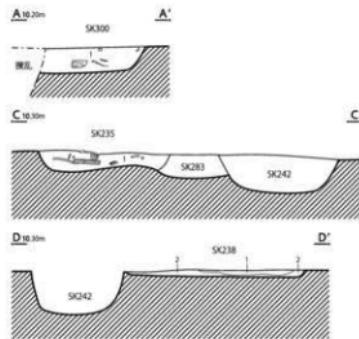
3 明褐色砂質土 塗化物・燒土ブロック微量・燒化物含む

第 116 図 土壠 (20)



第117図 土壌 (21)

S K235・238・242・275・276・283・297・300



第235号土壤

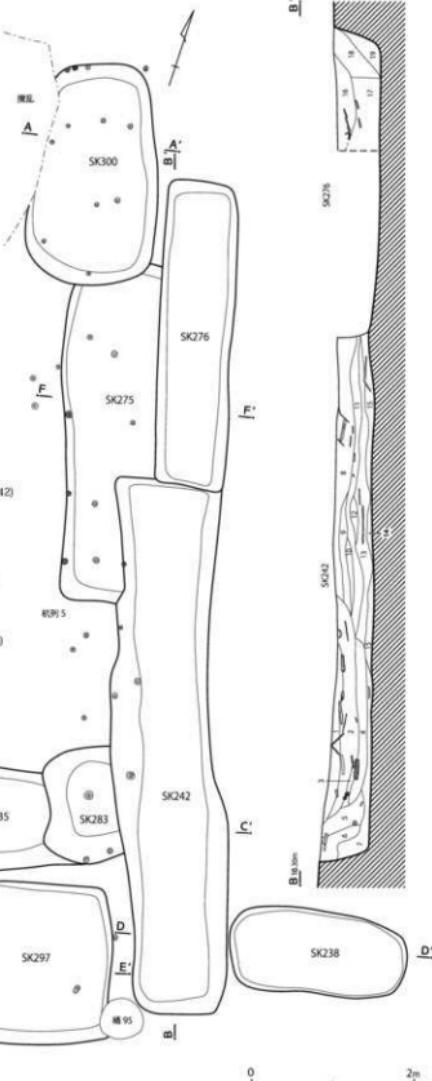
- 1 桐色土 埋戻し 地上ブロック 粘土ブロック含む
- 2 黒褐色土 岩化物粒子多量
- 3 黑褐色粘質土 腐生物なし
- 4 黑褐色粘質土 岩化物・地土少量 (SK242)
- 5 黑褐色土 瓦・炭化物・木片・漆喰含む (SK242)
- 6 黑褐色土 5cmより明るい色調 瓦・炭化物・木片・漆喰含む (SK242)
- 7 黑褐色粘質土 岩化物少量 4cmより粘性弱 (SK242)
- 8 黑褐色土 木片・炭化物・酸化鉄鋼著 しまり強 (SK242)
- 9 黄褐色砂 木片微量 (SK242)
- 10 黄褐色砂 やや砂質 岩化物・木片微量 (SK242)
- 11 黑褐色粘質土 岩化物なし 地土少量・海塩含む (SK242)
- 12 黑褐色土 木片微量 (SK242)
- 13 黑褐色粘質土 木片多量 岩化物少量 瓦含む 砂質部分あり (SK242)
- 14 黄褐色砂 腐生物なし (SK242)
- 15 黑褐色粘質土 やや砂質 岩化物微量 (SK242)
- 16 黑褐色土 木片・木材多量 岩化物少量 小円礫微量 (SK276)
- 17 黄褐色土 砂混入部分あり (SK276)
- 18 黑褐色土 岩化物・小円礫・粘土ブロック少量 酸化鉄鋼著 (SK276)
- 19 黄褐色砂 小円礫微量 (SK276)

第297号土壤

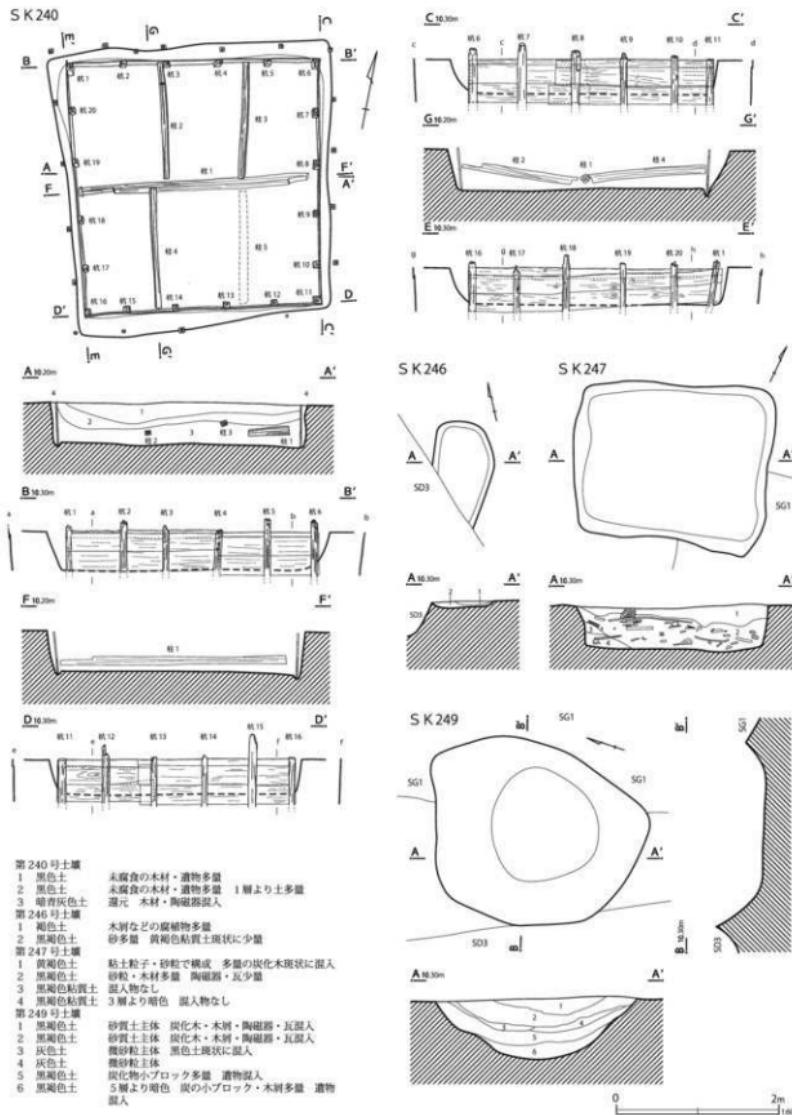
- 1 黑褐色土 岩化物多量 粘土ブロック 木片少量 砂混入 粘性弱
- 2 黑褐色土 やや砂質 岩化物多量 円礫・木材・瓦混入 粘性弱
- 3 黑褐色粘質土 岩化物少量 粘性強
- 4 黑褐色粘質土 岩化物・木片・陶器含む 粘性あり

第300号土壤

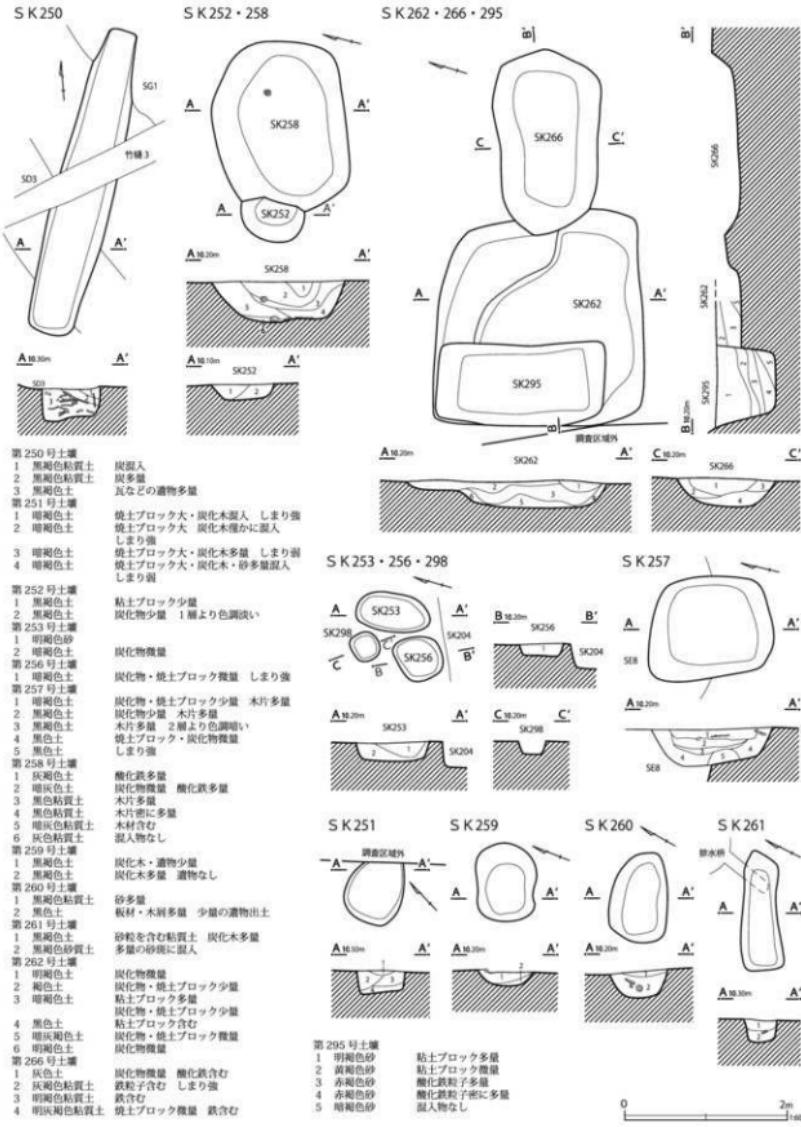
- 1 黄褐色土 木材・木片多量 酸化鉄鋼著 岩化物少量



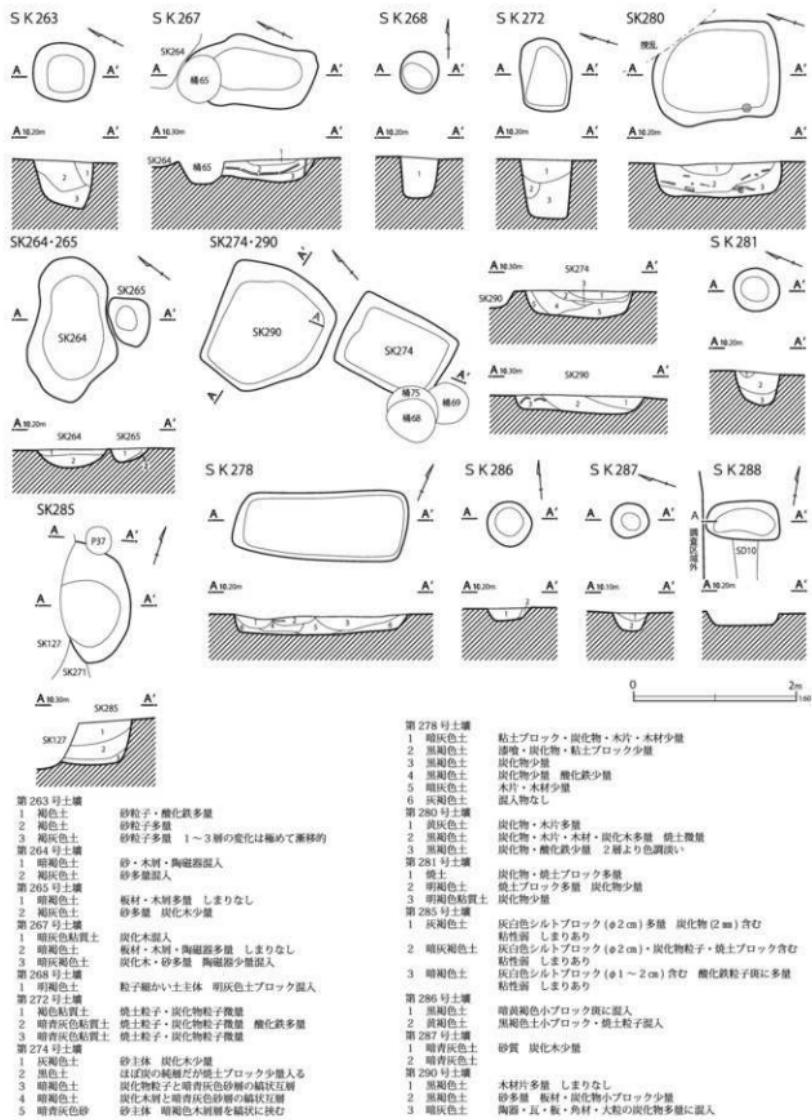
第118図 土壌 (22)



第119図 土壌 (23)

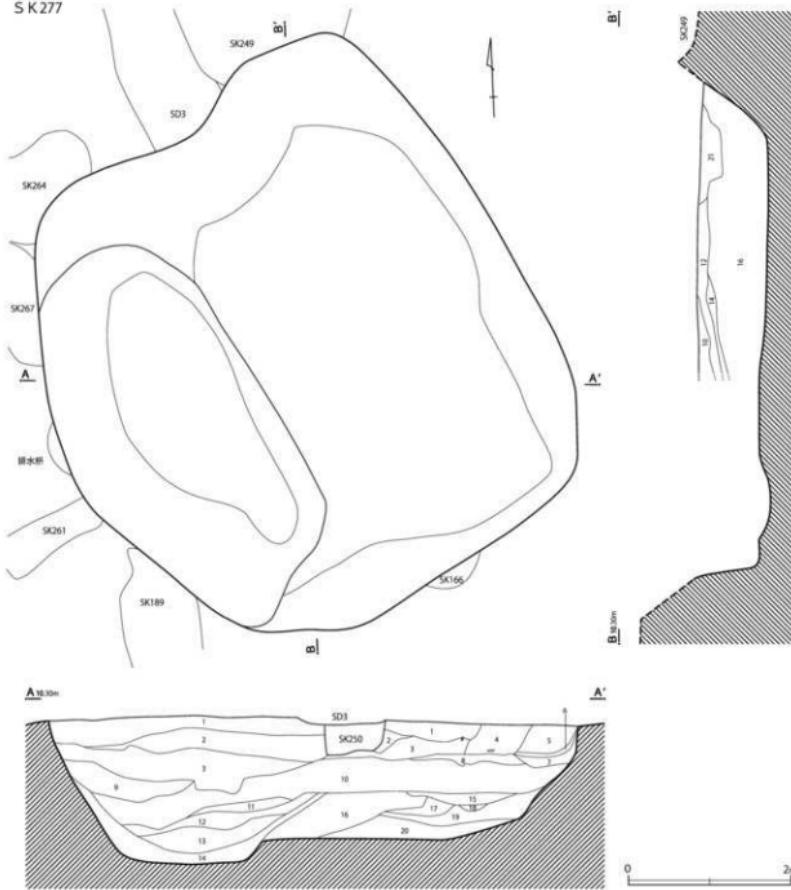


第120図 土壌(24)



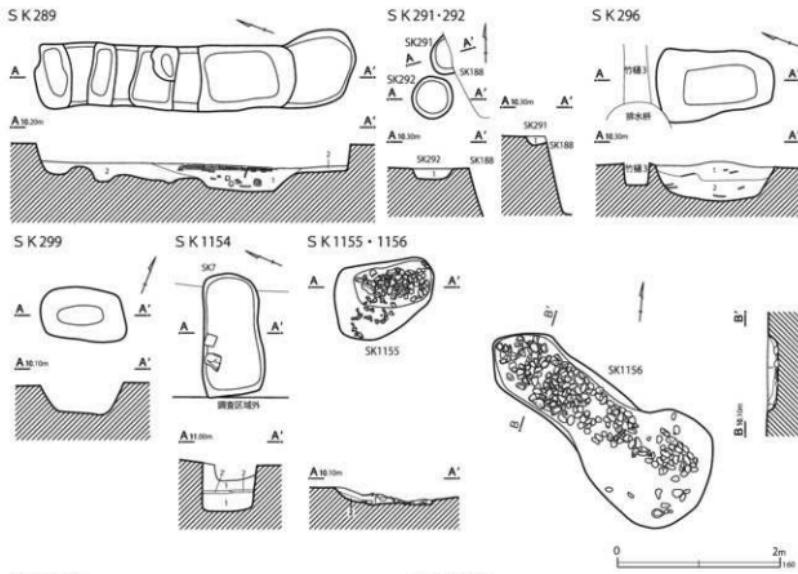
第 121 図 土壤 (25)

SK277



- 第 277 号土壠
- |           |  |           |   |
|-----------|--|-----------|---|
| 1 黑褐色粘質土  | 炭泥入、しまり強   | 12 炭化物層   | 炭土ブロック ( $\phi 2 \sim 20$ mm)・炭化物 ( $\phi 1 \sim 30$ mm) 主体   |
| 2 黒色土     | ほぼ灰の純層   | 13 炭化物層   | 炭化物粒子・炭化物 ( $\phi 3 \sim 10$ mm) 主体 黄灰色土ブロック ( $\phi 3 \sim 20$ mm) 含む 燃土ブロック ( $\phi 3 \sim 10$ mm) 少量   |
| 3 黑色土     | 砂多量 底層が数枚結晶状に水平堆積  | 14 灰色粘質土  | 炭化物 ( $\phi 10$ mm 前後) 少量   |
| 4 黑褐色土    | 均一な層 砂粒多量 遺物は混入しない   | 15 黑褐色土   | 黄褐色砂少量 黄灰色ブロック ( $\phi 3 \sim 15$ mm) 多量  |
| 5 明褐色砂    | 鉛分で酸化した砂の純層  | 16 黄褐色砂質土 | 炭化物 ( $\phi 2 \sim 5$ mm) 少量、しまり弱   |
| 6 明褐色砂    | 鉛分で酸化した砂の純層  | 17 黄灰色土   | 黒褐色土ブロック ( $\phi 3 \sim 5$ mm) 少量 黄灰色土<br>シルト?体 黄褐色砂・黄褐色土少量 炭化物 ( $\phi 2 \sim 10$ mm) 多量 黑褐色粘土ブロック ( $\phi 10 \sim 100$ mm) 混入<br>鉛分が斑状にみられる<br>やや粘質 炭化物 ( $\phi 2$ mm) 少量 |
| 7 増殖粘土土   | 細砂・炭化物多量   | 18 明灰褐色土  | 灰褐色土入、炭化物 ( $\phi 2$ mm) 少量   |
| 8 黄褐色砂質粘土 | 黄灰色土・同色ブロック ( $\phi 2 \sim 100$ mm) 含む   | 19 明灰褐色土  | 炭化物 ( $\phi 2$ mm) 少量   |
| 9 炭化物層    | 炭化物 ( $\phi 2 \sim 15$ mm) 多量 施土ブロック ( $\phi 3 \sim 20$ mm) 少量   | 20 増灰色砂質土 | 灰色土混入 黄褐色砂少量  |
| 10 炭化物層   | 炭化物 ( $\phi 2 \sim 20$ mm) 9 程より多量 黄灰色土ブロック ( $\phi 2 \sim 50$ mm) 多量 施土ブロック ( $\phi 3 \sim 10$ mm) 含む   | 21 炭化物層   | 炭化物粒子主体 黄灰色土ブロック ( $\phi 3 \sim 100$ mm) 多量<br>炭化物 ( $\phi 3 \sim 10$ mm)・施土ブロック ( $\phi 3 \sim 10$ mm) 含む  |
| 11 黑色炭化物層 | 炭化物粒子主体 炭化物 ( $\phi 2 \sim 10$ mm) 集散<br>施土ブロック ( $\phi 2 \sim 10$ mm)・黄灰色土ブロック ( $\phi 2 \sim 5$ mm) 少量 |           |   |

第 122 図 土壠 (26)



第289号土壙  
1 黒褐色土  
2 褐色土  
第291・292号土壙  
1 明褐色土  
第296号土壙  
1 單面褐色シルト質土  
2 黒褐色シルト質土  
板材小片主体  
炭化木・焼土微量 均質な層 遺物なし  
砂・炭化物(ø5~10mm) 多量 粘性弱 しまりあり  
木片(厚さ2mm以下)・炭化物(ø5mm以下) 多量  
粘性あり しまり弱

第1154号土壙  
1 黒褐色土  
2 黒色土  
第1155・1156号土壙  
1 明褐色土  
2 褐色土  
砂・炭多量 焼土小プロック少量  
堅膜で板渠状を呈する 2' はより明るい色調  
比較的均質な層であり、遺人物は殆んど含まない  
1層に類似するが僅かに粘質土ブロックを混入する

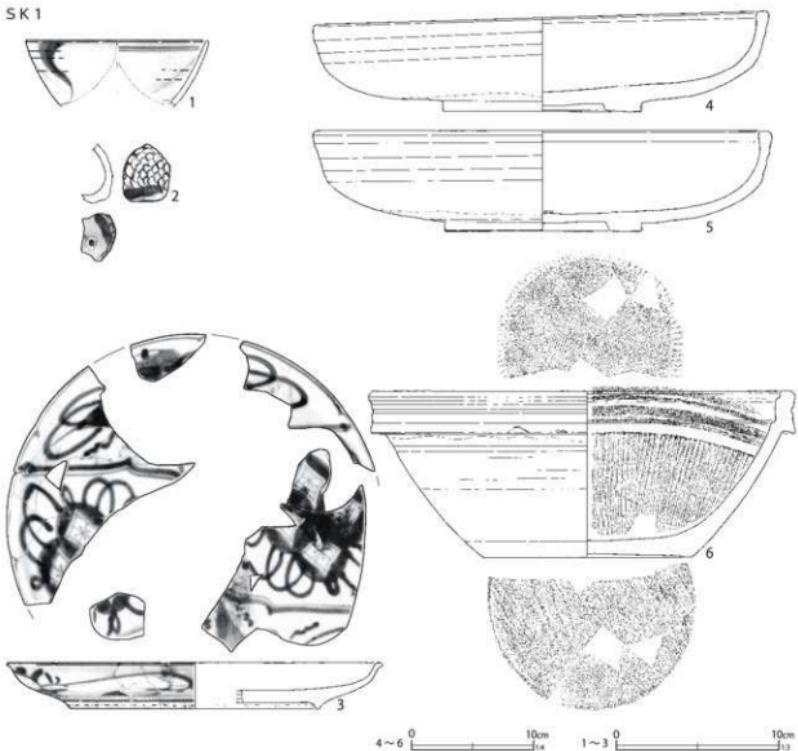
第123図 土壙 (27)

や141の坏に被熱が認められる。一方で143・144の坏は被熱しておらず、後世の混在と判断される。148~150の肥前系磁器小皿は、非掲載遺物に同文の底部2個体分があり、計5個体以上がある。151・152の肥前系磁器小皿も、別の1個体の底部破片がある。176・177は磁器製の根付けと考えられる。このうち176は、瑠璃釉淡彩の地に貼り付けで花文と蜂を立体的に表現する。

180は陶器碗類の蓋で、綠釉と鉄絵が施される。強い熱を受けて綠釉が赤く変色している。184は、平面形方形の陶器で、板作り成形である。激しく被熱し、産地等は不詳である。185・188はともに柘器質の陶器で、備前系陶器と考えられる。

陶磁器は全体に被熱、細片化していた。近代の混入遺物が一定量あるが、被熱資料では瀬戸美濃系磁器の端反碗が最新であり、第2・9号土壙との位置関係からも文化・文政期の火災処理土壙と想定される。第224図1は中国清朝磁器の薬瓶で唐薬の容器とされる。全体に青味がかった釉が掛けられ、露胎とする底部に煤が顕著に付着する。栗橋宿跡からの出土は初見である。江戸遺跡では37例が確認されており、19世紀第3四半期の例が多いとされる（堀内2010・長佐古2013）。

第228図19~21、第235図16~18は瓦である。第235図18は棟瓦端面に「○」の刻印がある。同じ刻印は第18・36・174号土壙（第236図31、第239



第124図 土壌出土遺物（1）

図61・62）にみられる。本陣跡以外ではあまり出土していないようだが、刻印が目立たない位置にあるため、今後は注意が必要である。

第260図6・7は石製品で、7は厚手の砂岩製硯である。第263図62～65は墓石、66は髪飾り類の玉であろう。

#### 第13号土壌（第98図）

C 6-C 2 グリッドに位置する隅丸長方形の土壌で、覆土上層は遺物をあまり含まない砂質シルト、下層は木製品、樹皮等を含むシルト層で構成される。底面付近に網代状の編み物の広がりが検

出され、それに被覆されて曲げ物に入った状態の種子が出土した。種子は自然科学分析の結果、ワタ種子225個体分であることが判明した（第V章-3参照）。詳細な用途は分からぬが、本陣敷地南側に近接する町屋地区からは「栗橋 締屋彥三郎殿」の墨書き木札が出土しており、注意される（『本陣跡 I』参照）。なお、栗橋地域では昭和前半期まで畑で綿を栽培し、綿布を織っていたという（栗橋町教育委員会2008）。第137図215～219は出土した陶磁器類で、磁器にはグラデーション状の染付を施す湯呑形碗（215）や卵殻手



第125図 土壌出土遺物（2）

坏（216）がある。19世紀前葉に帰属する。

#### 第16号土壌（第98図）

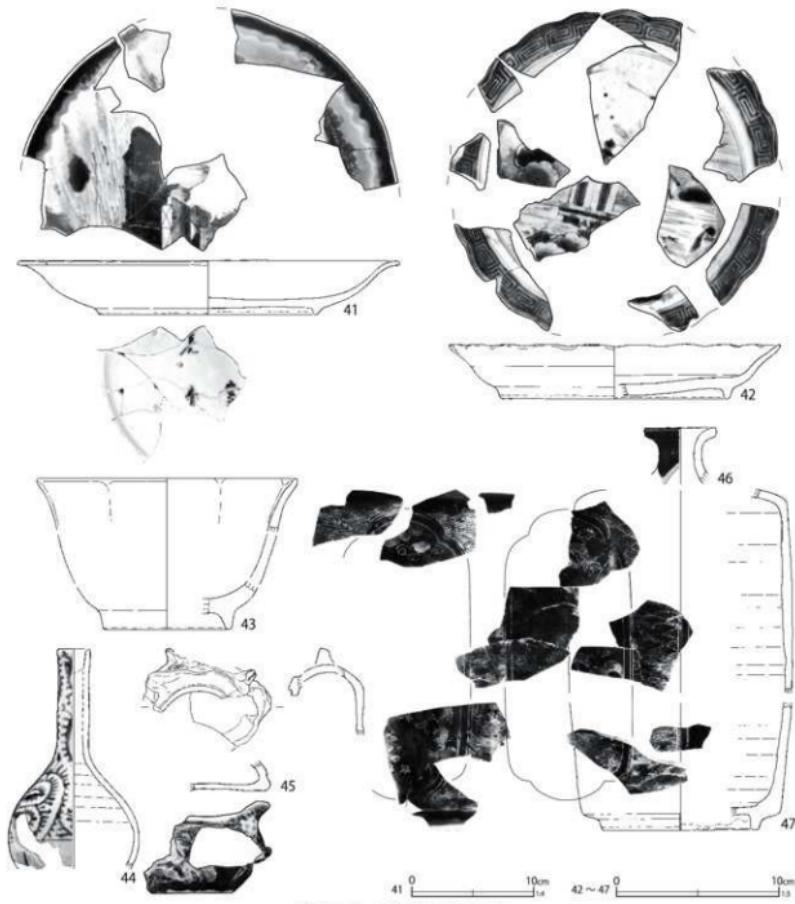
C 6-B 2・C 2グリッドに位置する火災処理土壌である。長さ4m弱の楕円形の土壌で、覆土下層は炭化木と焼土主体の土層である。上層は埋め戻しによる粘質土で被覆される。被熱した陶磁器が多く出土し、第64・161号土壌と顕著に接合した。なお、瓦の包含はほとんどみられなかった。

陶磁器の一部を第137～143図220～314に示す。本跡では、肥前系磁器の粗製碗、皿・筒形碗・猪口等が組物で出土している点が特徴的である。

非掲載資料を含めた最小個体数は、227～231の大碗が6個体、234の小形半球碗は2個体、241～245の筒形碗は5個体、240の筒形碗は7個体、247～250の猪口は4個体、252～260の猪口は9個体、261～263の小皿が6個体、264・265の小皿が4個体、267～269の皿が5個体、276・277の変形皿が6個体、278・279の変形皿が4個体である。270～274の皿は模様や裏銘に微妙な差があるが、少なくとも271・272と同文の皿が他に1個体ある。なお、瀬戸美濃系磁器端反碗・湯呑形碗・丸碗・燭徳利が出土しているが、被熱が



第126図 土壌出土遺物(3)



第127図 土壤出土遺物（4）

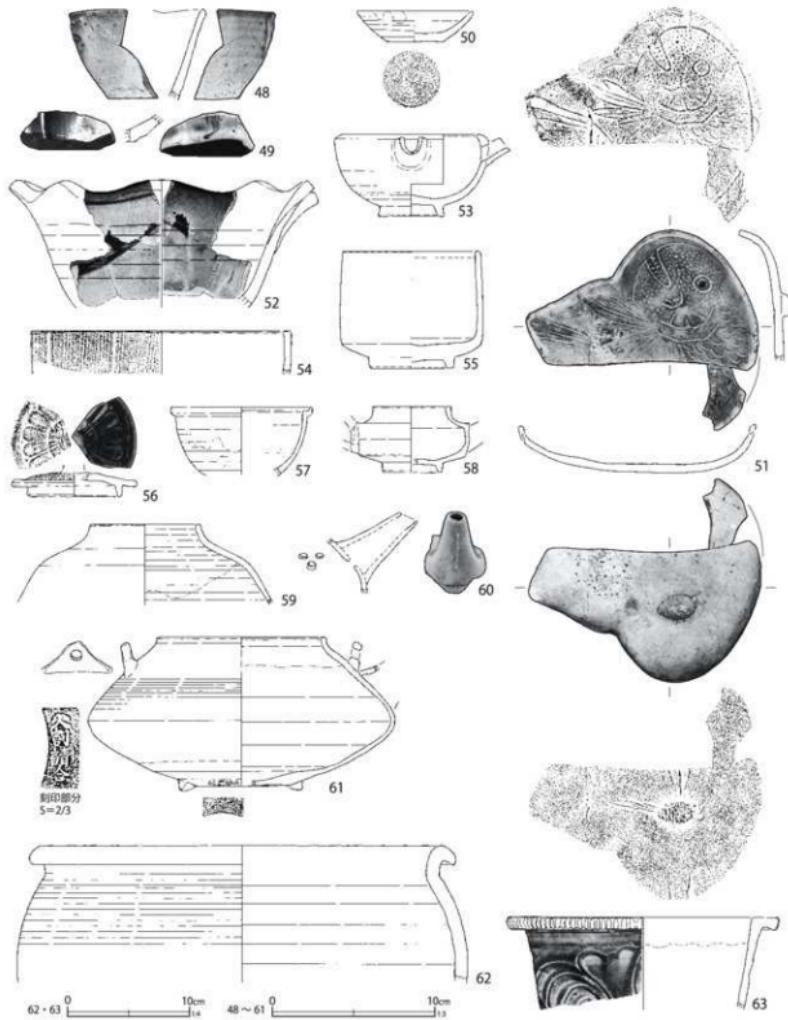
認められず、後世の混入である。総体的には18世紀代の陶磁器が主体で、他の火災土壌より若干古い様相を示す。ただし、遺構間接合が顕著な第64号土壌の時期を鑑みれば、本跡は19世紀初頭～前葉の帰属と思われる。

#### 第25号土壌（第100図）

C 6-A 1 グリッドの調査区壁際に検出された

方形の火災処理土壌である。直上が近代に擾乱されており、調査区壁面の焼土層との関係は把握できない。覆土は斜方向に堆積し、南側から瓦等を含む焼土で埋められている。

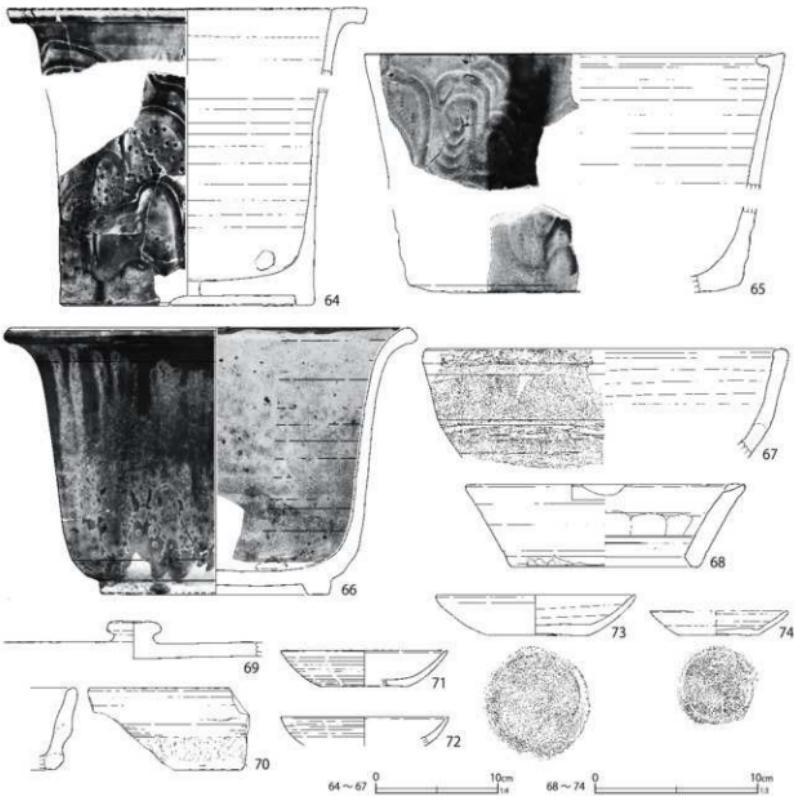
出土した陶磁器を第144～147図329～383に示す。全体としては磁器広東碗（332）の身・蓋が多い。大振りの磁器多角形鉢（346～348）や



第128図 土壌出土遺物（5）

蓋物類（349～354）、灰落し（356）も多かつた。京都信楽系陶器土瓶（380）は3個体以上あり全て被熱する。360は肥前三川内系陶器の水注

で、円形刺突文で加飾される。同タイプが第634号土壌（『本陣跡I』報告）と、近接する本陣跡第5次調査区第8号土壌（『栗橋宿跡V』報



第129図 土壤出土遺物（6）

告）で出土している。銭貨では天保通宝（1835年初鋤）が1枚出土している。後世の混在の可能性もあるが、本跡に伴う遺物であれば、文政5年（1822）の火災より新しい時期となる。なお、他の火災処理土壤との遺物の遭構間接合はほとんど確認されなかつたが、第26号土壤出土の信楽系陶器壺（第148図388）と同一個体の細片が1点含まれていた。

#### 第26号土壤（第99図）

C 6-B 2 グリッドに位置する。東西両端が攢

乱、遭構等にかかり全体形が不明だが、長方形の土壤と考えられる。覆土の記録が無いが、出土遺物から火災処理土壤と考えられる。ただし、近代の陶磁器もかなり混入している。第148図388は信楽系と考えられる陶器壺で底面に墨書がある。器壁には発泡した長石粒が顕著にみられる。被熱しており、第9・25・39号土壤から同一個体と考えられる破片が出土している。同種の壺は池状遭構でも出土しており、やはり墨書がある（第74図56）。主に茶壺として使用されたもの



第130図 土壌出土遺物(7)

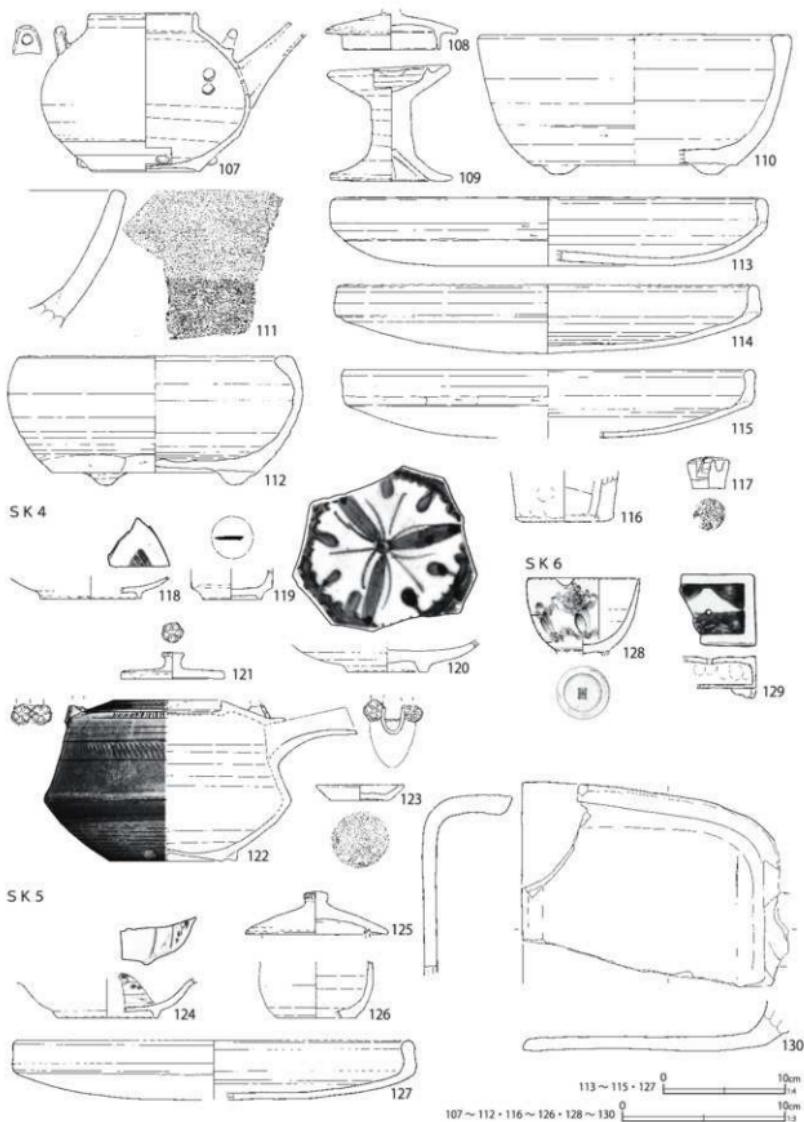
であろう。第229図28~34に軒瓦、第236図32~41にその他の瓦を示す。第237図42は3つのバーツからなる大形の鬼瓦で、被熱している。側面の孔を用いて各バーツを組み合わせるもので、全高56.0cm、幅84.3cmが残る。池田家家紋の「揚羽蝶文」を表す。遺物の混在が多く、いつの火災

に伴う土壌か詳らかでは無いが、陶磁器様相から19世紀第1~2四半期に帰属する可能性が高い。  
第29号土壌(第101図)

調査区北東部のC 6-A 1・2グリッドで検出された遺構で、木製構築穴藏と考えられる。遺存長1.94m、幅1.38mの掘方内に、長さ1.8m、幅

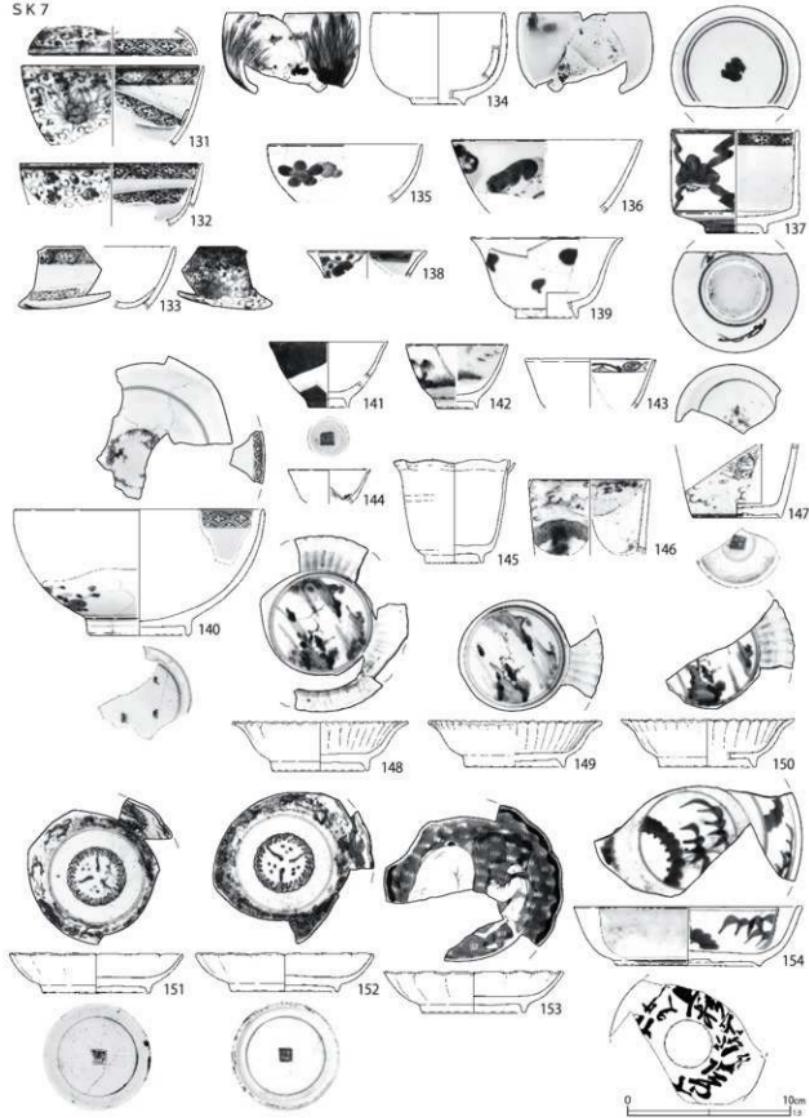


第131図 土壌出土遺物(8)

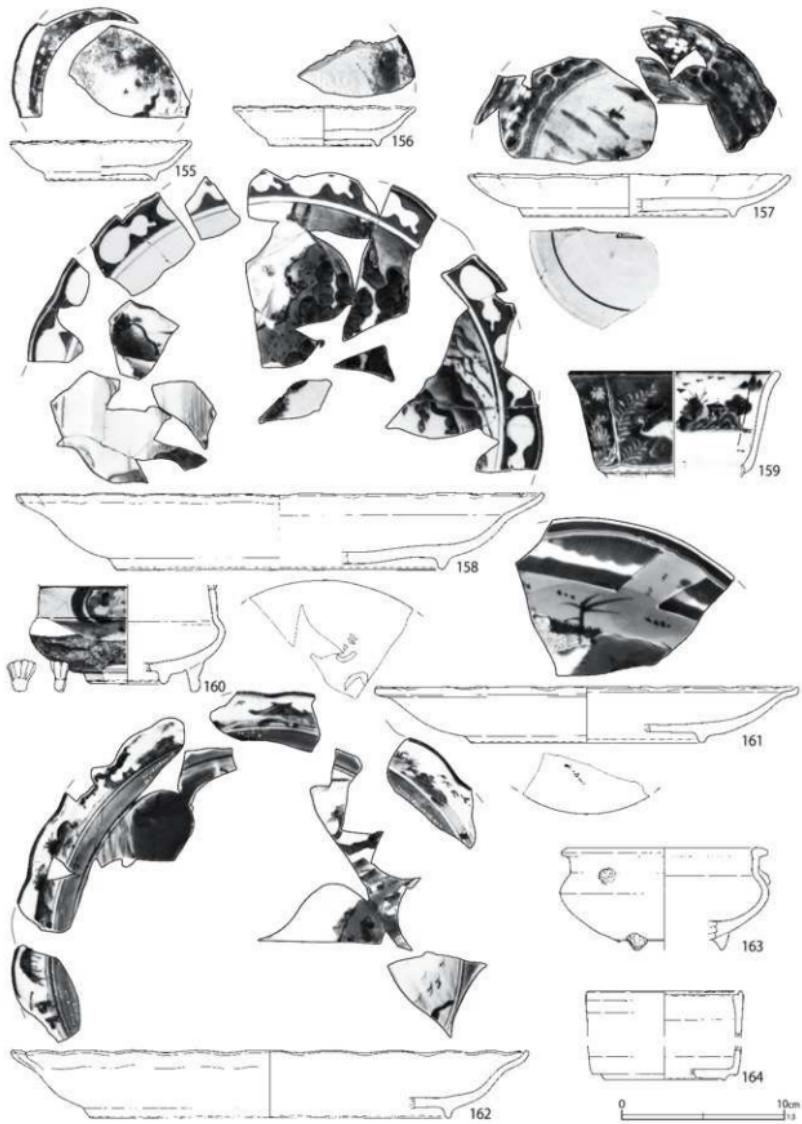


第132図 土壤出土遺物（9）

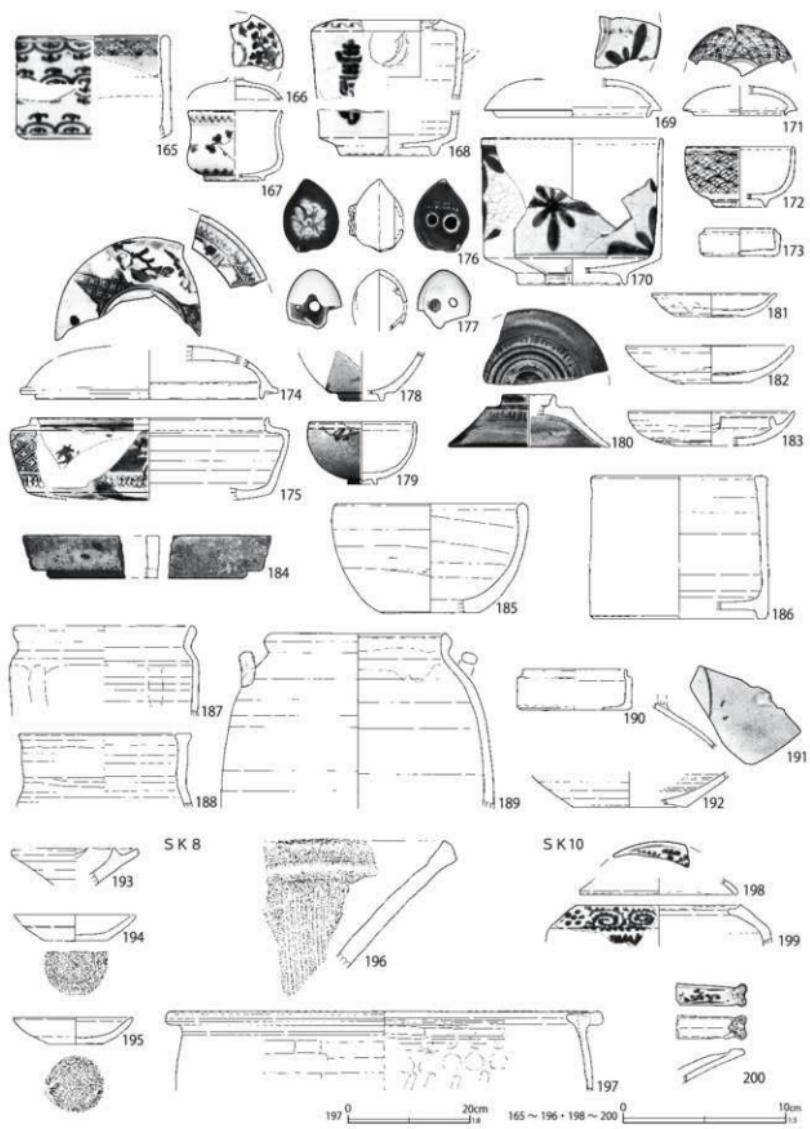
SK 7



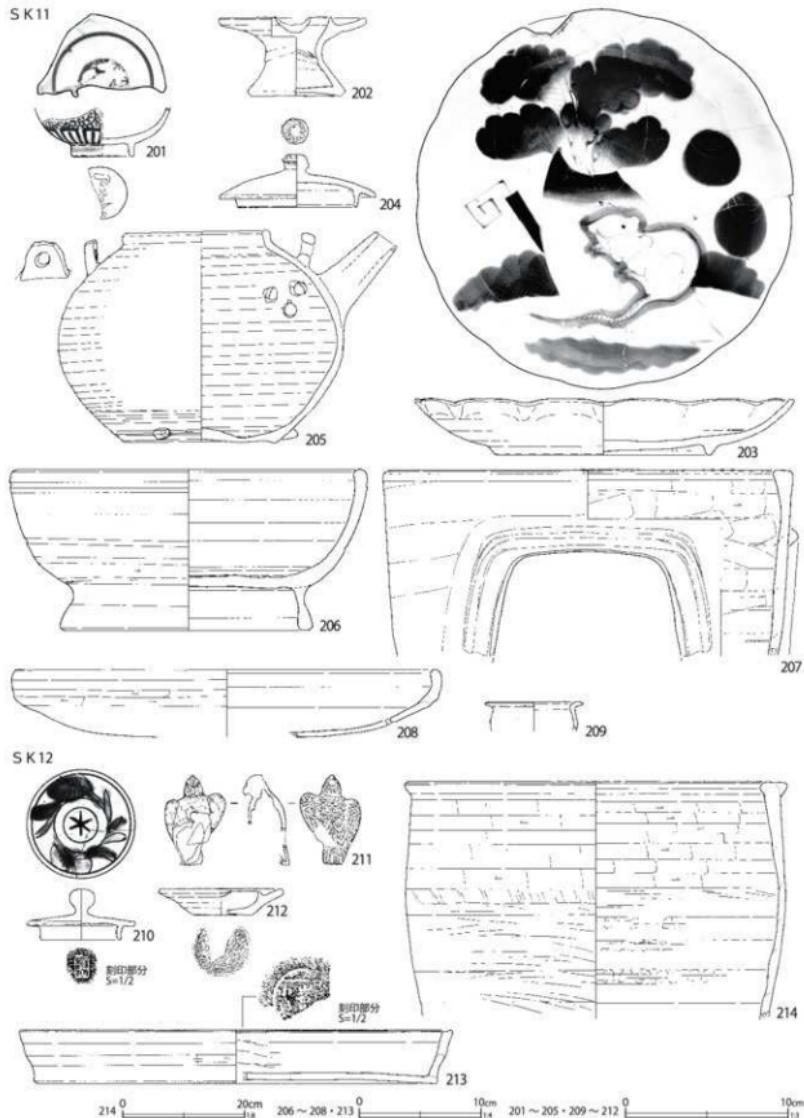
第133図 土壌出土遺物(10)



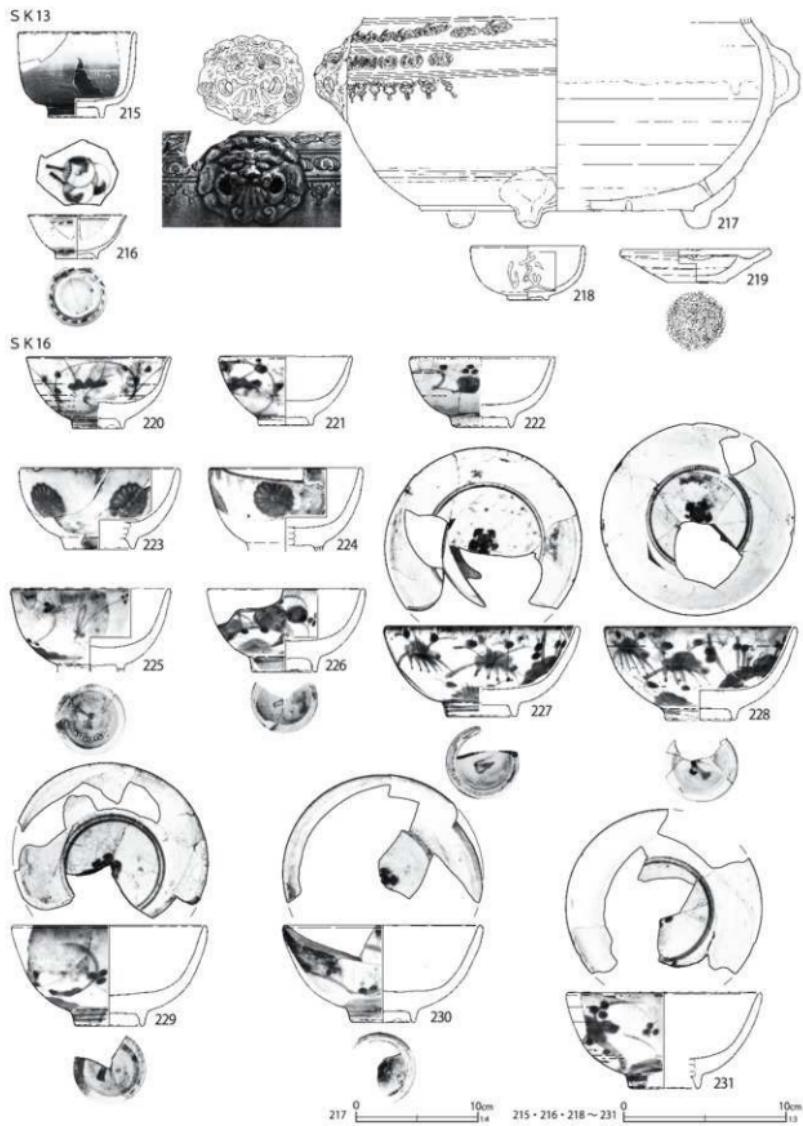
第134図 土壌出土遺物(11)



第135図 土壌出土遺物 (12)



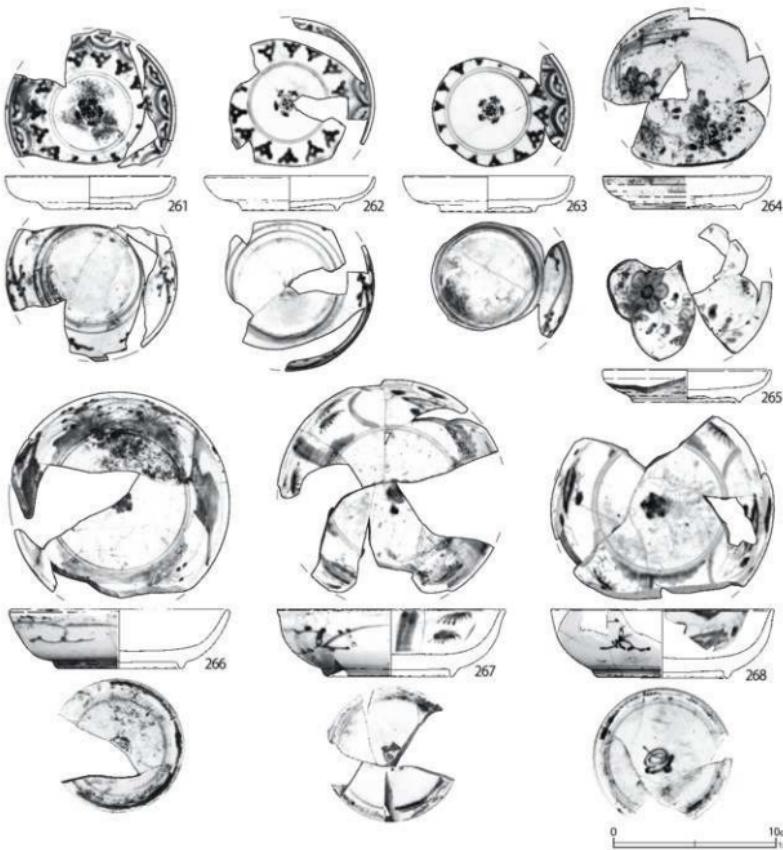
第136図 土壌出土遺物 (13)



第137図 土壤出土遺物 (14)



第 138 図 土壌出土遺物 (15)

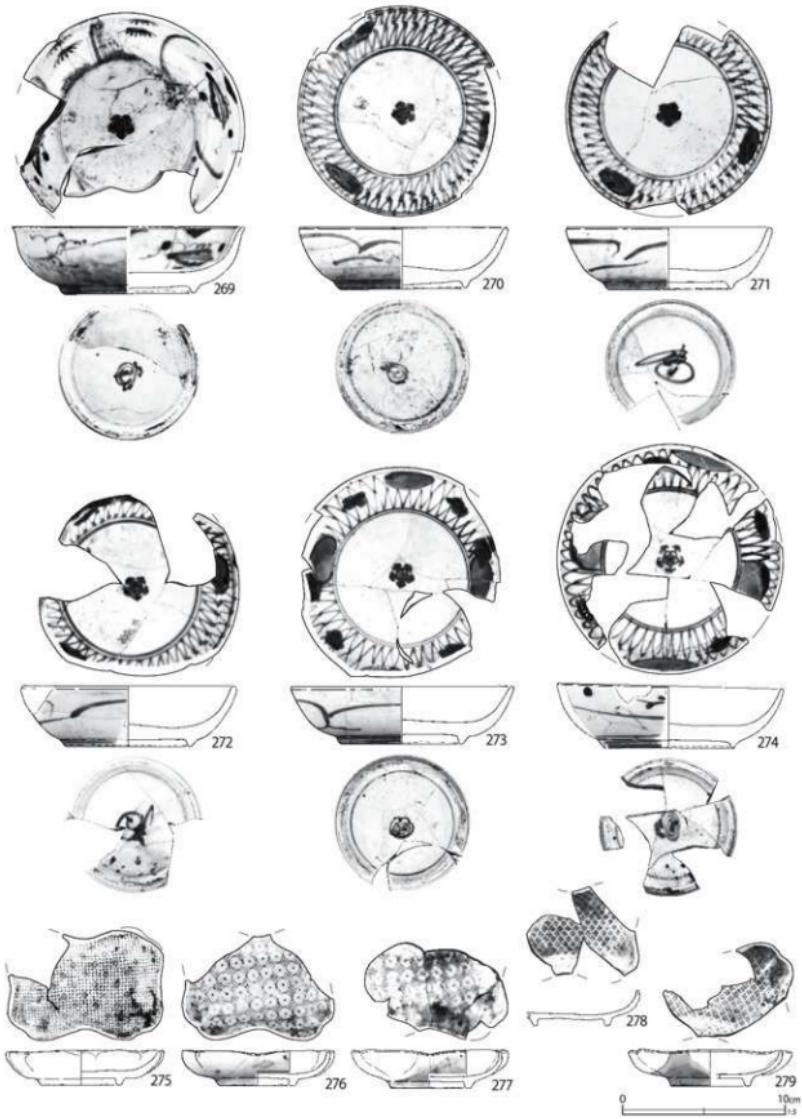


第139図 土壌出土遺物（16）

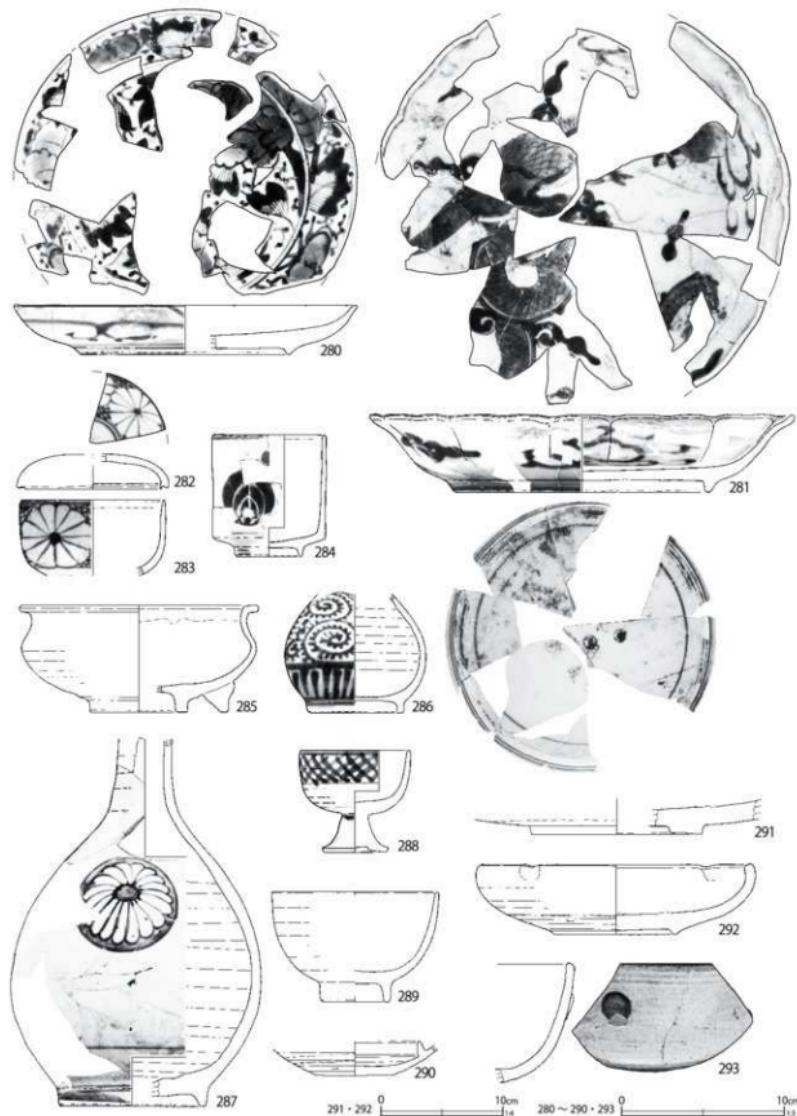
77cmの木組みを構築する。壁板は2枚以上の板を上下に組み、底板は計8枚の板を敷くが、西側に向かって傾斜し低くなる。壁板、底板は2.5～3mm前後の厚みで、埋釘等は確認されていない。木製枠形穴蔵は第6地点第203号建物跡（『栗橋宿跡III』参照）で確認されているが、本跡のほうが一回り小さく構造も簡略である。

床面直上を中心に多量の遺物が出土した。出土

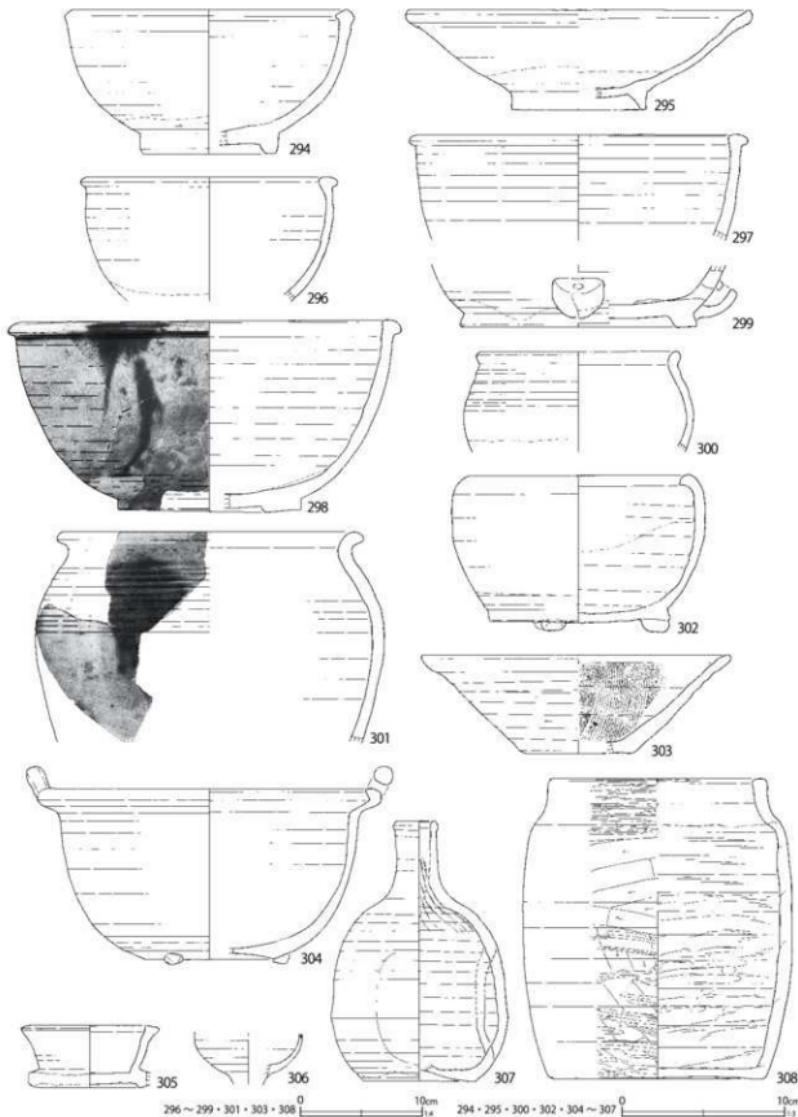
状況を第101図、陶磁器を第148図395～405、土製品人形を第226図4、木製品獅子頭を第243図43、金属製品を第255図20～25、角閃石安山岩製の磨石を第264図89～91、硝子製品髪飾り類を第270図1・2に示した。特徴的なのは、何らかの要因で遺構の廃絶時に残された多量の錢貨類（第258・259図）である。縦状に溶着したものも複数みられた。推定枚数は767枚で、天保通宝



第140図 土壌出土遺物 (17)



第141図 土壌出土遺物 (18)



第142図 土壤出土遺物 (19)